

嘉麻市子どもの生活状況調査結果報告書

令和6（2024）年3月

嘉麻市子育て支援課

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
(1) 保護者	1
(2) 小学生・中学生	1
3. 調査方法	1
(1) 保護者	1
(2) 小学生・中学生	1
4. 調査期間	2
5. 回収状況	2
(1) 保護者	2
(2) 小学生・中学生	2
6. 調査内容	2
(1) 調査項目数	2
(2) 調査項目	3
7. 報告書の見方、集計における留意点	5
8. 回答者の構成	7
(1) 保護者	7
(2) 小学生・中学生	19
II 保護者向け調査の結果	20
1. 調査結果	20
(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等	20
(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等	22
(3) 子どもとの関わり方	24
(4) 学校行事等への参加状況	29
(5) 子どもの想定される進学先	32
(6) 進学理由	34
(7) 頼れる人の有無	36
(8) 現在の暮らしの状況	45
(9) 世帯全体の年間収入（税込）	47
(10) 食料が買えなかった経験	50
(11) 衣服が買えなかった経験	52
(12) 公共料金における未払いの経験	54
(13) 保護者の心理的な状態	56
(14) 生活満足度	59
(15) 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響	61

(16) 公的支援制度の利用状況	69
(17) ヤングケアラーの該当に関する認識	76
(18) ヤングケアラーという言葉の認知状況	82
2. 調査結果のまとめ	87
(1) 生活全般について	87
(2) 子育てについて	87
(3) 子育て支援制度について	87
(4) ヤングケアラーについて	88
Ⅲ 小学生・中学生向け調査の結果	89
1. 調査結果	89
(1) ふだんの勉強の仕方	89
(2) 1日あたりの勉強時間	91
(3) クラスの中での成績	92
(4) 授業がわからないことの有無	93
(5) 授業がわからなくなった時期	94
(6) 進学したいと思う教育段階とその理由	95
(7) 地域のクラブ等への参加状況	98
(8) 地域のクラブ等に参加していない理由	99
(9) 食事の状況	100
(10) 就寝時間	102
(11) 相談できる相手	103
(12) 生活満足度	105
(13) 子どもの心理的な状態	106
(14) 新型コロナウイルス感染症の影響	112
(15) 逆境体験	114
(16) 場所に関する利用経験・意向	115
(17) ヤングケアラーの該当状況	119
(18) ヤングケアラーという言葉の認知状況	122
2. 調査結果のまとめ	124
(1) 勉強について	124
(2) 進学希望について	124
(3) 部活動等への参加状況・参加していない理由	124
(4) 日常生活について	125
(5) 悩みや困りごとの相談相手	125
(6) 全体としての生活満足度	125
(7) ヤングケアラーについて	126
Ⅳ 参考資料	127
1. 調査票（保護者票）	127

2. 調査表 (小学生票)	142
3. 調査表 (中学生票)	154

Ⅰ 調査の概要

1. 調査の目的

子どもの将来が、家庭の経済的理由などによる生まれ育った環境に左右されないよう、また困難が世代を越えて連鎖することがないように必要な環境整備を図るための基礎資料を得ることを目的に、調査を実施する。また、令和6年度に策定する嘉麻市こども計画（子どもの貧困対策計画）に反映することとする。

2. 調査対象

(1) 保護者

世帯の中で、調査対象となる子どもが2人以上いた場合についても、保護者の調査票は1票とする。

① 小学校及び義務教育学校4～6年生の保護者	510人
② 中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生の保護者	755人
合計	1,265人

(2) 小学生・中学生

① 小学校及び義務教育学校4～6年生	886人
② 中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生	854人
合計	1,740人

3. 調査方法

(1) 保護者

- ① 小学校及び義務教育学校4～6年生の保護者

学校を通じて調査票の配布及び回収を実施。

- ② 中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生の保護者

学校を通じて調査票の配布及び回収を実施。

※世帯の中で、調査対象となる子どもが2人以上いた場合は、長子の子どもに保護者票を配布。

(2) 小学生・中学生

- ① 小学校及び義務教育学校4～6年生

学校を通じて調査票の配布及び回収を実施。

- ② 中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生

学校を通じて調査票の配布及び回収を実施。

※学校数：小学校5校、中学校2校、義務教育学校3校

4. 調査期間

令和5（2023）年10月6日（金）から11月2日（木）まで

5. 回収状況

（1）保護者

区分	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
合計	1,265	773	61.1
①小学校及び義務教育学校4～6年生の保護者	510		
②中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生の保護者	755		

※回収率は、小数点第2位を四捨五入する。

（2）小学生・中学生

区分	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
合計	1,740	1,084	62.3
①小学校及び義務教育学校4～6年生	886	618	69.8
②中学校1～3年生及び義務教育学校7～9年生	854	466	54.6

※回収率は、小数点第2位を四捨五入する。

6. 調査内容

調査内容は、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書」において共通して調査することが望ましいとされている項目を基本とし、別途、嘉麻市の独自項目として、ヤングケアラーに関する実態を把握するための項目などを設定している。

（1）調査項目数

保護者：31問

子ども：24問

(2) 調査項目

【保護者】

設問No.	設問	嘉麻市 独自設問
1	子どもとの続柄	
2	生計を同一にする家族の構成・人数	
3	親の年齢	
4	単身赴任の家族の有無	
5	生計を同一にする親の婚姻状況	
6	生計を同一にする親が離婚している場合、離婚相手との養育費の取り決め	
7	日本語以外の言語の使用	
8	子どもの親の学歴	
9	子どもの親の就労状況	
10	働いていない理由	
11	子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等	
12	子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等	
13	子どもとの関わり方	
14	学校行事等への参加状況	
15	子どもの想定される進学先	
16	進学理由	
17	頼れる人の有無	
18	現在の暮らしの状況	
19	世帯全体の年間収入（税込）	
20	食料が買えなかった経験	
21	衣服が買えなかった経験	
22	公共料金における未払いの経験	
23	保護者の心理的な状態	
24	生活満足度	
25	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響	
26	公的支援制度の利用状況	
27	ヤングケアラーの該当状況	○
28	ヤングケアラーの相談経験	○
29	ヤングケアラーを相談していない理由	○
30	ヤングケアラーという言葉の認知状況	○
31	ヤングケアラーという言葉の情報収集源	○

【子ども】

設問No.	設問	嘉麻市 独自設問
1	性別	
2	ふだんの勉強の仕方	
3	1日あたりの勉強時間	
4	クラスの中での成績	
5	授業がわからないことの有無	
6	授業がわからなくなった時期	
7	進学したいと思う教育段階	
8	教育段階を選んだ理由	
9	部活動等への参加状況	
10	部活動等に参加していない理由	
11	食事の状況	
12	就寝時間	
13	相談できる相手	
14	生活満足度	
15	子どもの心理的な状態	
16	新型コロナウイルス感染症の影響	
17	逆境体験	
18	場所に関する利用経験・意向	
19	利用したことによる変化	
20	ヤングケアラーの該当状況	○
21	ヤングケアラーの相談経験	○
22	ヤングケアラーを相談していない理由	○
23	ヤングケアラーという言葉の認知状況	○
24	ヤングケアラーという言葉の情報収集源	○

7. 報告書の見方、集計における留意点

- ①回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- ②複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しているため、合計が100.0%以上になる。
- ③図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものを指す。
- ④図表中において、回答割合が0.0%のものについては、見やすさを考慮して記載を省略している場合がある。
- ⑤図表中の「n」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表している。
- ⑥分析において、サンプル数が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合や傾向をみる程度に留める場合がある。
- ⑦調査結果では、本市の結果に加えて「国調査」の結果を併記している箇所があるが、調査実施方法等の概要や併記の考え方については下記の通りである。

（国調査における調査実施方法等の概要）

調査地域	全国
調査対象者	中学2年生及びその保護者
標本数	5,000組
調査方法	郵送配布-郵送回収またはオンライン回答
調査期間	令和3年2月12日（金）～3月8日（月）
サンプリング方法	層化二段無作為抽出法 全国を地域と都市規模により40層(10地域×4人口区分)に層化。地区・都市規模別各層における推定母集団（平成27年10月1日現在の国勢調査の14歳人口に基づく）の大きさにより200地点を比例配分し、各調査地点の調査対象数を25と設定。
有効回収数、回収率	2,715件（組）、54.3%

（本報告書における国調査併記の考え方）

国調査と本市のそれぞれの調査票において、内容が同一の設問や、簡易な計算により同一条件下としてみなせる設問等については、本市の結果の比較対象として国調査結果を併記する。

⑧「Ⅱ保護者向け調査の結果」の1. 調査結果における、(1)～(6)及び(17)については、保護者による対象の子どもの人数分の回答数と、該当世帯における本調査対象の子どもの人数（参照：住民基本台帳）が合致している場合を、有効サンプル数とする。

また、有効サンプルのうち、対象の子どもの人数が2人以上である場合、子ども1人1人の回答を有効サンプル数として扱う。

例) 対象の子どもの人数が3人であり、上記条件に合致している（有効サンプルである）

→3人それぞれの回答を有効サンプルとして扱う

該当設問におけるn値は、上記処理による積み上げの数値となっている。

※国調査に関しては、⑦の通り調査対象者が「中学2年生及びその保護者」であり、対象となる子どもは1人であるため、上記のような処理は発生しない。

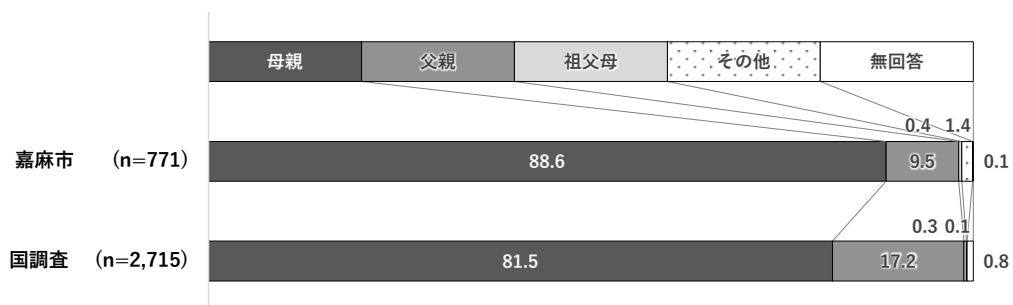
⑨等価世帯収入による階層の分類における考え方については、P18を参照。

8. 回答者の構成

(1) 保護者

①子どもとの続柄

調査回答者の子どもから見た続柄は、本市では「母親」の割合が約9割で最も高く、「父親」が約1割となっている。



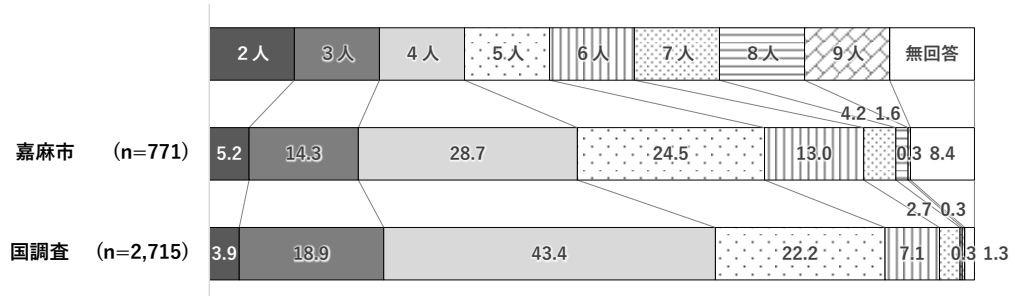
②ふたり親・ひとり親世帯それぞれの祖父母との同居の有無

本市では、「祖父母と同居」と「祖父母及び祖父母以外の者と同居」を合わせた『同居者に祖父母がいる・計』の割合が2割弱となっている。

		父母以外の同居者なし	祖父母と同居	祖父母以外の者と同居	祖父母及び祖父母以外の者と同居	無回答	計
ふたり親世帯	件数	475	79	11	15	0	580
	割合	81.9%	13.6%	1.9%	2.6%	0.0%	100.0%
ひとり親世帯	件数	116	30	3	6	11	166
	割合	69.9%	18.1%	1.8%	3.6%	6.6%	100.0%
いない・わからない	件数	6	2	0	1	0	9
	割合	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
無回答	件数	0	0	0	1	15	16
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	93.8%	100.0%
全体	件数	597	111	14	23	26	771
	割合	77.4%	14.4%	1.8%	3.0%	3.4%	100.0%

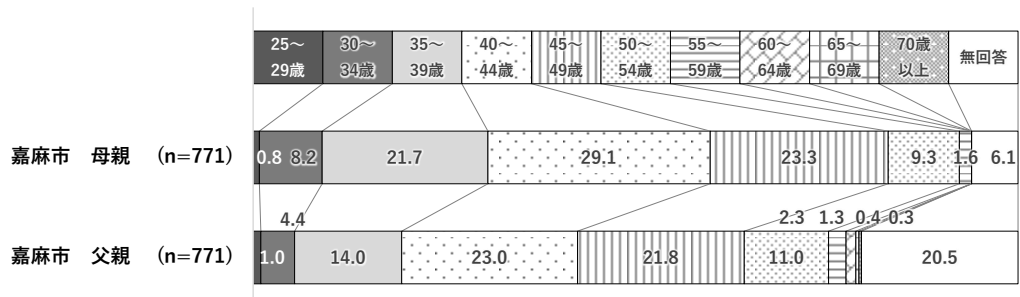
③生計を同一にする家族の人数

本市では、「4人」の割合が約3割で最も高く、「5人」が2割半ばで続いている。



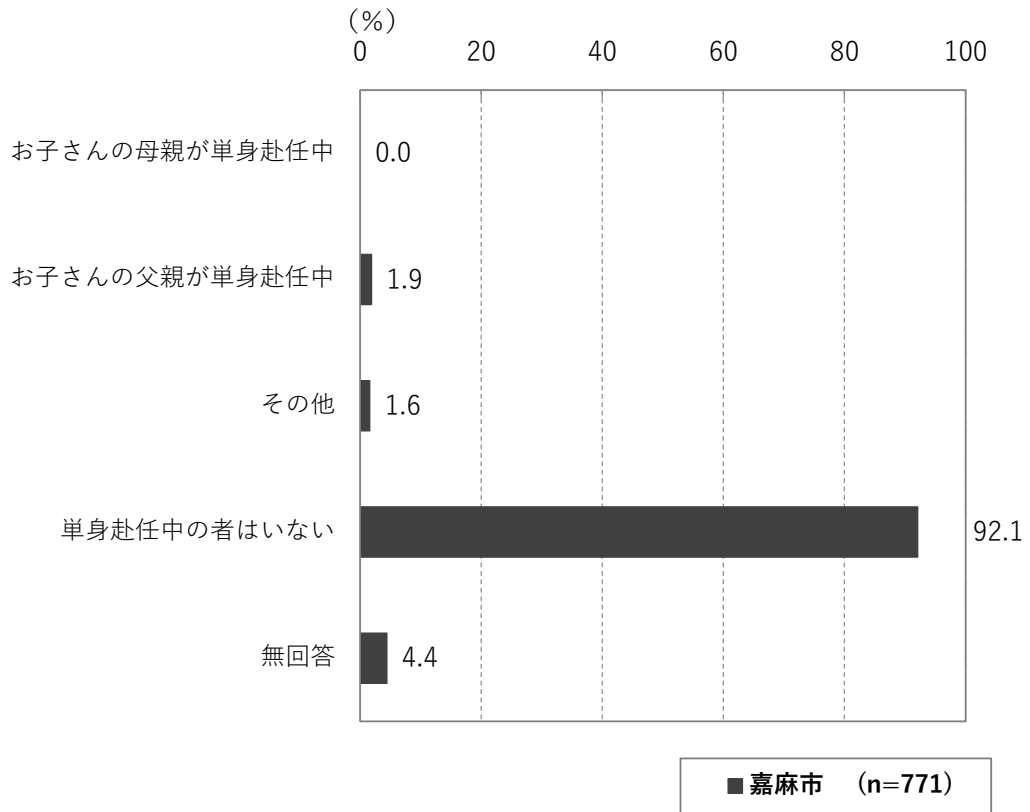
④親の年齢

本市では、母親は、「40～44歳」の割合が約3割で最も高く、「45～49歳」が2割強で続いております。『40代・計』で5割強を占めています。また、父親については、「40～44歳」の割合が2割強で最も多く、「45～49歳」が約2割で続いている。



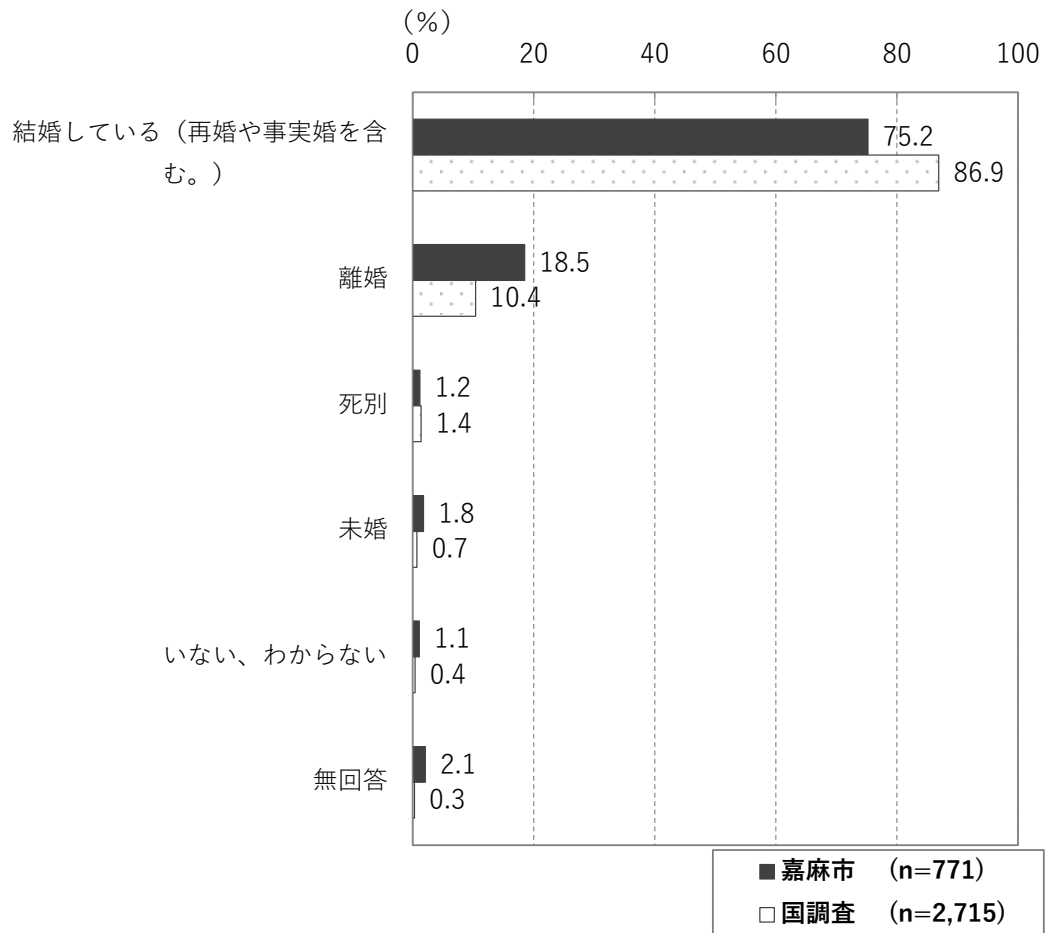
⑤ 単身赴任の家族の有無

「単身赴任中の者はいない」の割合が9割強を占めている。



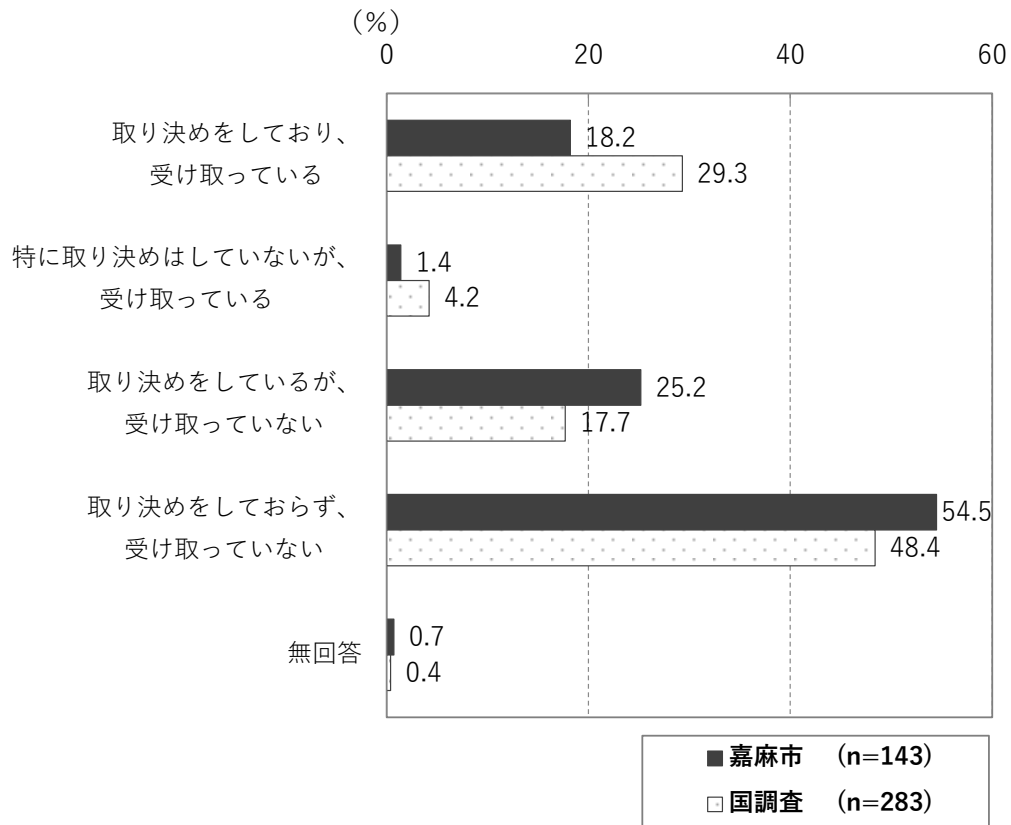
⑥生計を同一にする親の婚姻状況

本市では、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が7割半ばで最も高く、「離婚」が約2割で続いている。



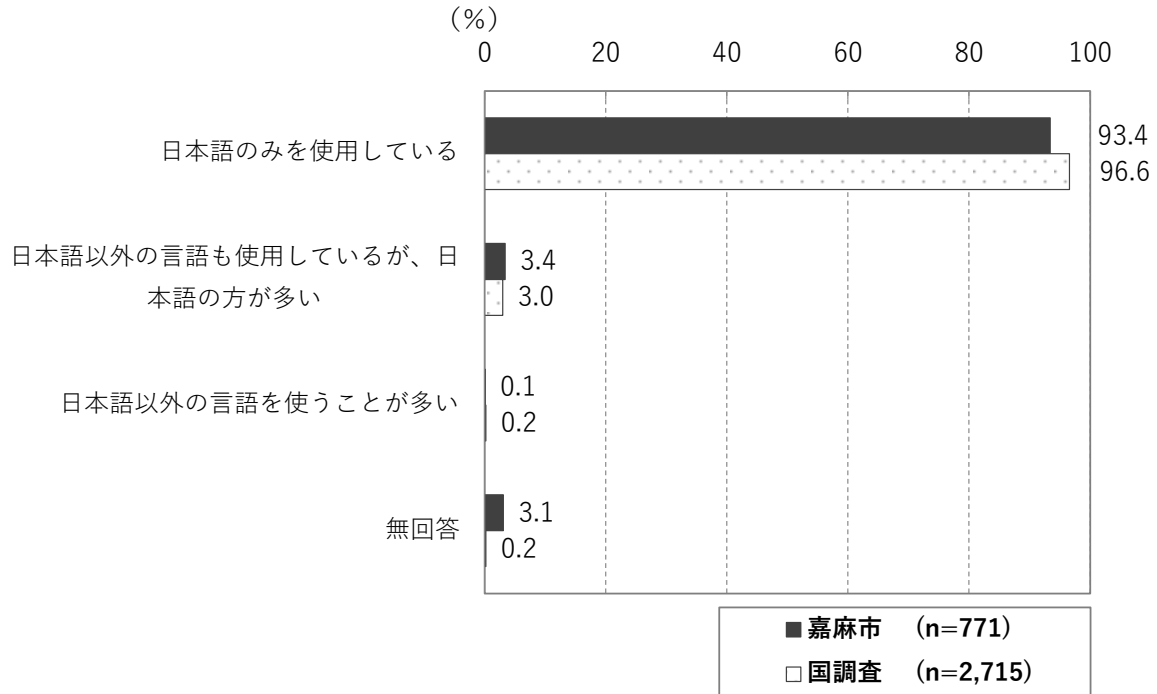
⑦生計を同一にする親が離婚している場合、離婚相手との養育費の取り決め

本市では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が5割半ばで最も高く、「取り決めをしているが、受け取っていない」が2割半ばで続いている。



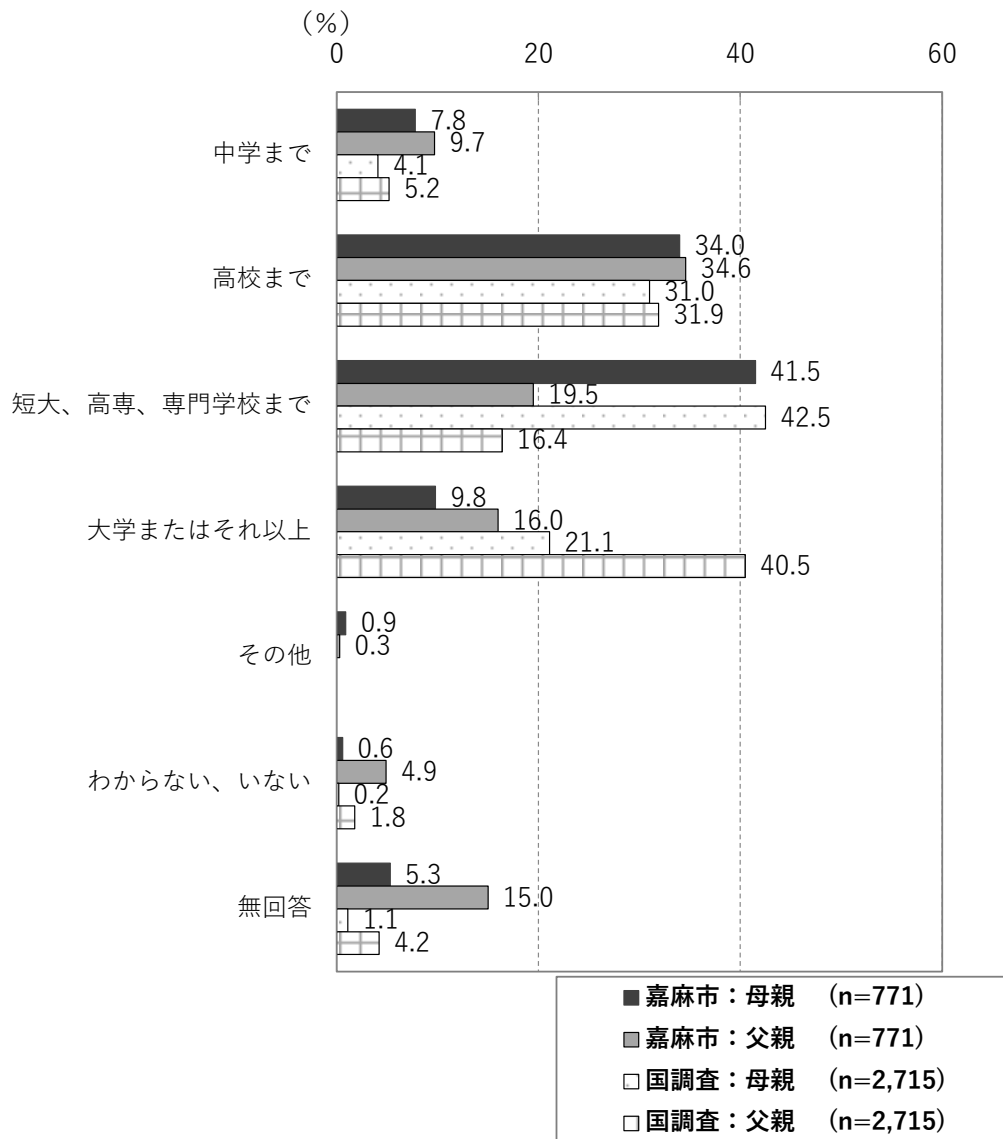
⑧日本語以外の言語の使用

本市では、「日本語のみを使用している」の割合が9割強を占めている。



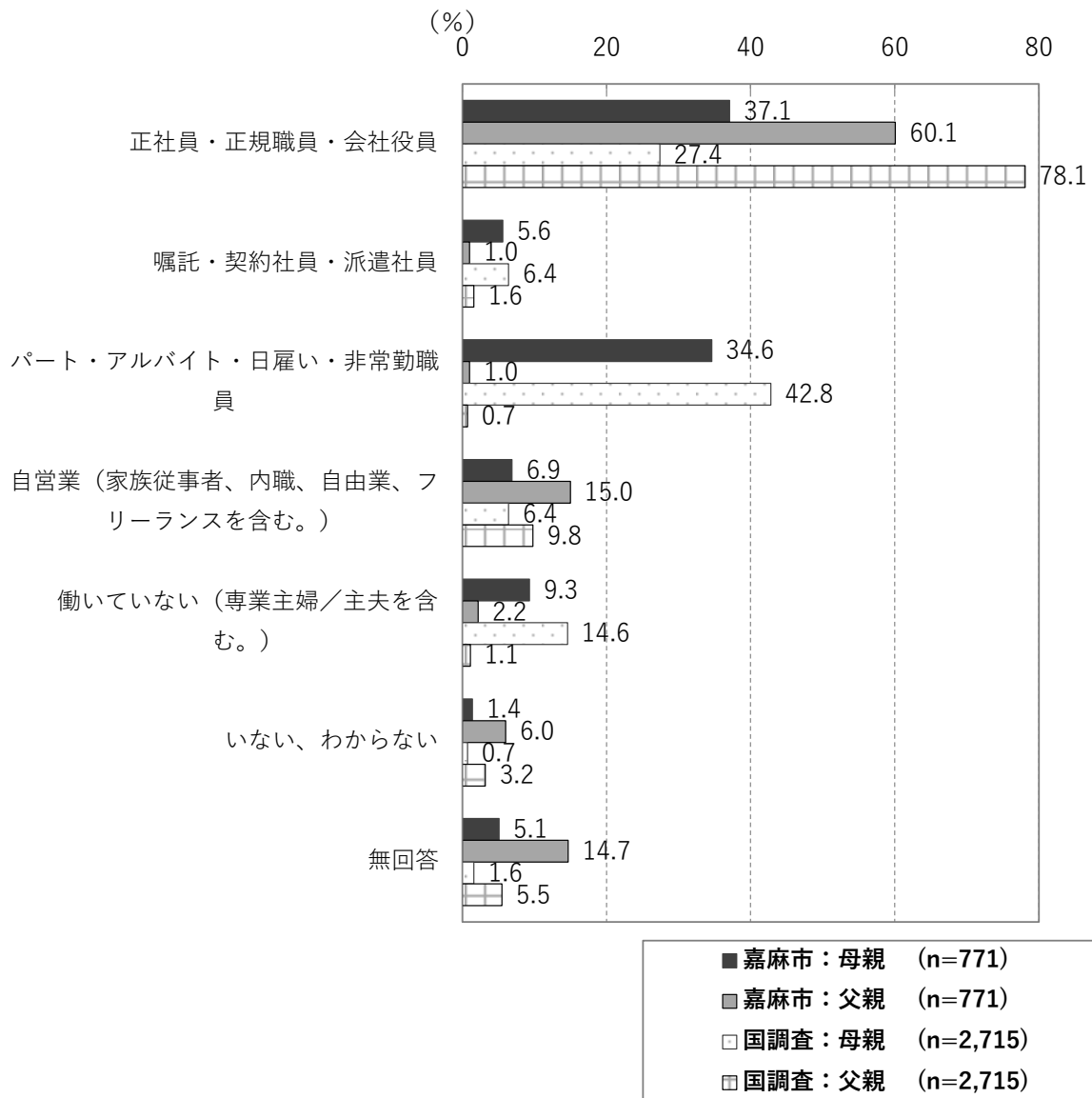
⑨子どもの親の学歴

本市では、母親は、「短大、高専、専門学校まで」の割合が約4割で最も高く、「高校まで」が3割半ばで続いている。父親については、「高校まで」の割合が3割半ばで最も多く、「短大、高専、専門学校まで」が約2割で続いている。



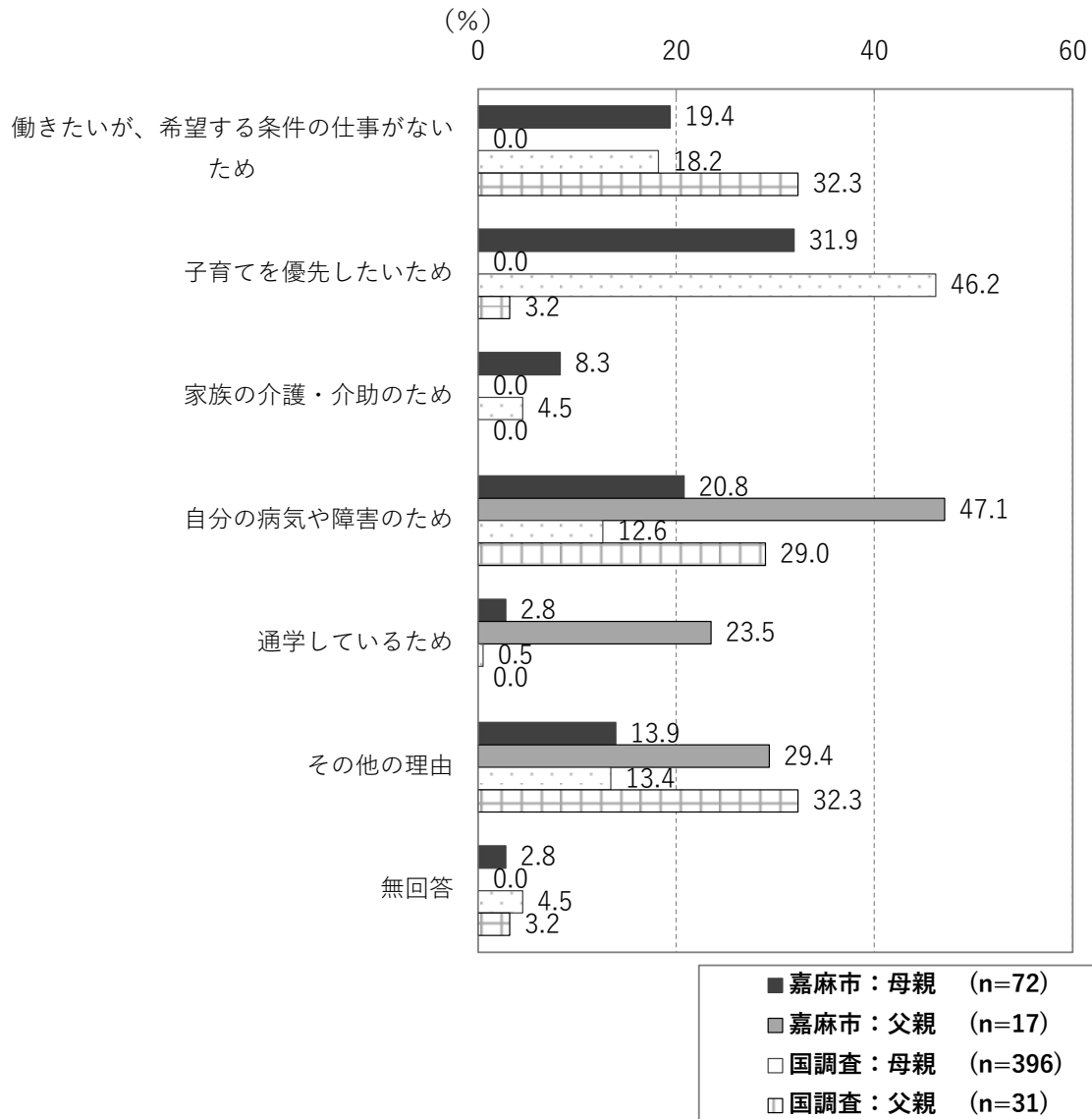
⑩子どもの親の就労状況

本市では、母親は、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が4割弱で最も高く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が3割半ばで続いている。父親については、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が約6割で最も高く、「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が1割半ばで続いている。



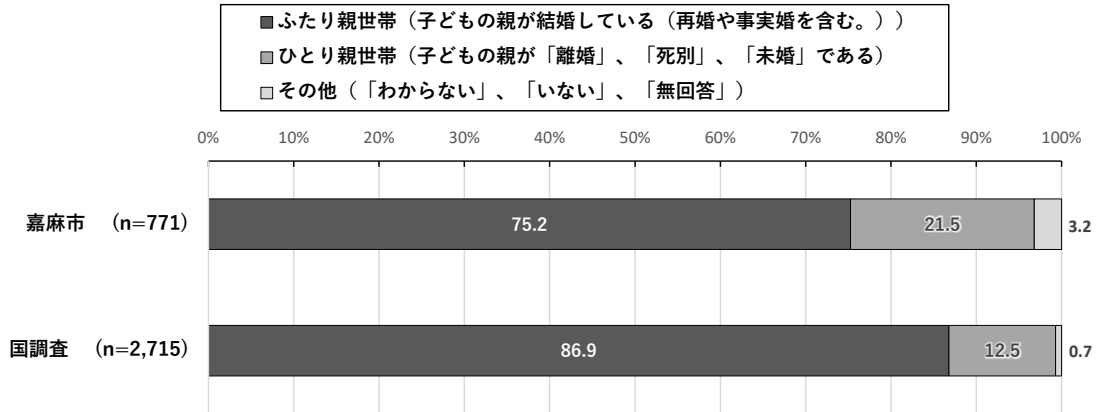
①就労状況として働いていない場合、その理由

本市では、母親は、「子育てを優先したいため」の割合が約3割で最も高く、「自分の病気や障害のため」が約2割で続いている。父親については、「自分の病気や障害のため」の割合が5割弱で最も高く、「その他の理由」が約3割で続いている。

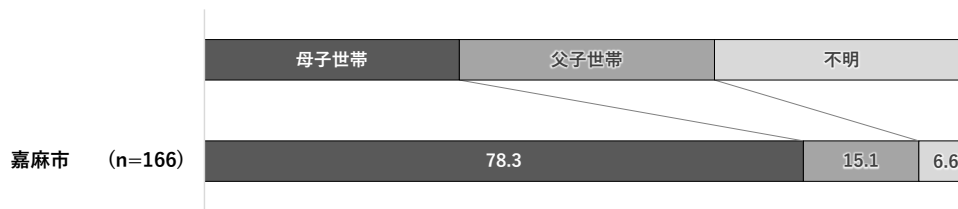


⑫世帯の状況別

本市では、「ふたり親世帯（子どもの親が結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が7割半ばを占めている。

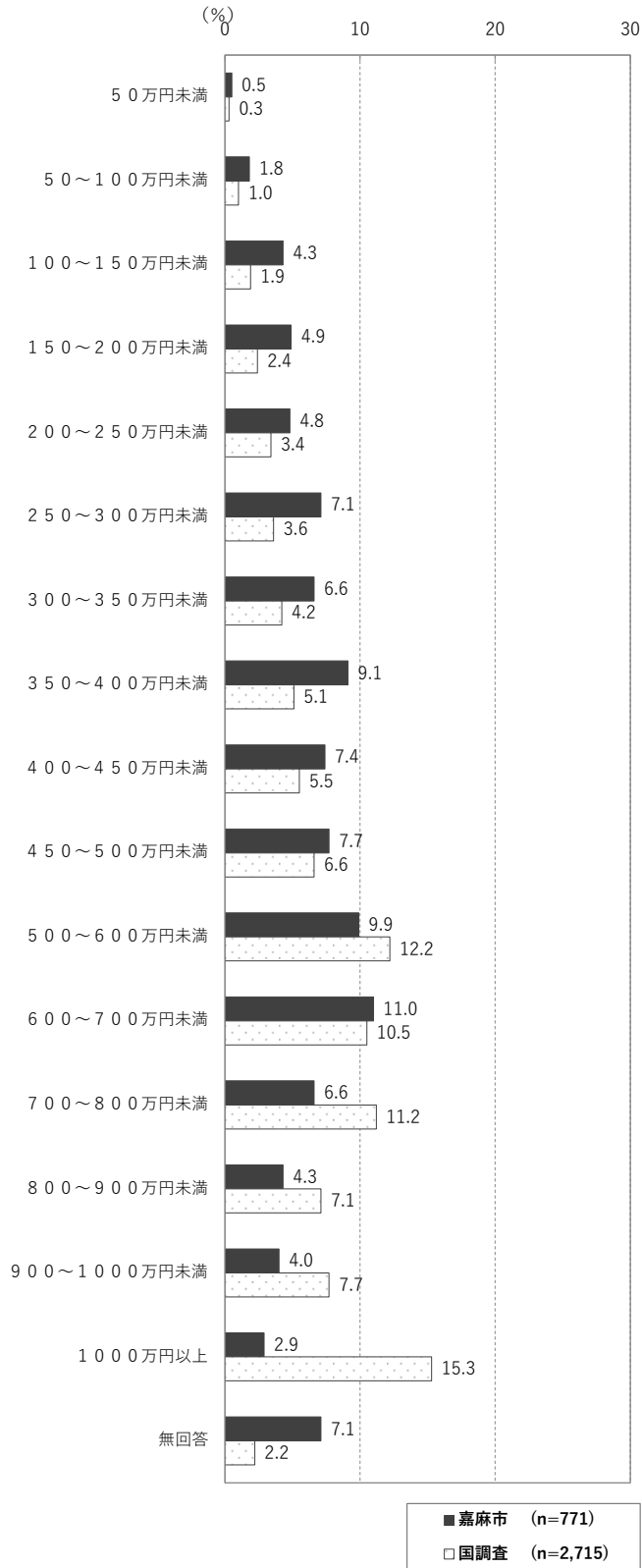


また、本市におけるひとり親世帯の内訳としては、「母子世帯」の割合が約8割を占めている。



⑬世帯全体の年間収入と収入水準基準

本市では、「600～700万円未満」の割合が最も高くなっており、「500～600万円未満」「350～400万円未満」と続いている。



●等価世帯収入と階層の分類について

世帯の収入による傾向を把握するための指標として「生計を同一にする家族の構成・人数（問2）」と「世帯全体の年間収入（問19）」の回答を組み合わせて、回答者ごとに『等価世帯収入』を算出した。（2つの質問のどちらかでも無回答があった者は除外した。）

【『等価世帯収入』の算出方法】

○「【問19】世帯全体のおおよその年間収入（税込）」の各選択肢の中央値を、その世帯の収入の値として回答者ごとに算出した。

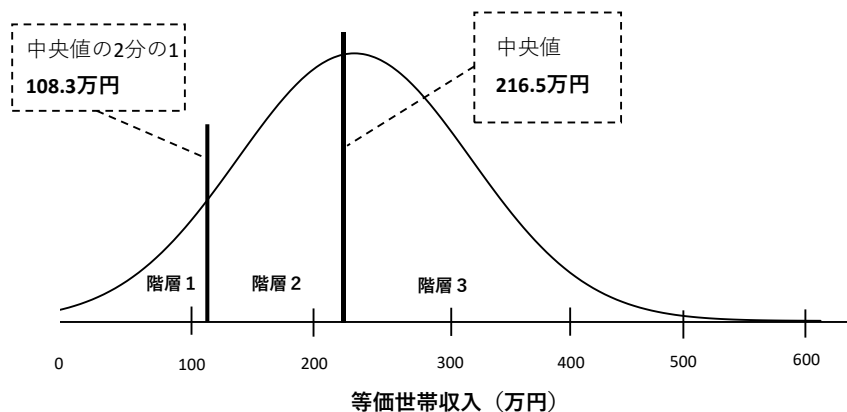
ただし、「50万円未満」は25万円、「1,000万円以上」は1,050万円とした。

○上記で算出した世帯の収入の値を「【問2】生計を同一にする家族人数」の正の平方根で除して得られた値を『等価世帯収入（単位：万円）』とした。

次に『等価世帯収入』の分布の中央値（216.5万円）を求め、以下の基準で分類した。

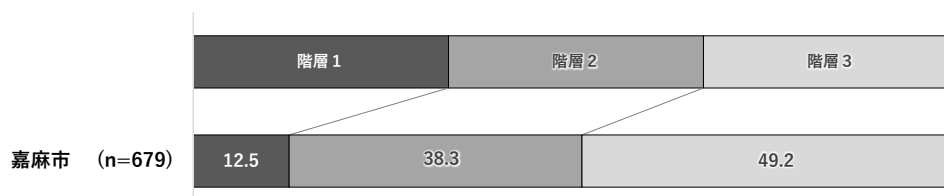
（下図参照）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ・階層3（中央値以上） | <u>216.5万円以上</u> |
| 「経済的な課題を抱えるリスクが低い世帯」 | |
| ・階層2（中央値の2分の1以上中央値未満） | <u>108.3～216.5万円未満</u> |
| 「経済的な課題を抱えるリスクが高い世帯」 | |
| ・階層1（中央値の2分の1未満） | <u>108.3万円未満</u> |
| 「経済的な課題を抱えている世帯」 | |



『等価世帯収入』を中央値（216.5万円）及び中央値の2分の1（108.3万円）で区切り、上図に示した3区分とし、比較分析を行った。

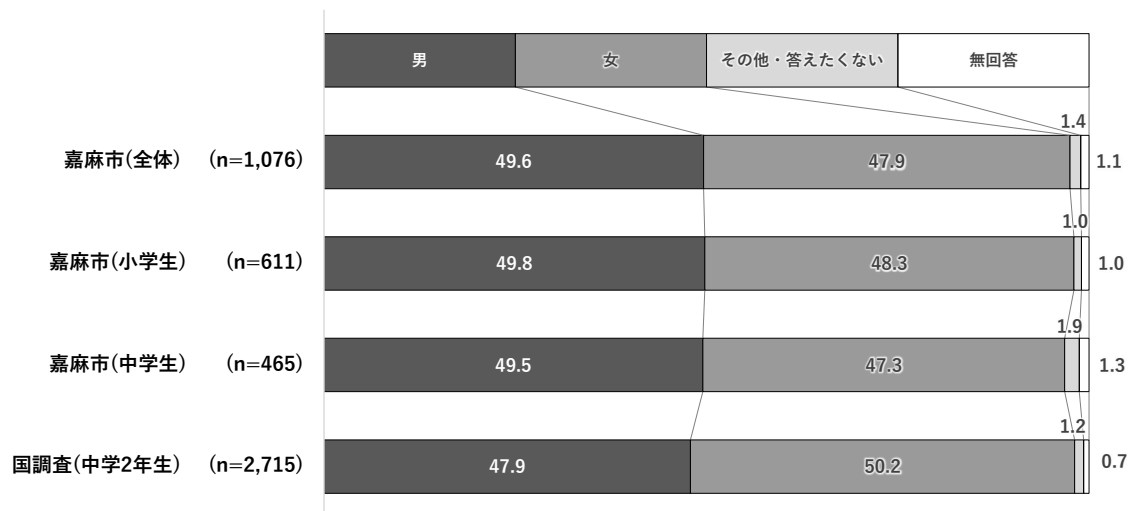
階層別の回答者構成は以下のとおりであり、「階層3」で約5割、「階層2」で約4割、「階層1」で1割強となっている。



(2) 小学生・中学生

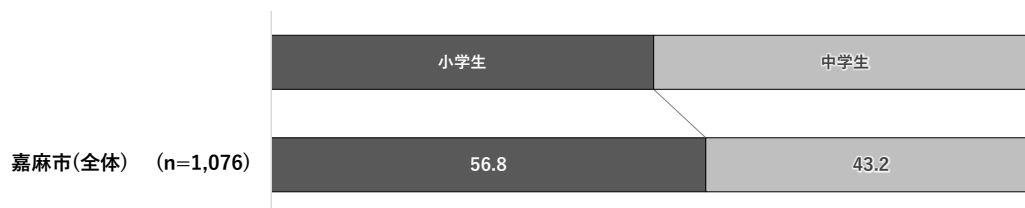
①性別

本市では、「男」「女」の割合がそれぞれ約5割となっている。



②学年

本市では、「小学生」の割合が6割弱で最も高く、「中学生」が4割強となっている。



II 保護者向け調査の結果

1. 調査結果

(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

問 11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

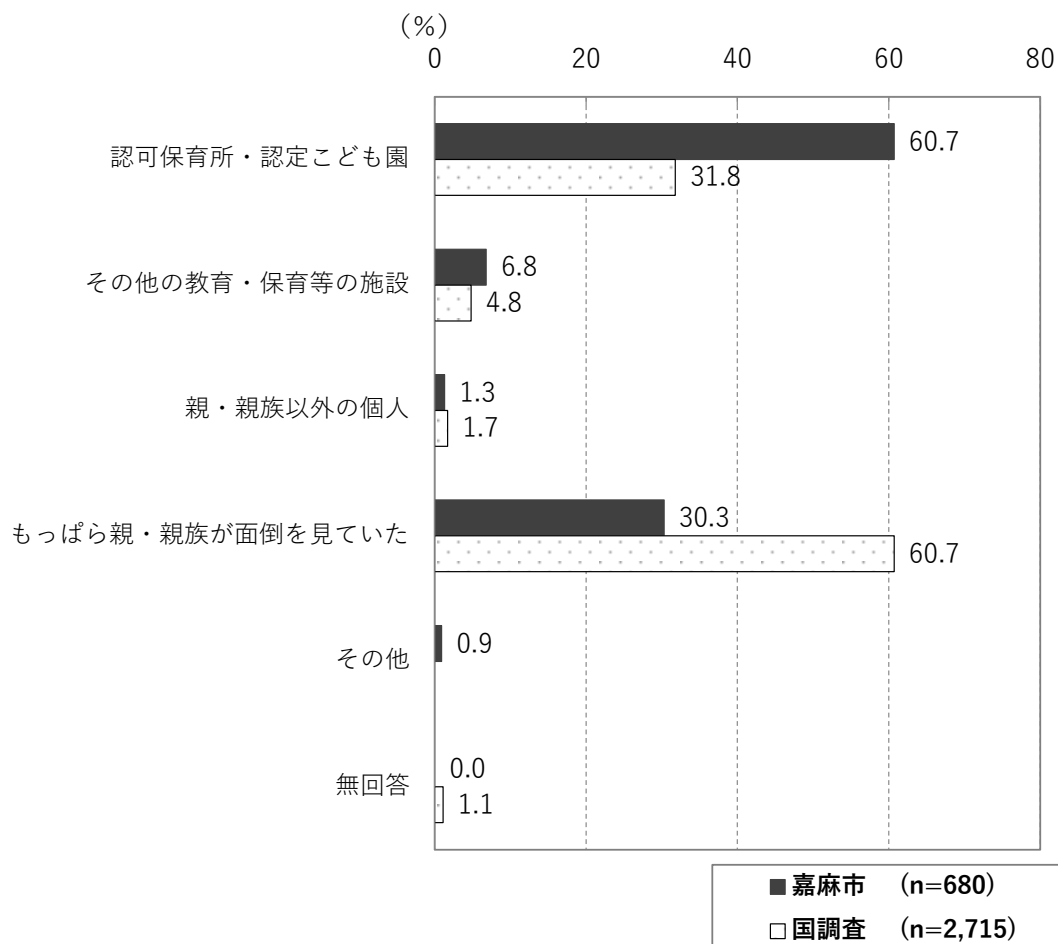
子どもが0～2歳の間は、本市では「認可保育所・認定こども園」が約6割を占めており、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が約3割で続いている。

等価世帯収入の階層別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合は階層1が3割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。

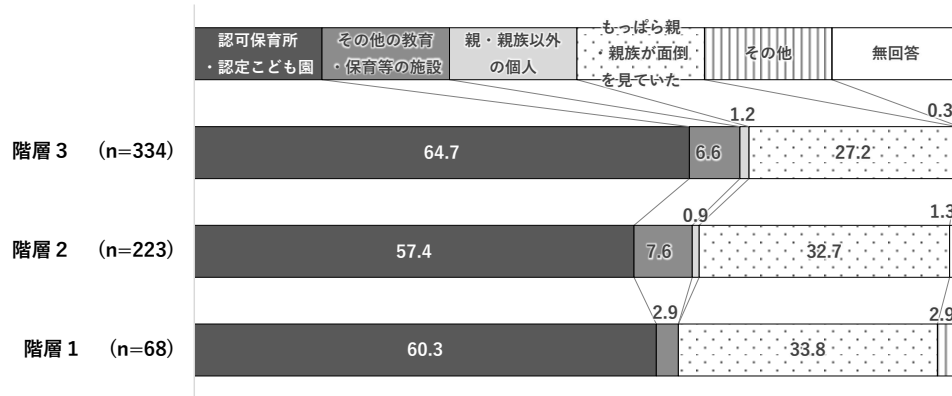
世帯の状況別にみると、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が低い割合となっている。また、「認可保育所・認定こども園」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が高い割合となっている。

国調査との比較では、国調査では「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が約6割、「認可保育所・認定こども園」が約3割となっており、本市と明確な違いが見られる。

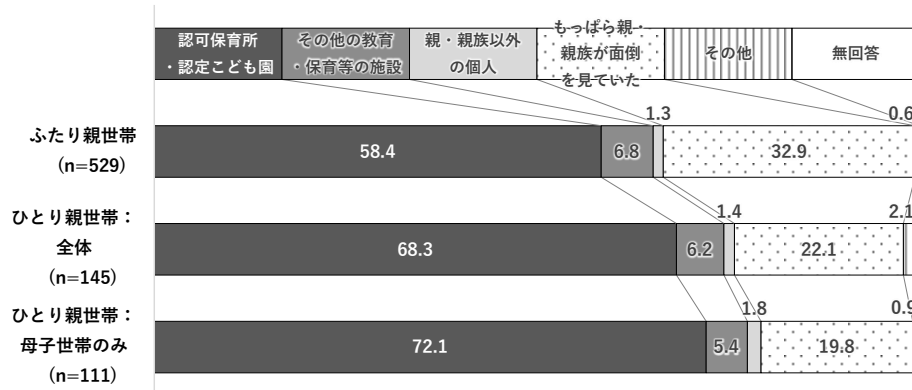
※以下、グラフにおける本市の全体数（有効回答数）については、P6 ⑧に基づき算出。



【階層別】



【世帯の状況別】



(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

問 12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

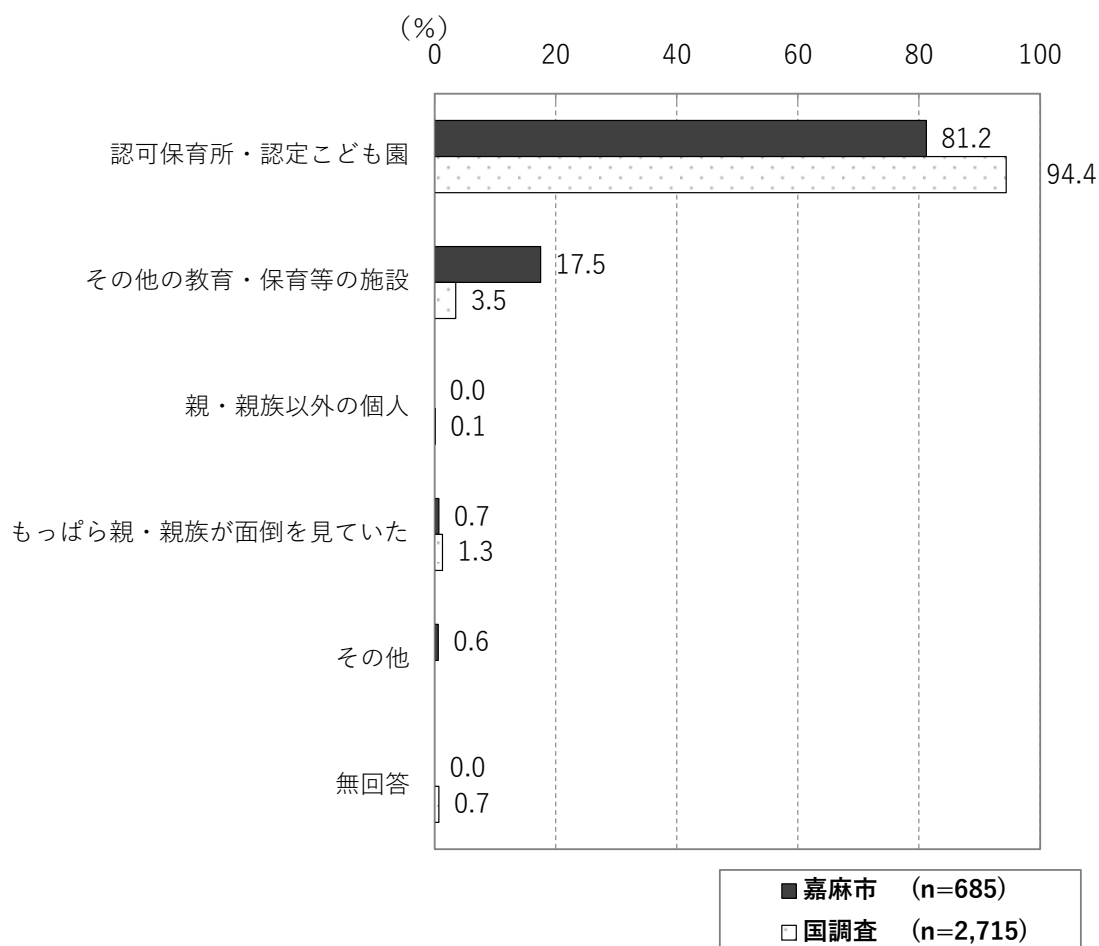
子どもが3～5歳の間は、本市では「認可保育所・認定こども園」が約8割を占めており、「その他の教育・保育等の施設」が2割弱で続いている。

等価世帯収入の階層別にみると、「認可保育所・認定こども園」については、階層1の割合が9割強と特に高くなっている。

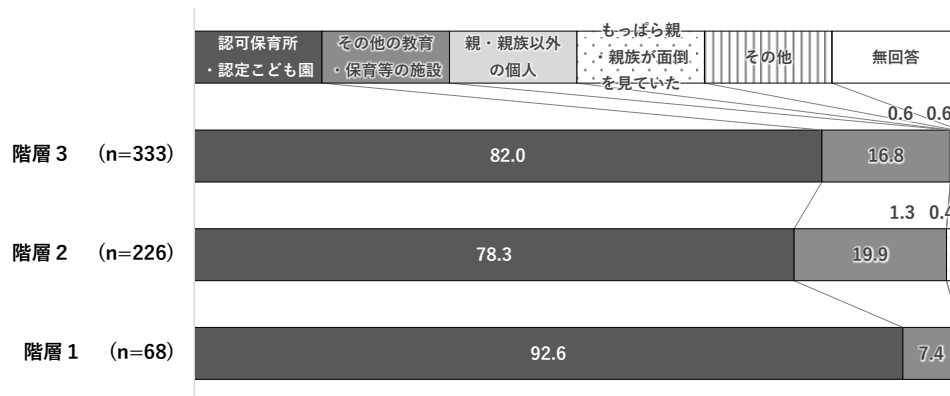
世帯の状況別にみると、「認可保育所・認定こども園」については、ひとり親世帯(全体)の割合が約9割と特に高くなっている。

国調査との比較では、「その他の教育・保育等の施設」における国調査の割合が1割未満であることに對し、本市では2割弱と高い傾向にある。また、「認可保育所・認定こども園」における国調査の割合が9割半ばであることに對し、本市では約8割と低い傾向にある。

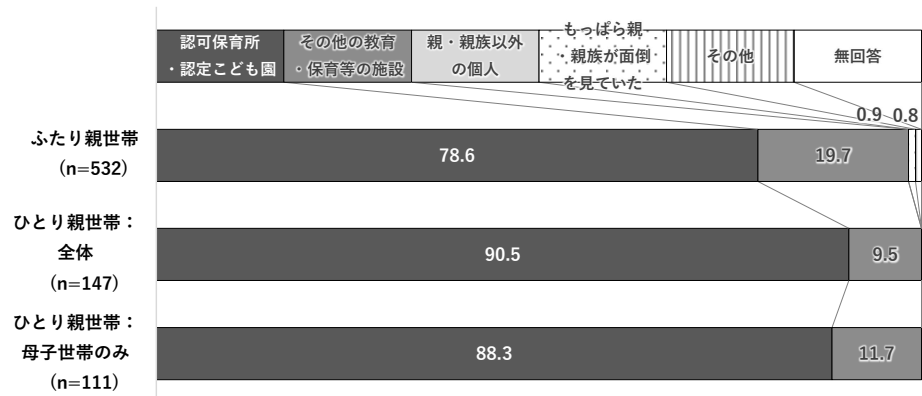
※以下、グラフにおける本市の全体数(有効回答数)については、P6 ⑧に基づき算出。



【階層別】



【世帯の状況別】



(3) 子どもとの関わり方

問 13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

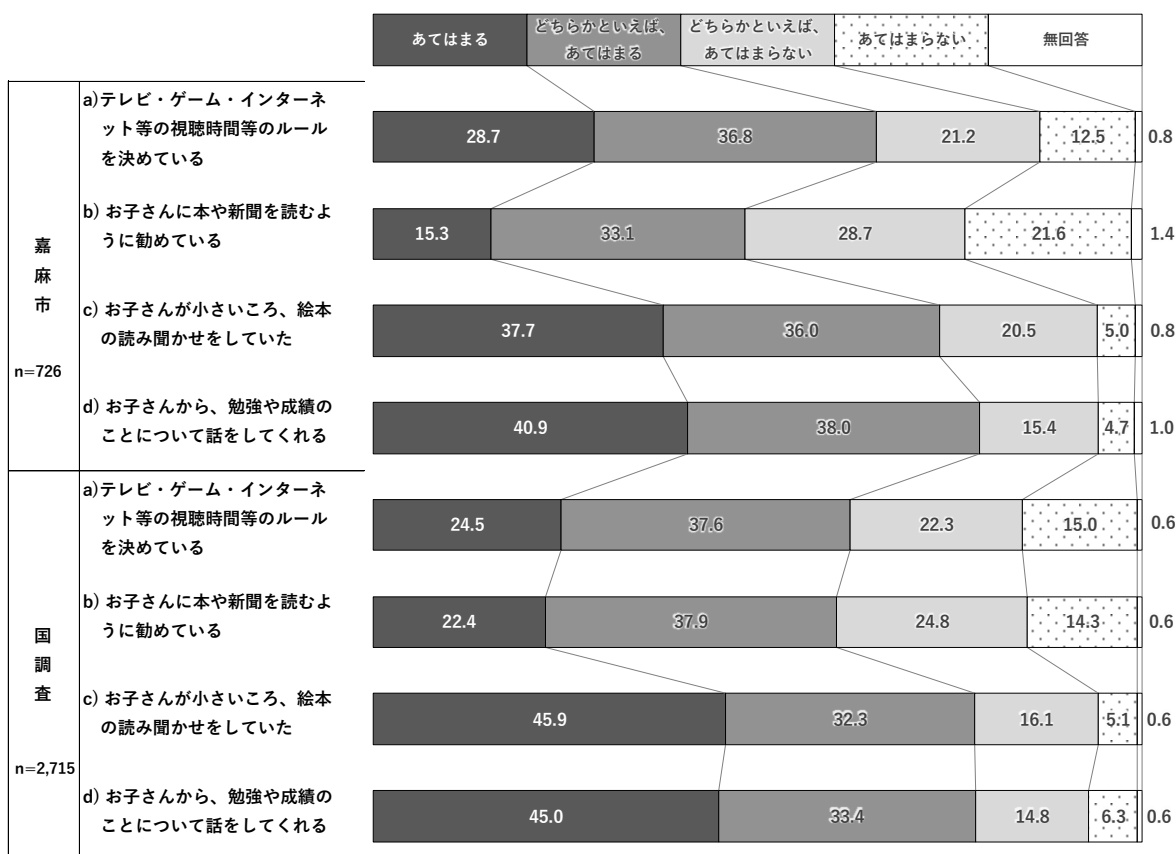
「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた『あてはまる・計』の割合をみると、本市では「b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている」を除く全ての項目において6割を超えており、特に「d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」は約8割と最も高くなっている。

等価世帯収入の階層別にみると、「d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」を除く全ての項目において、『あてはまる・計』は階層が低くなるにつれて割合が低くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、「a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」における『あてはまる・計』の割合は、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が低い割合となっている。また、「b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている」、「c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」、「d)お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」についても、『あてはまる・計』の割合はふたり親世帯が最も高くなっている。

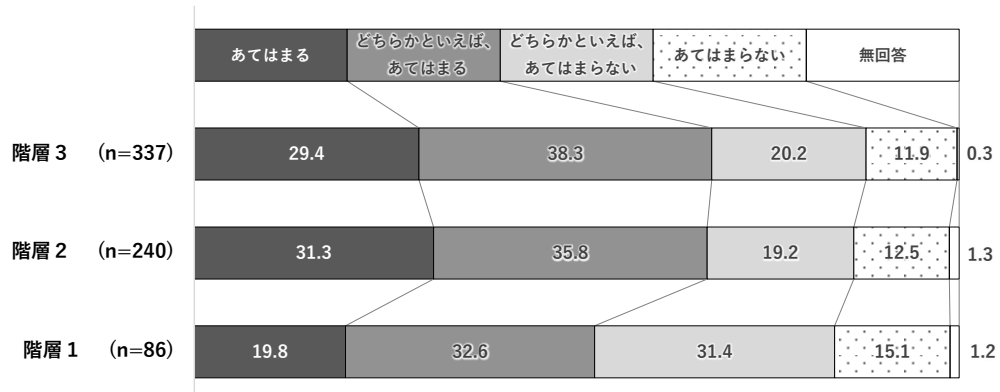
国調査との比較では、国調査では「b)お子さんに本や新聞を読むように勧めている」における『あてはまる・計』の割合が約6割であることにに対し、本市では約5割と低い傾向にある。

※以下、グラフにおける本市の全体数（有効回答数）については、P6 ⑧に基づき算出。

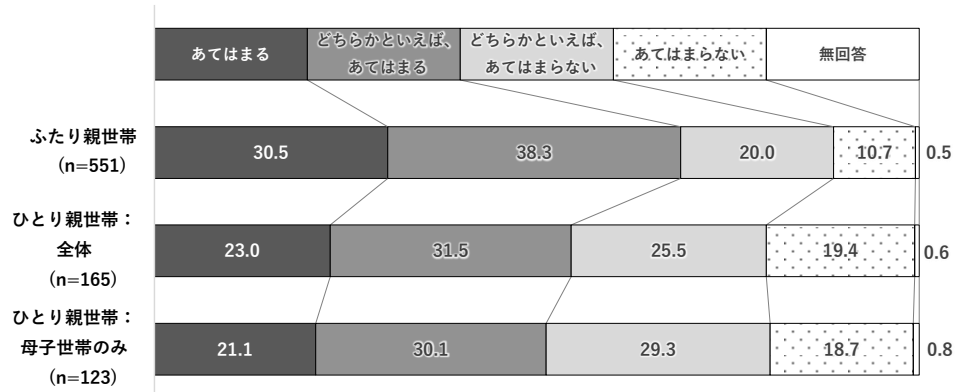


a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

【階層別】

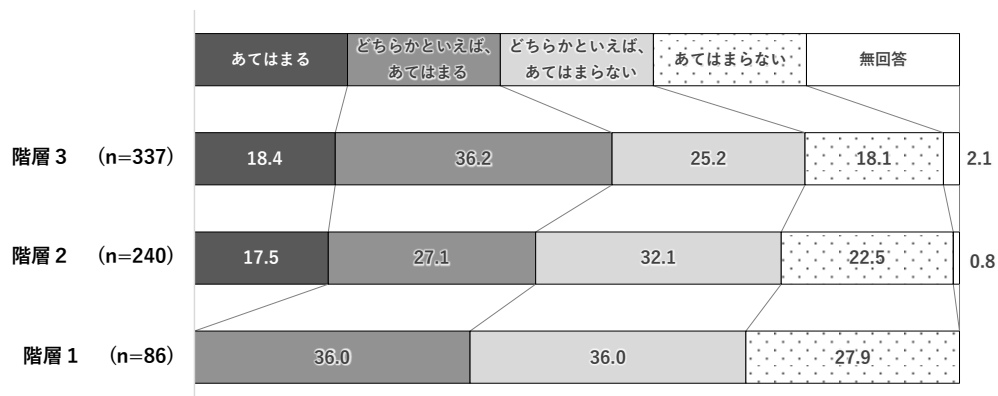


【世帯の状況別】

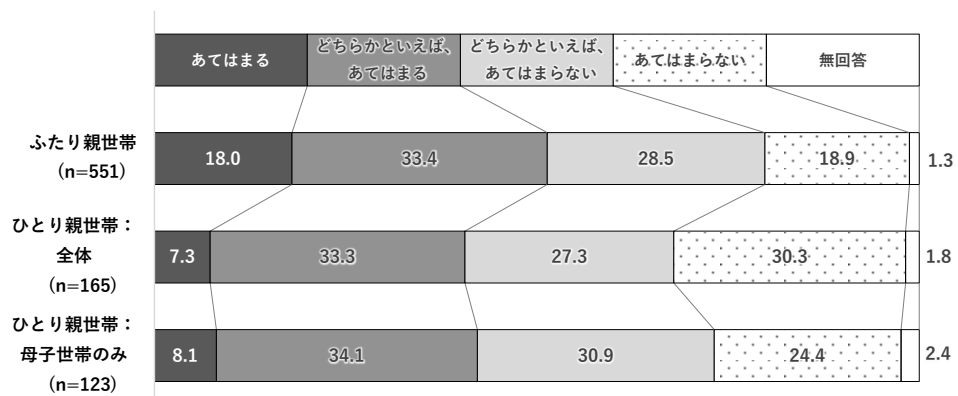


b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

【階層別】

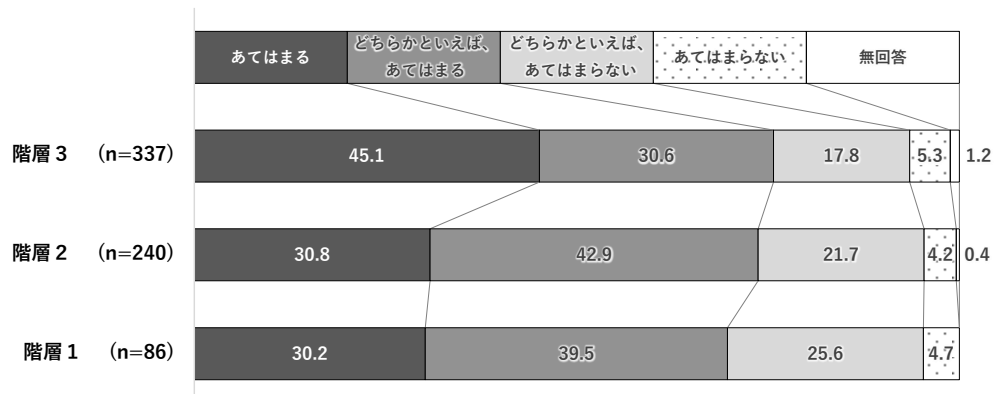


【世帯の状況別】

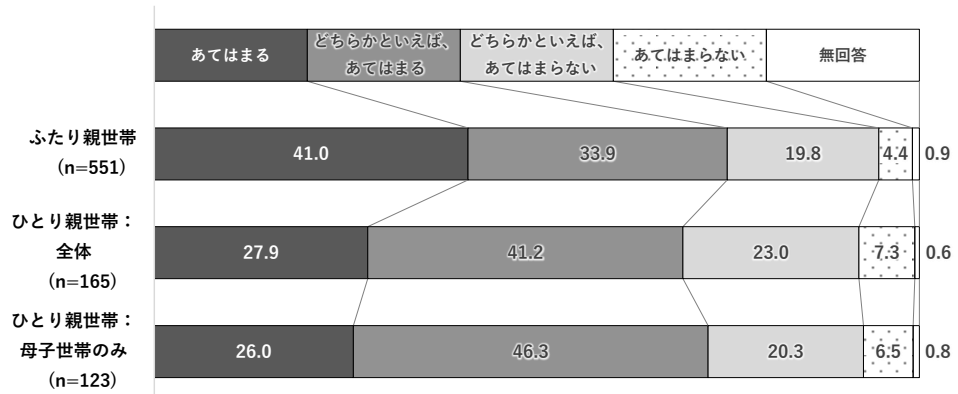


c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

【階層別】

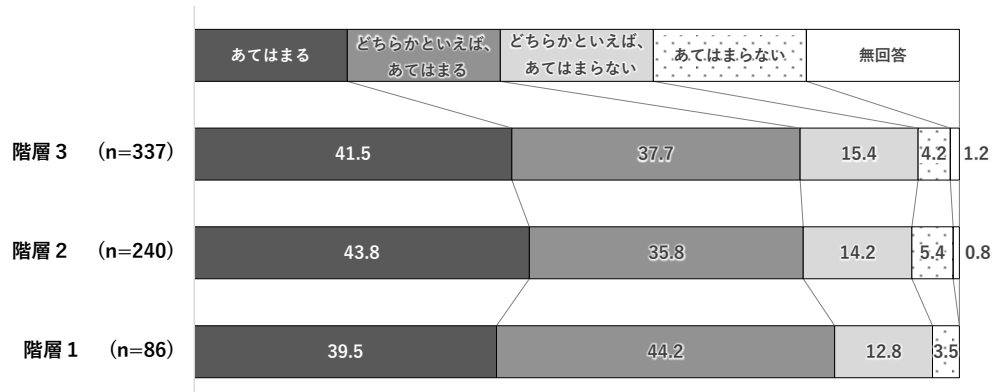


【世帯の状況別】

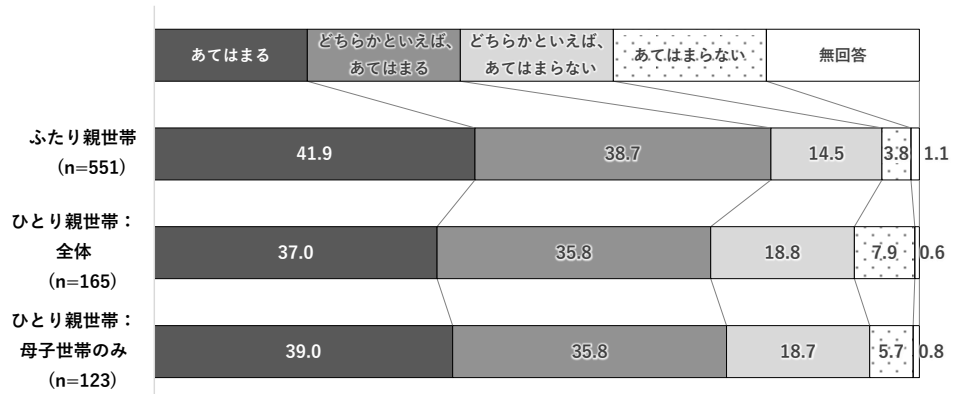


d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

【階層別】



【世帯の状況別】



(4) 学校行事等への参加状況

問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

※新型コロナウイルス感染症拡大後(2020年2月以降)、学校行事などが休止している場合は、それ以前の状況をお答えください。

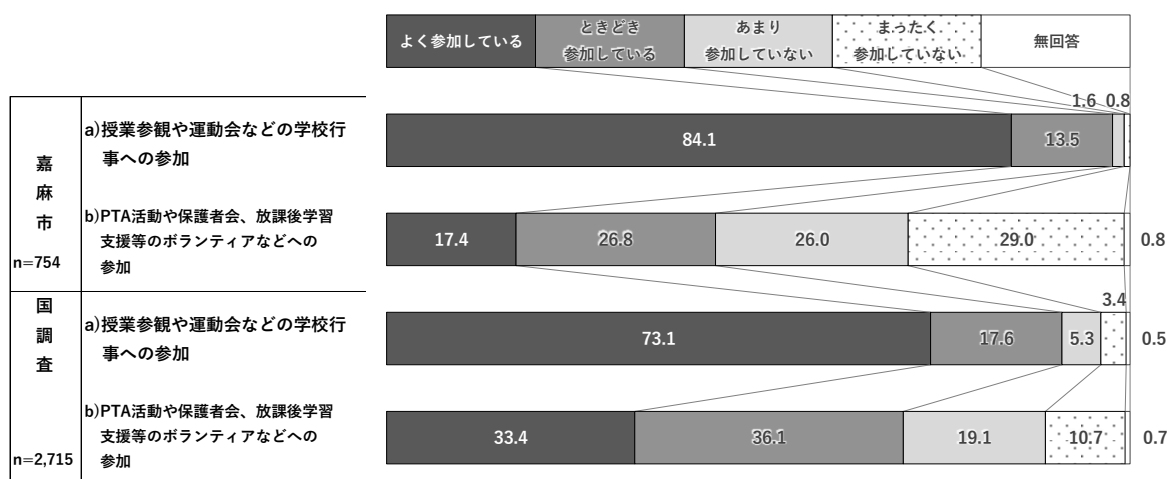
「a)授業参観や運動会などの学校行事への参加」は、8割半ばが「よく参加している」と回答している。これに「ときどき参加している」を加えた『参加している・計』では、9割半ばを超える。一方、「b)PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」は、『参加している・計』が4割半ばとなっており、「a)授業参観や運動会などの学校行事への参加」に比べると参加頻度は低い。

等価世帯収入の階層別にみると、「b)PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」において、階層1の『参加している・計』の割合が約5割となっており、階層2・3と比べると高くなっている。

世帯の状況別にみると、「b)PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」において、ひとり親世帯(全体)の「まったく参加していない」の割合が4割弱と特に高くなっている。

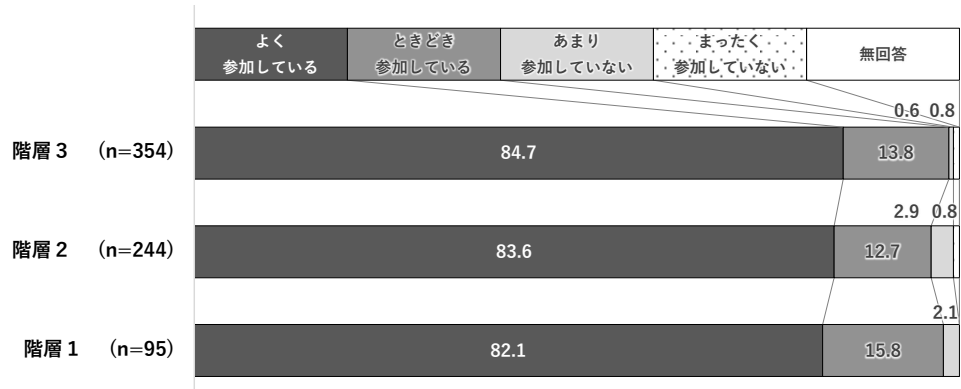
国調査との比較では、国調査では「a)授業参観や運動会などの学校行事への参加」における「よく参加している」の割合が7割強であることに対し、本市では8割半ばと高い傾向にある。また、「b)PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」における国調査の『参加している・計』の割合が約7割であることに対し、本市では4割半ばと低い傾向にある。

※以下、グラフにおける本市の全体数(有効回答数)については、P6 ⑧に基づき算出。

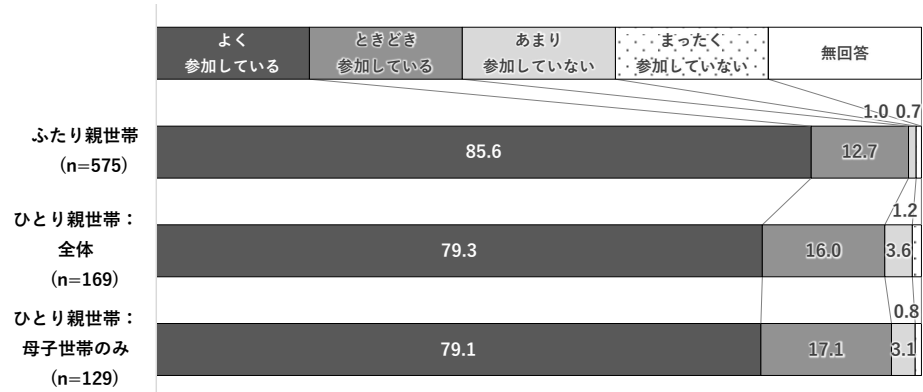


a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

【階層別】

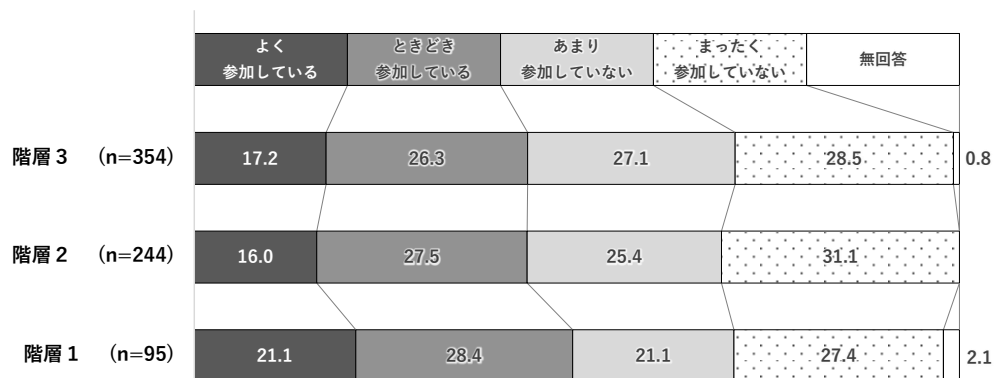


【世帯の状況別】

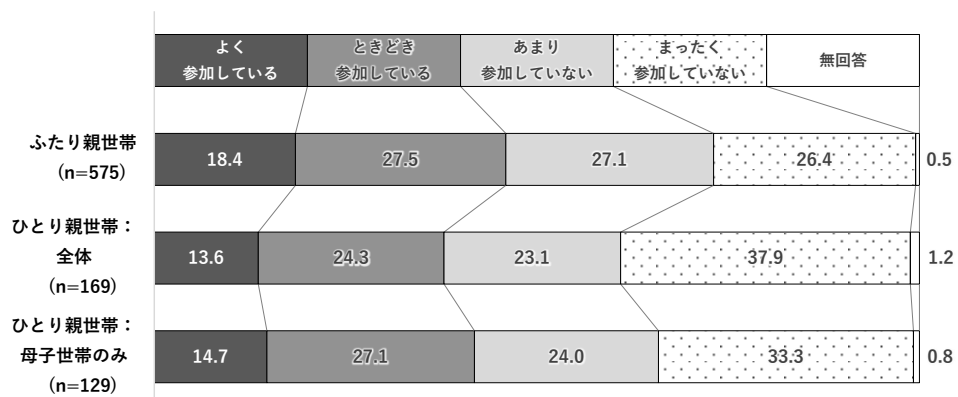


b) PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

【階層別】



【世帯の状況別】



(5) 子どもの想定される進学先

問 15 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

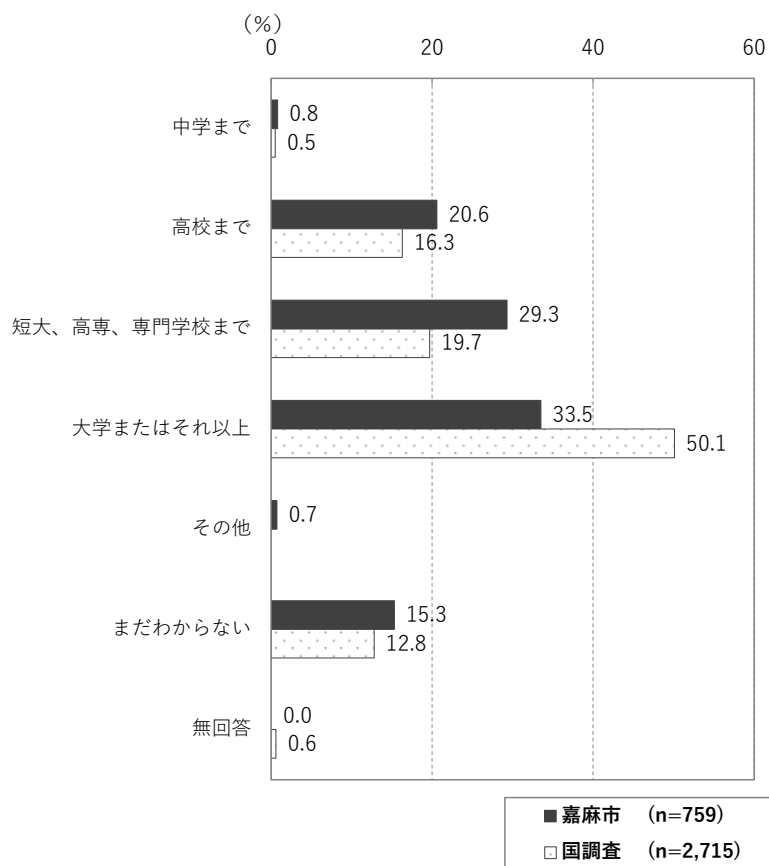
子どもの進学については、「大学またはそれ以上」が最も多く3割強となっており、「短大、高専、専門学校まで」が約3割、「高校まで」が約2割で続いている。

等価世帯収入の階層別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は階層3が4割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、「高校まで」の割合は階層1が3割強と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

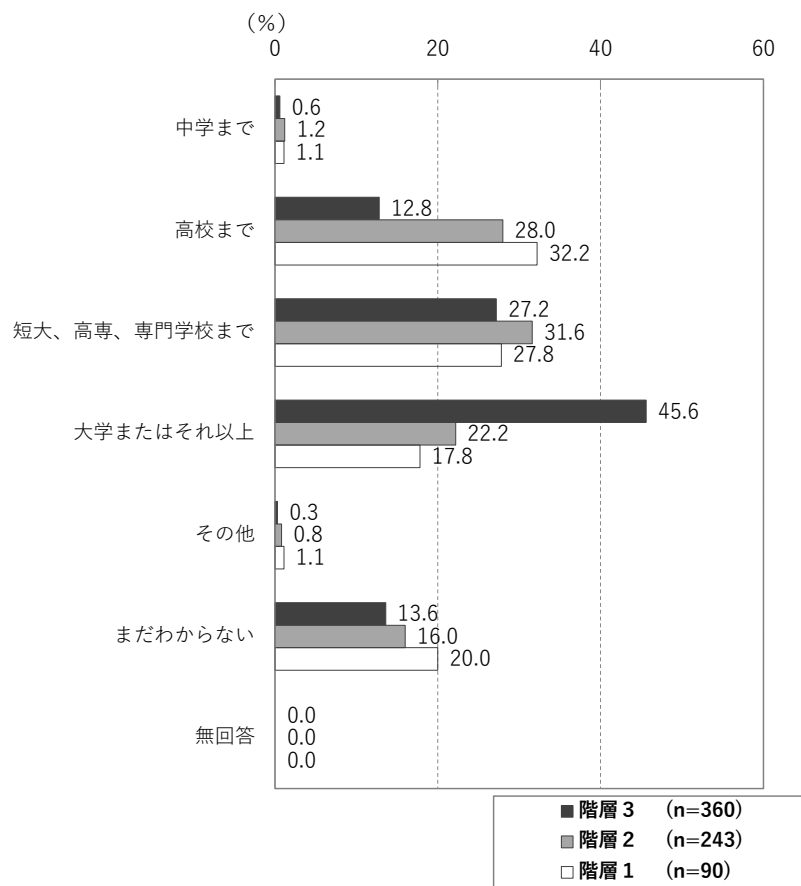
世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯（特に母子世帯）と比べて「大学またはそれ以上」の割合が高くなっている。また、「高校まで」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が高い割合となっている。

国調査との比較では、「大学またはそれ以上」における国調査の割合が約5割であることに對し、本市では3割強と低い傾向にある。また、「短大、高専、専門学校まで」における国調査の割合が約2割であることに對し、本市では約3割と高い傾向にある。

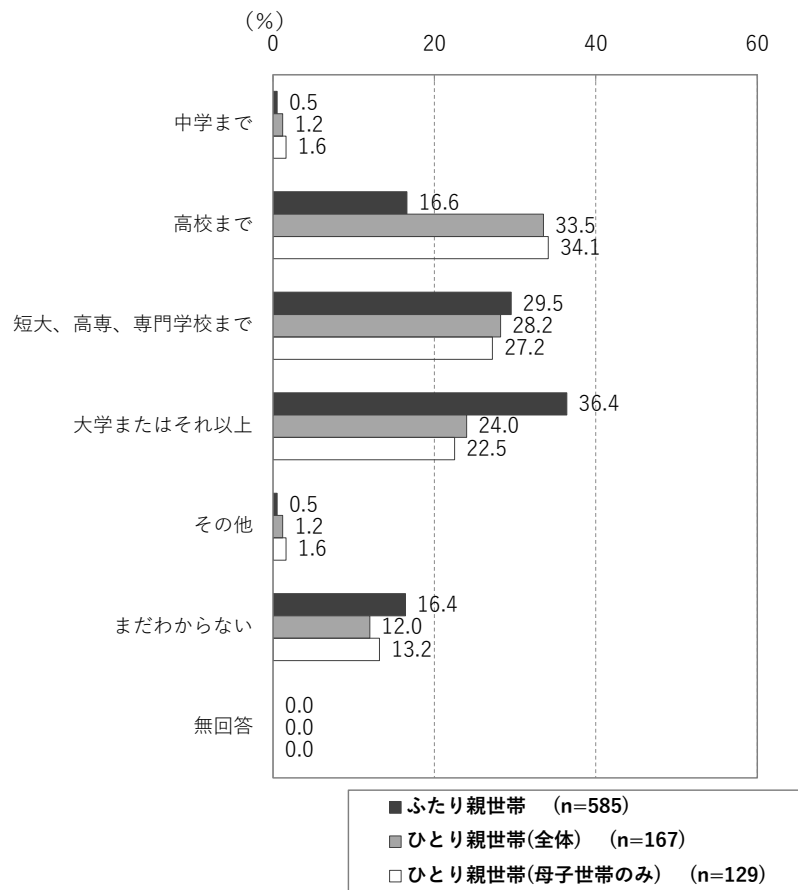
※以下、グラフにおける本市の全体数（有効回答数）については、P6 ⑧に基づき算出。



【階層別】



【世帯の状況別】



(6) 進学理由

問 16 問 15 で「1 中学」～「8 その他」と答えた場合、その理由は何ですか。

(「1 お子さんがそう希望しているから」～「5 その他」について、あてはまるものすべてに○)

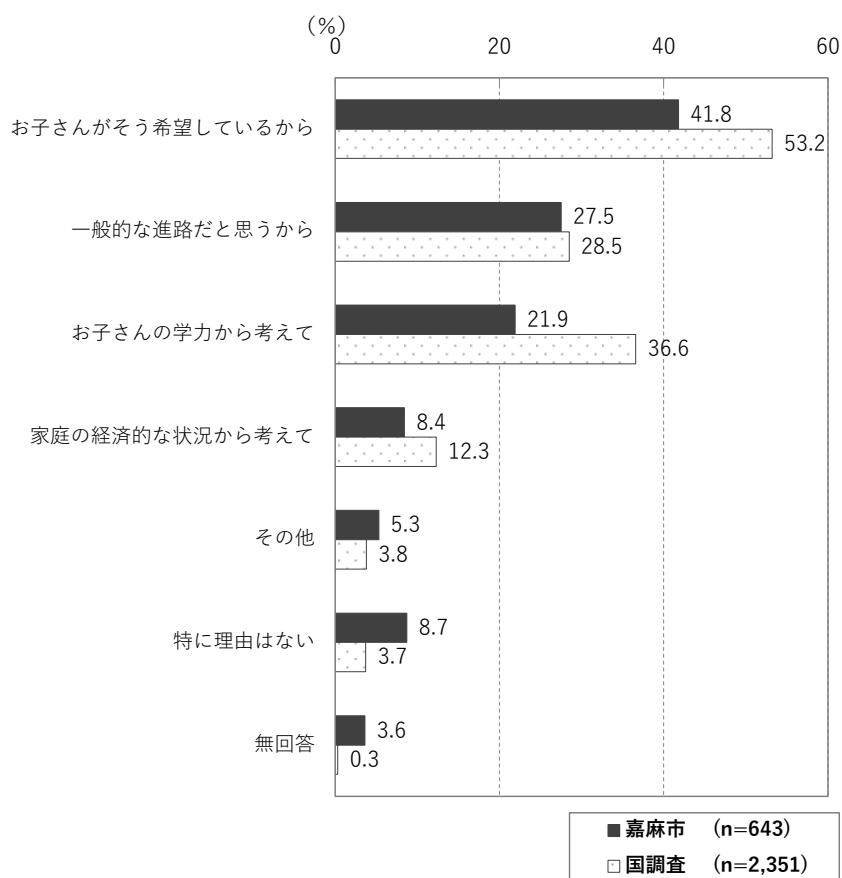
進学の段階については、「お子さんがそう希望しているから」が最も多く約 4 割となっており、「一般的な進路だと思うから」が 3 割弱、「お子さんの学力から考えて」が約 2 割で続いている。なお、「特に理由はない」の割合は約 1 割となっている。

等価世帯収入の階層別にみると、「お子さんの学力から考えて」の割合は階層 3 が 2 割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。

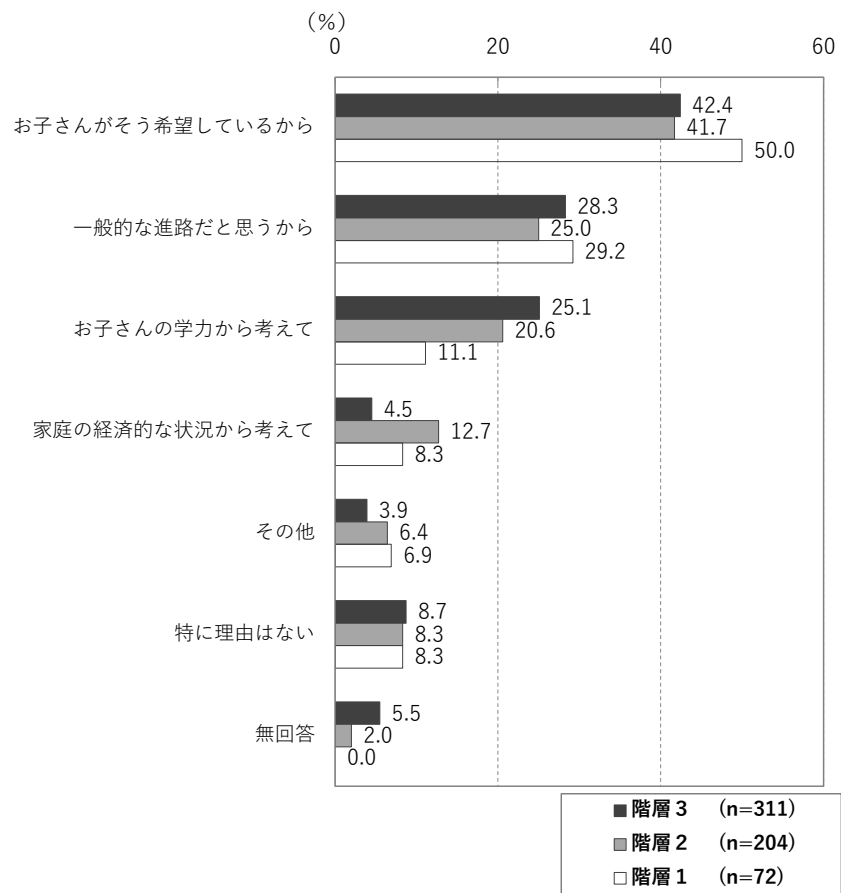
世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯（特に母子世帯）と比べて「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が低くなっている。

国調査との比較では、「お子さんの学力から考えて」における国調査の割合が 4 割弱であることに対し、本市では約 2 割と低い傾向にある。また、「お子さんがそう希望しているから」における国調査の割合が 5 割強であることに対し、本市では約 4 割と低い傾向にある。

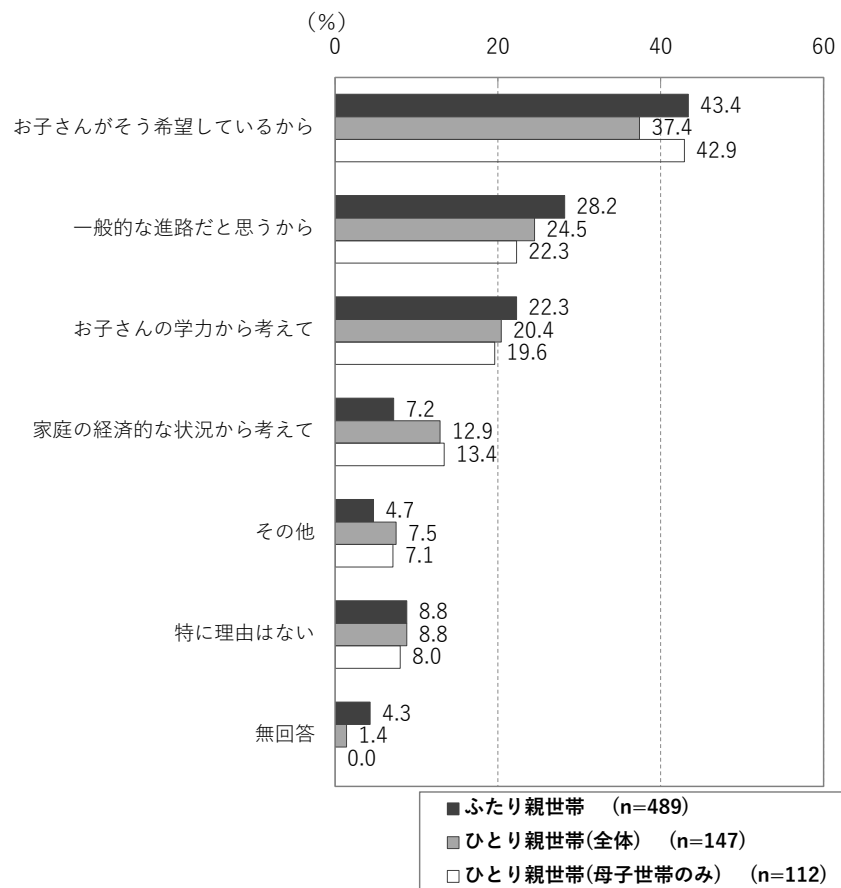
※以下、グラフにおける本市の全体数（有効回答数）については、P6 ⑧に基づき算出。



【階層別】



【世帯の状況別】



(7) 頼れる人の有無

問 17 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(a～c それぞれについて、「1 頼れる人がいる」～「3 そのことでは人に頼らない」のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(「①家族・親族」～「⑦その他」のあてはまるものすべてに○)

本市では、「a)子育てに関する相談」と「b)重要な事柄の相談」における「頼れる人がいる」の割合は8割以上となっている。頼れる人については、いずれの項目においても「家族・親戚」の割合が約9割～9割半ばと最も高くなっており、「友人・知人」が続いている。また、「a)子育てに関する相談」については、「職場の人」の割合が約3割となっており、一定数存在している。

等価世帯収入の階層別にみると、「c)いざという時のお金の援助」における「いない」の割合について、階層1が約3割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。その他の項目においても、「いない」の割合に大きな差はみられないが、階層が低くなるにつれて高くなっていく傾向にある。頼れる人については、「a)子育てに関する相談」における割合の高い「家族・親戚」、「友人・知人」、「職場の人」のいずれも、階層が低くなるにつれて割合が低くなる傾向にある。また、「c)いざという時のお金の援助」における「友人・知人」の割合については、階層1が1割強と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。

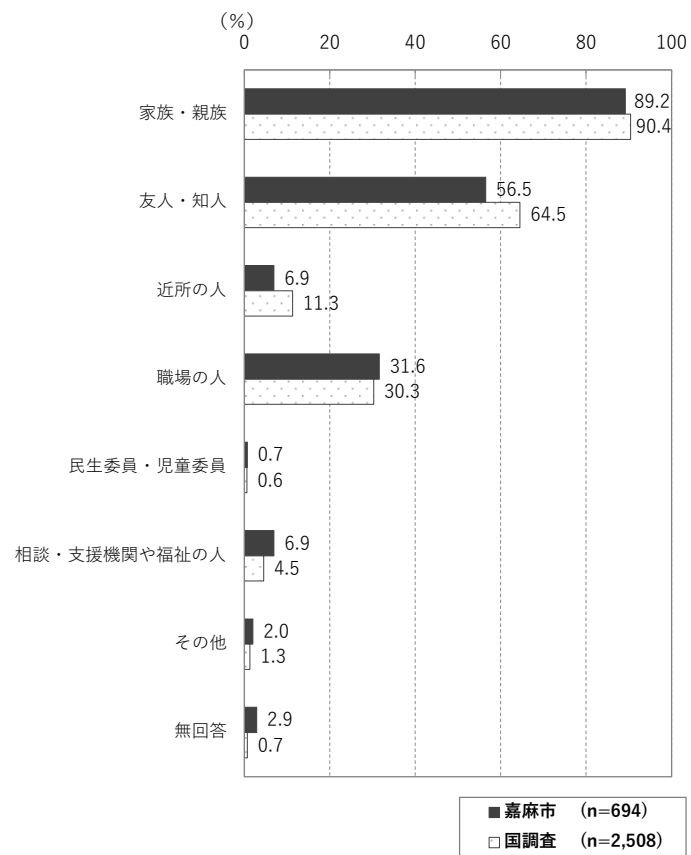
世帯の状況別にみると、いずれの項目においても「頼れる人がいる」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が低い割合となっている。頼れる人については、「a)子育てに関する相談」における「家族・親戚」と「職場の人」の割合は、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が低い割合となっている。また、「b)重要な事柄の相談」と「c)いざという時のお金の援助」における「友人・知人」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が高い割合となっている。

国調査との比較では、頼れる人の有無と頼れる人のそれぞれにおいて本市と同様の傾向であるが、頼れる人において、国調査の「a)子育てに関する相談」における「友人・知人」の割合が6割半ばであることに対し、本市では5割半ばと低い傾向にある。

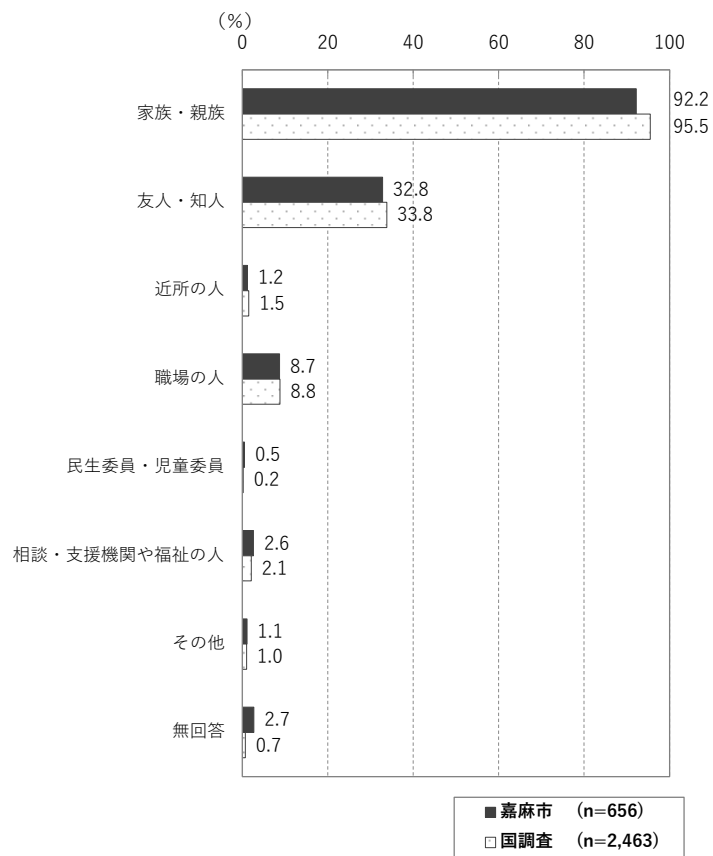


<頼れる人>

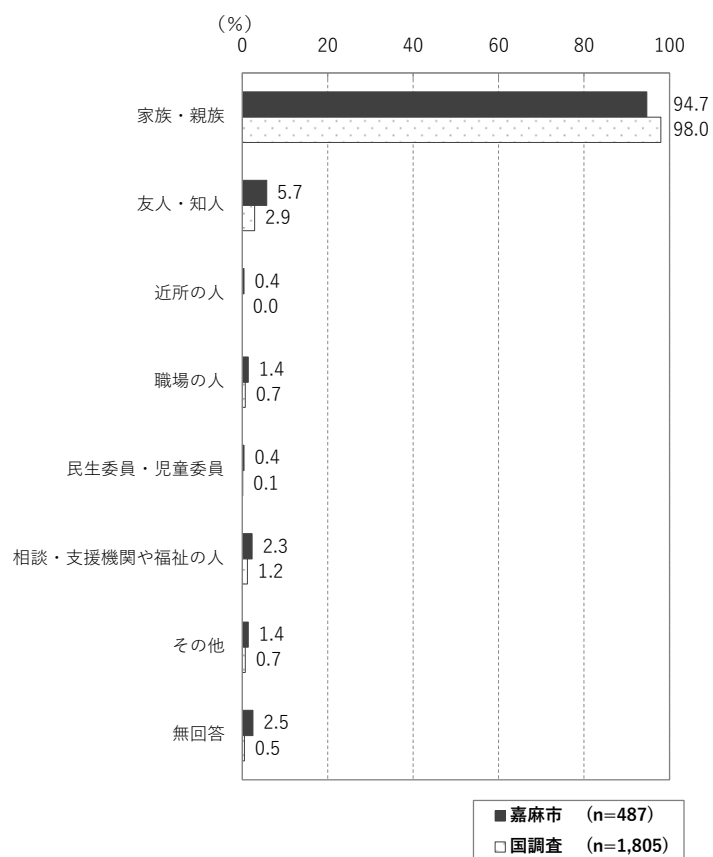
a) 子育てに関する相談



b) 重要な事柄の相談



c) いざという時のお金の援助



a) 子育てに関する相談

【階層別】

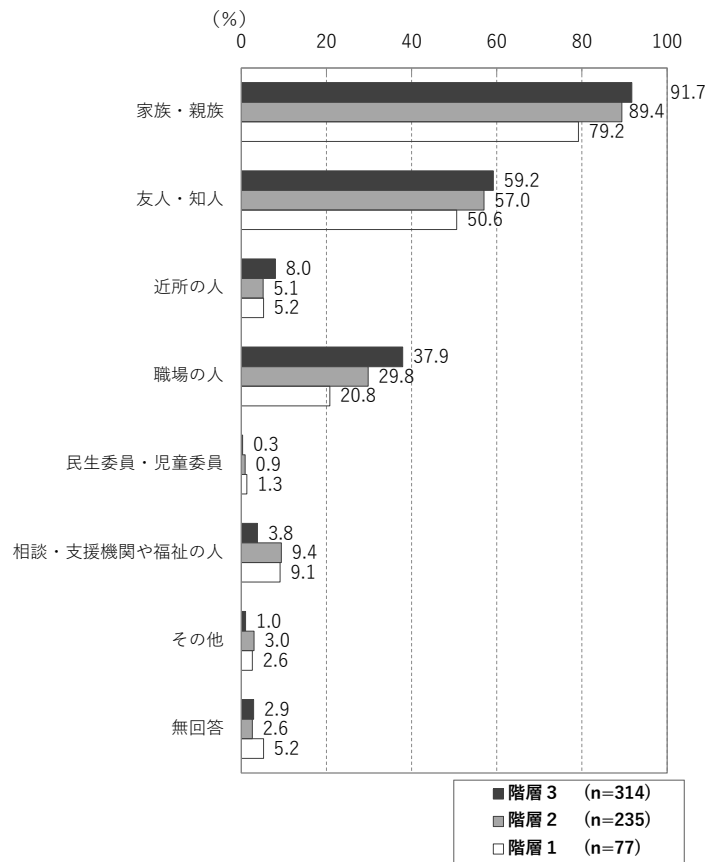


【世帯の状況別】

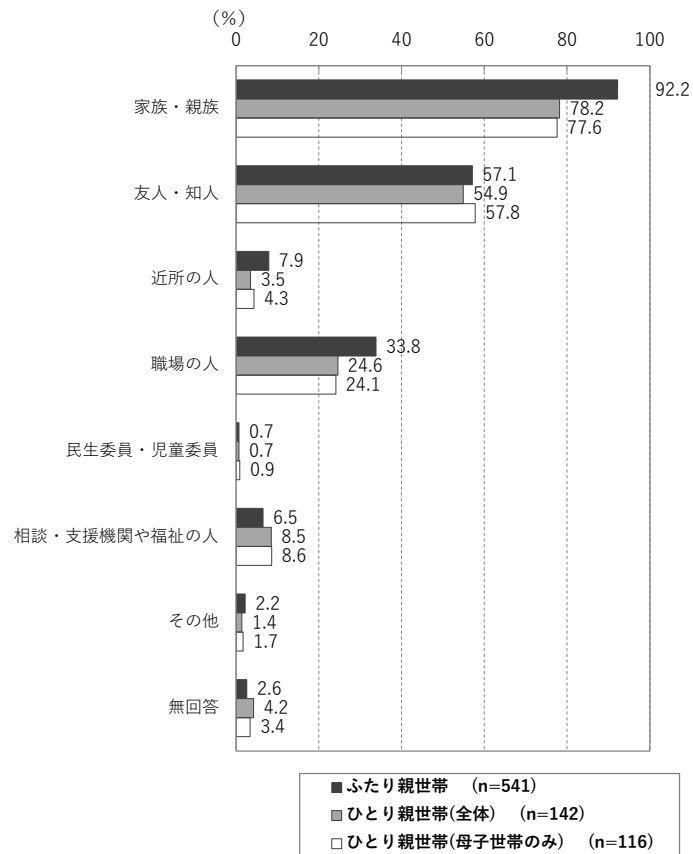


<頼れる人>

【階層別】

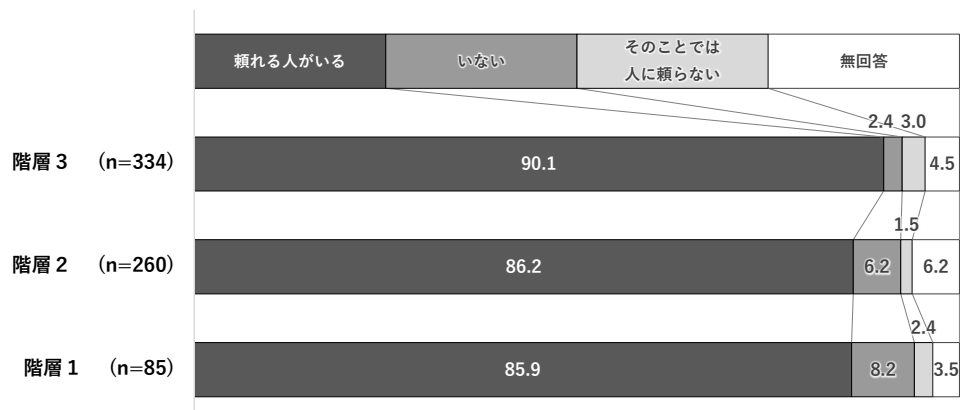


【世帯の状況別】

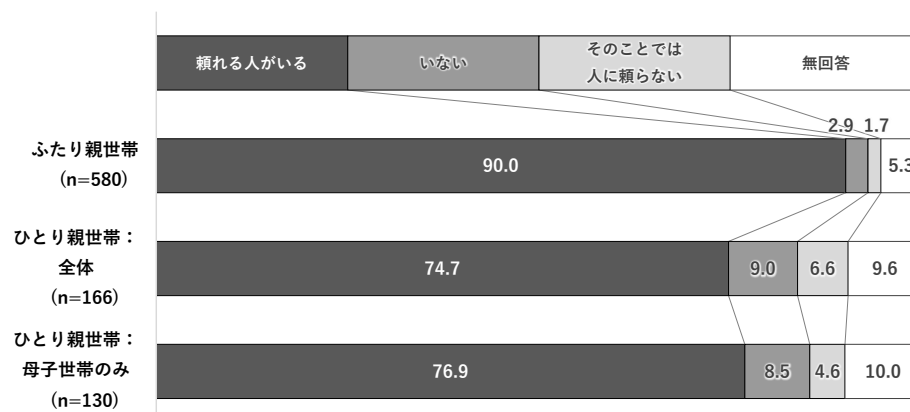


b) 重要な事柄の相談

【階層別】

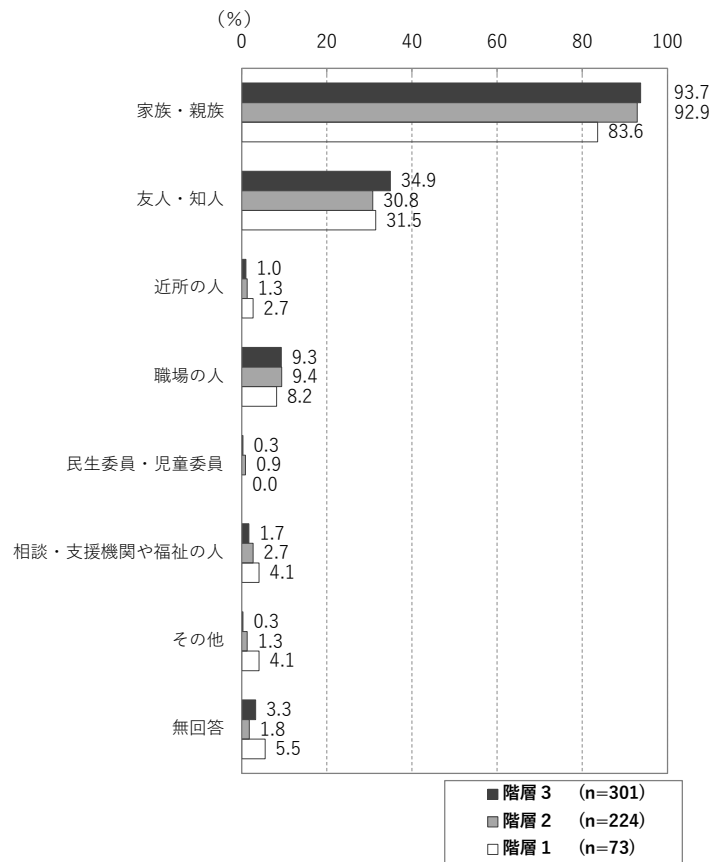


【世帯の状況別】

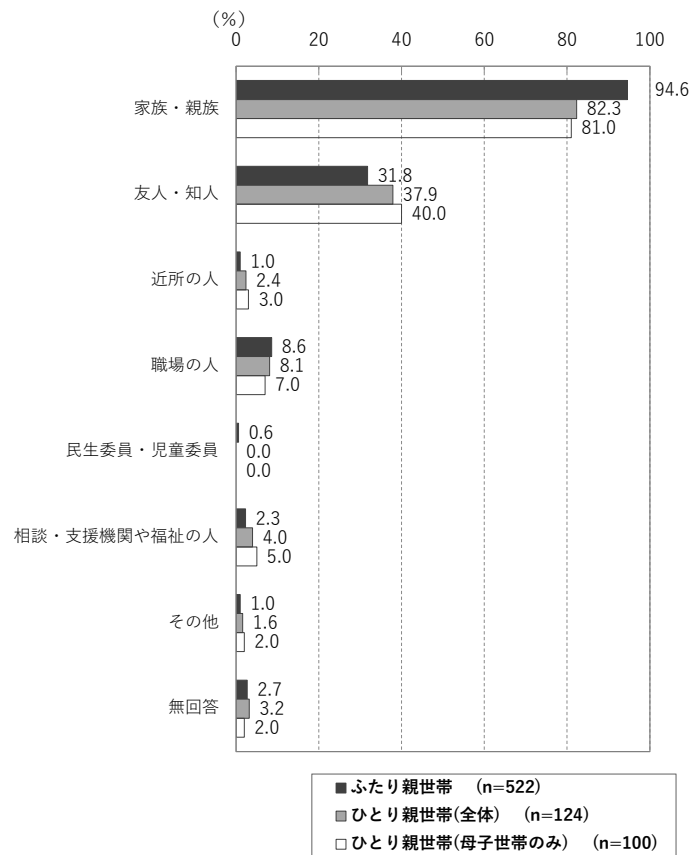


<頼れる人>

【階層別】

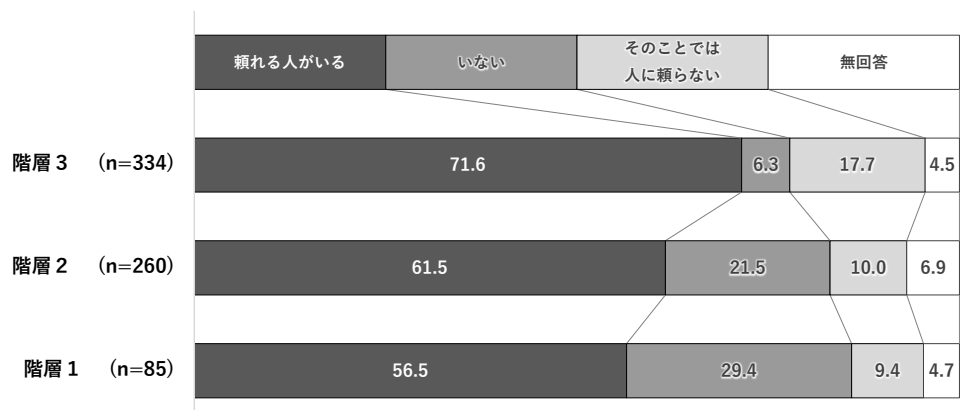


【世帯の状況別】

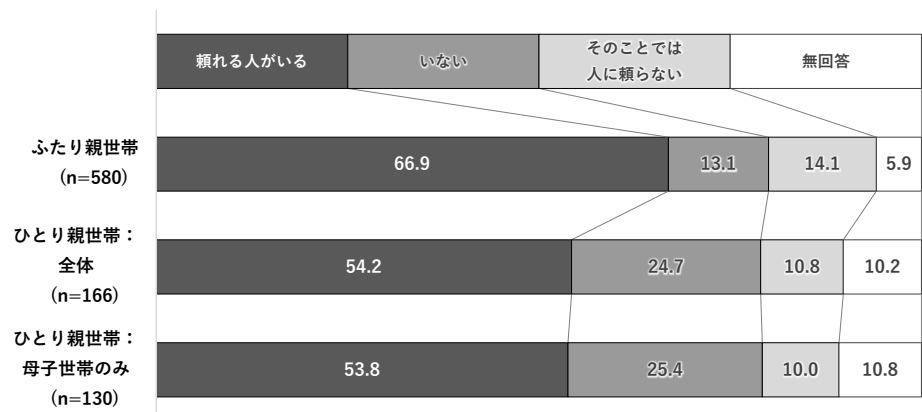


c) いざという時のお金の援助

【階層別】

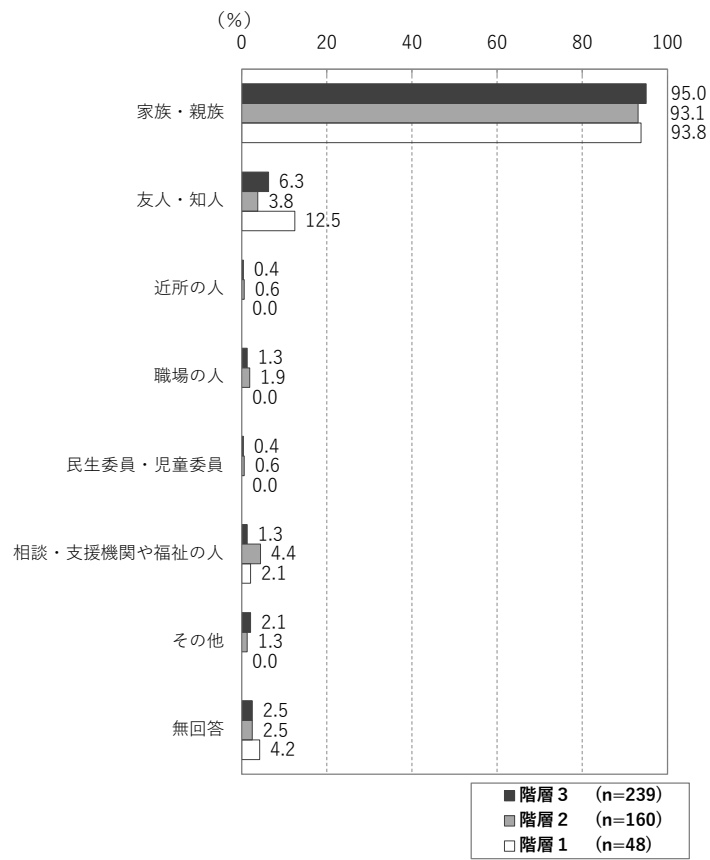


【世帯の状況別】

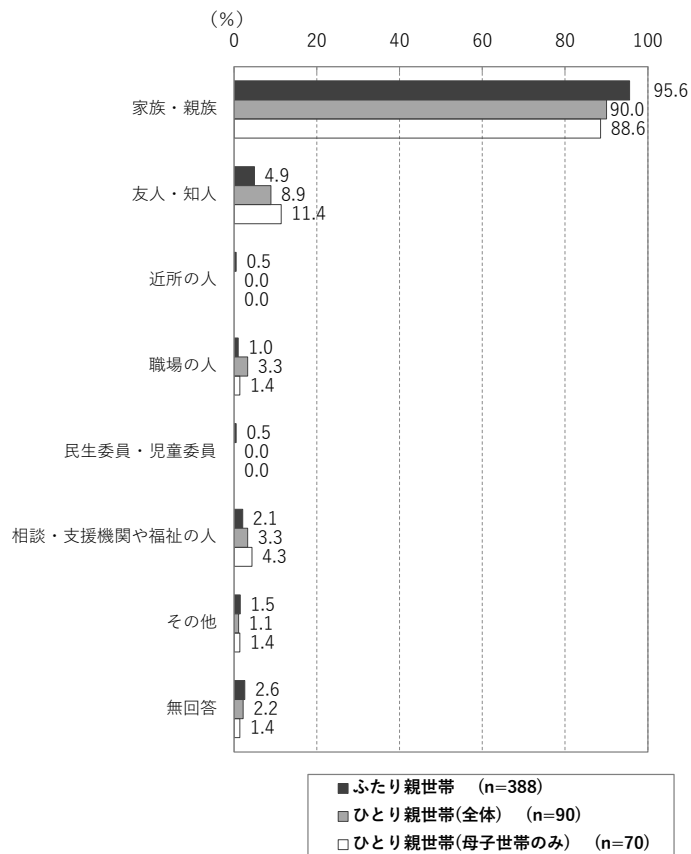


<頼れる人>

【階層別】



【世帯の状況別】



(8) 現在の暮らしの状況

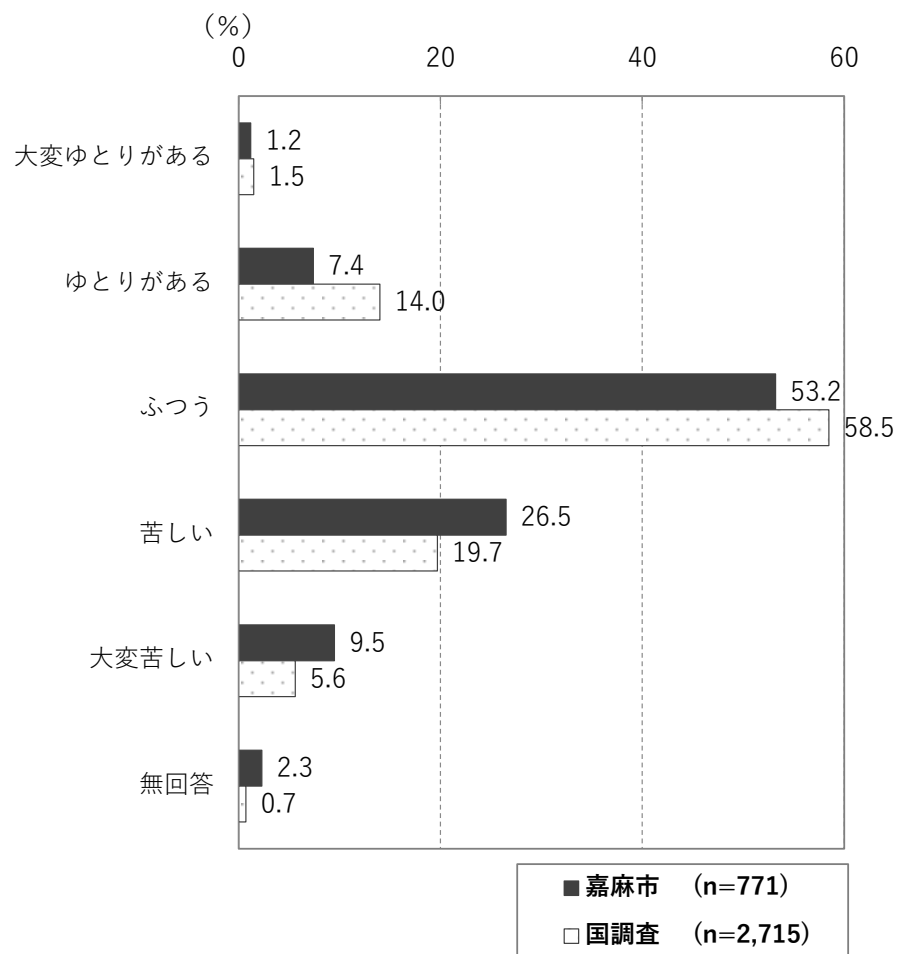
問 18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況については、「ふつう」の割合が5割強、「大変苦しい」と「苦しい」を合わせた「苦しい・計」が3割半ば、「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある・計』が約1割になっている。

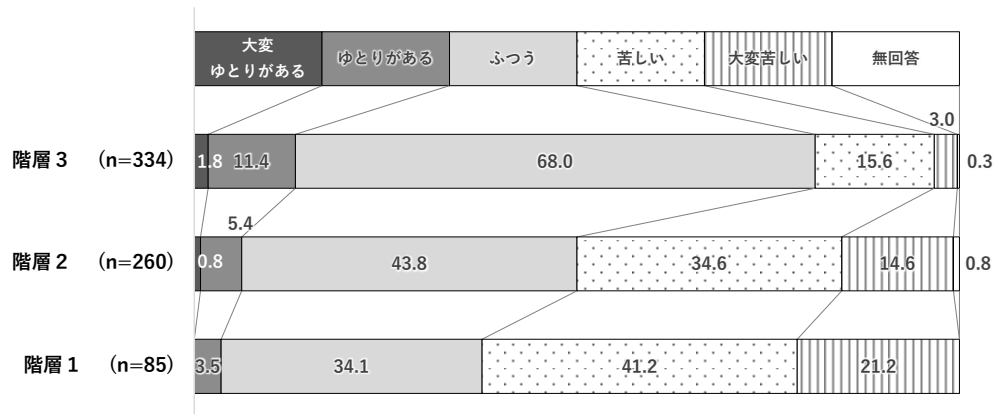
等価世帯収入の階層別にみると、『苦しい・計』の割合は階層1が6割強と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。また、「ふつう」の割合は階層3が7割弱と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯（特に母子世帯）と比べて『苦しい・計』の割合が低くなっている。また、「ふつう」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が低い割合となっている。

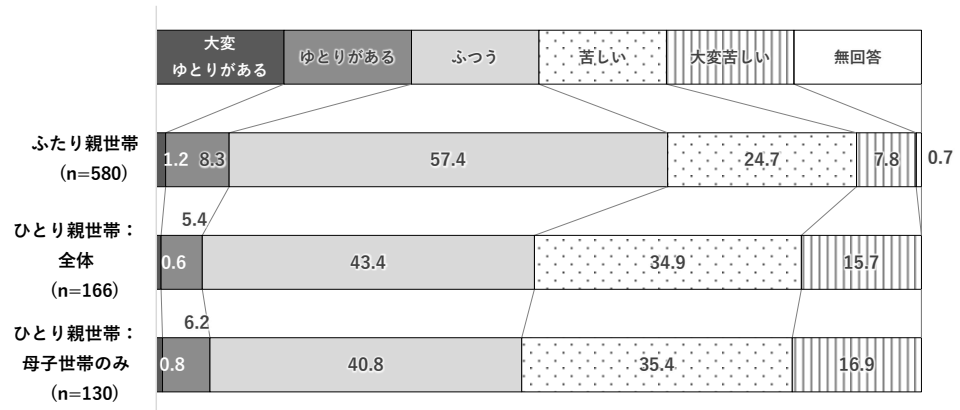
国調査との比較では、『苦しい・計』における国調査の割合が2割半ばであることにに対し、本市では3割半ばと高い傾向にある。また、『ゆとりがある・計』における国調査の割合が1割半ばであることにに対し、本市では約1割と低い傾向にある。



【階層別】



【世帯の状況別】



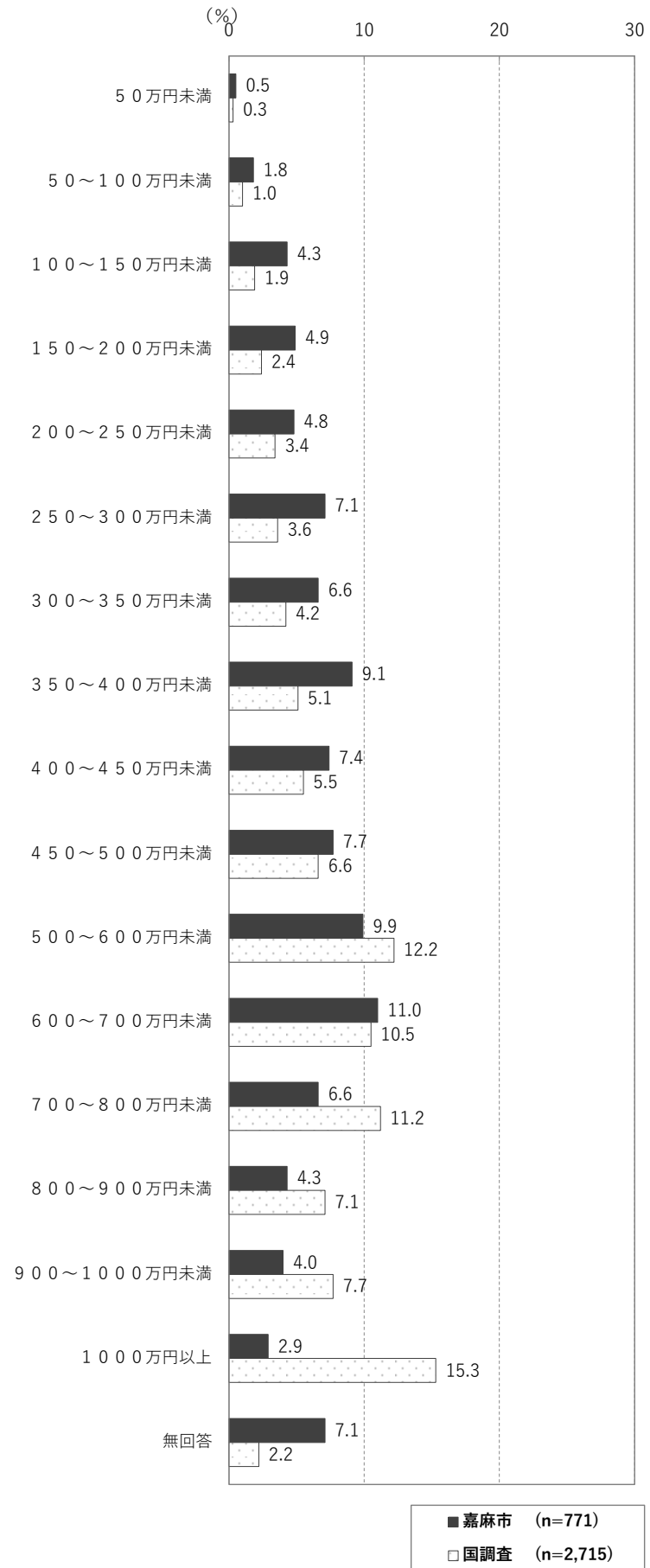
(9) 世帯全体の年間収入(税込)

問 19 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

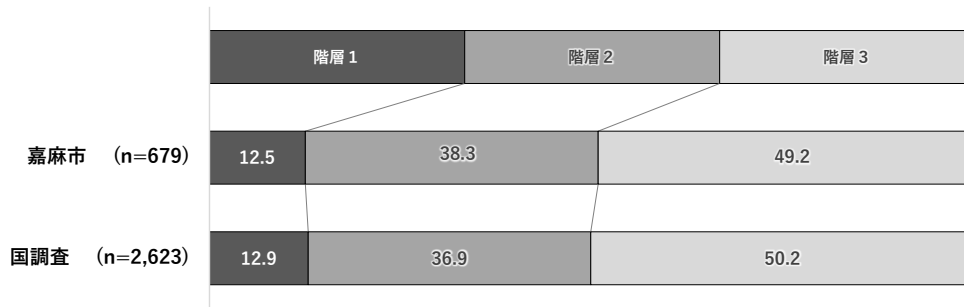
世帯の税込み年間収入は、「600～700万円未満」、「500～600万円未満」、「350～400万円未満」がそれぞれ約1割で、他の年間収入区分に比べて高い割合となっている。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯(特に母子世帯)と比べて「階層3」の割合が高くなっている。また、「階層1」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯(特に母子世帯)の方が高い割合となっている。

国調査との比較では、「1000万円以上」における国調査の割合が1割半ばであることに對し、本市では1割未満と低い傾向にある。

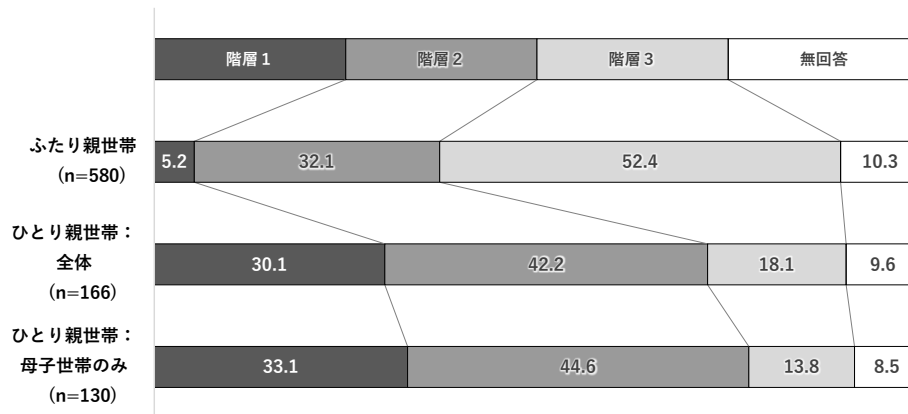


【階層別】



※等価世帯収入の分布の中央値の2分の1の値については、嘉麻市で108.3万円、国調査で158.8万円となっている。

【世帯の状況別】



(10) 食料が買えなかった経験

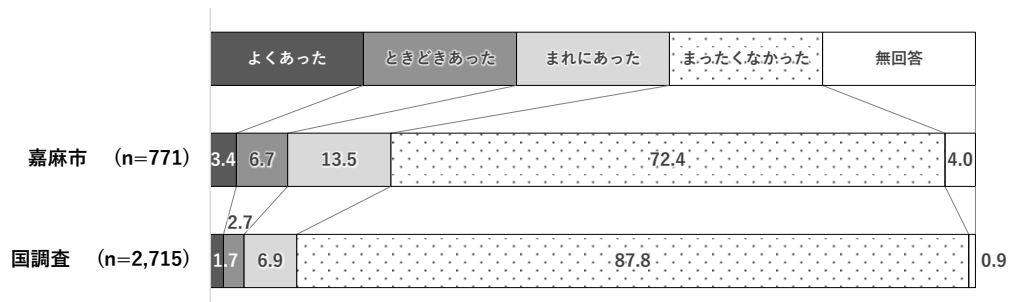
問 20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

食料が買えなかった経験については、本市では「まったくなかった」が約7割強を占めており、「まれにあった」が1割強で続いている。

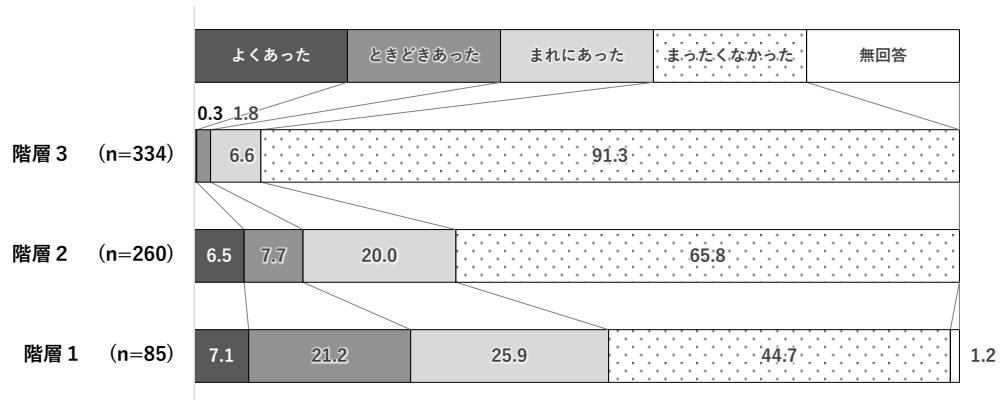
等価世帯収入の階層別にみると、「まったくなかった」の割合は階層3が約9割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、「ときどきあった」の割合は階層1が約2割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、「まったくなかった」については、ふたり親世帯の割合が約8割と特に高くなっている。

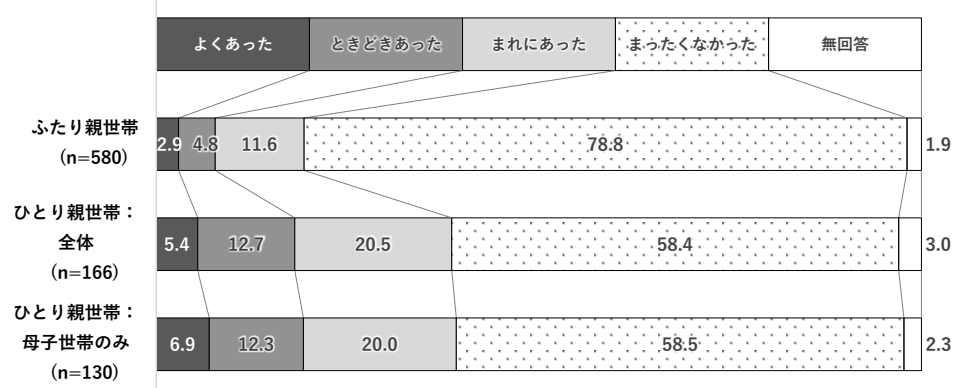
国調査との比較では、「まったくなかった」における国調査の割合が9割弱であることに対し、本市では7割強と低い傾向にある。また、「まれにあった」における国調査の割合が1割未満であることに対し、本市では1割強と高い傾向にある。



【階層別】



【世帯の状況別】



(11) 衣服が買えなかった経験

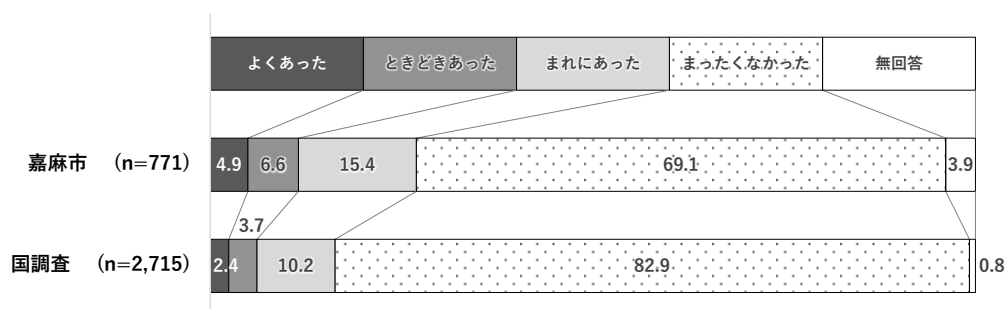
問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(あてはまるもの1つに○)

衣服が買えなかった経験については、本市では「まったくなかった」が約7割を占めており、「まれにあった」が1割半ばで続いている。

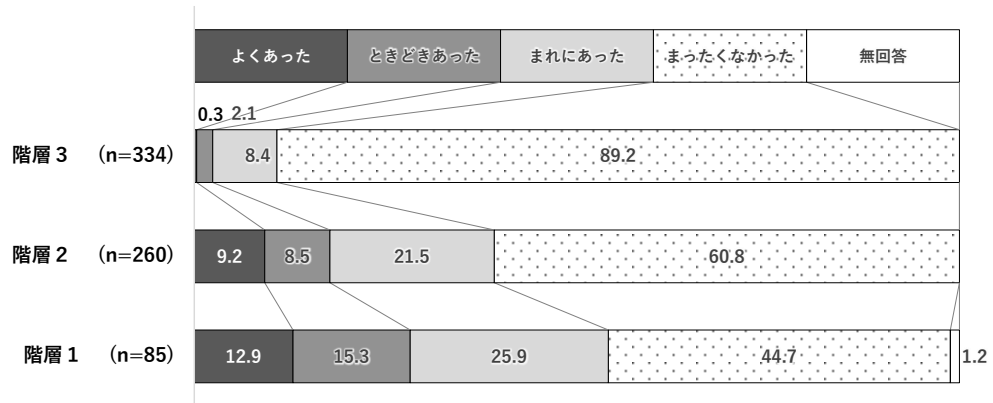
等価世帯収入の階層別にみると、「まったくなかった」の割合は階層3が約9割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、「まれにあった」の割合は階層1が2割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯（特に母子世帯）と比べて「まったくなかった」の割合が高くなっている。また、「まれにあった」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が高い割合となっている。

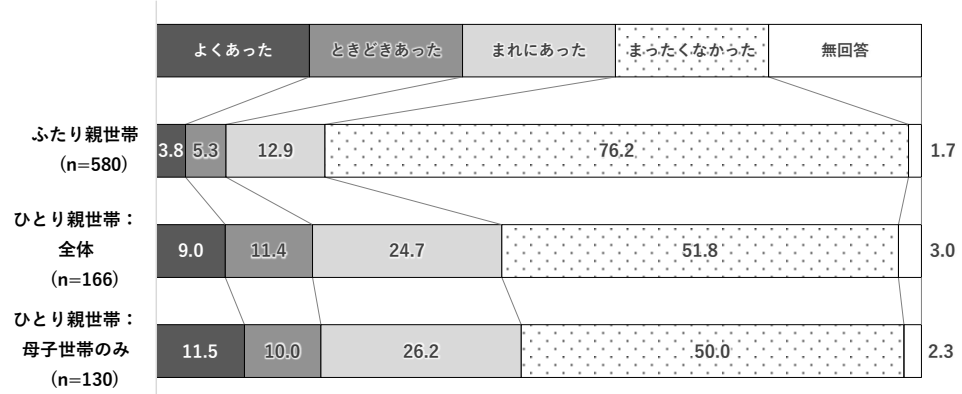
国調査との比較では、「まったくなかった」における国調査の割合が8割強であることに対し、本市では約7割と低い傾向にある。また、「まれにあった」における国調査の割合が約1割であることに対し、本市では1割半ばと高い傾向にある。



【階層別】



【世帯の状況別】



(12) 公共料金における未払いの経験

問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(「1 電気料金」～「3 水道料金」については、あてはまるものすべてに○)

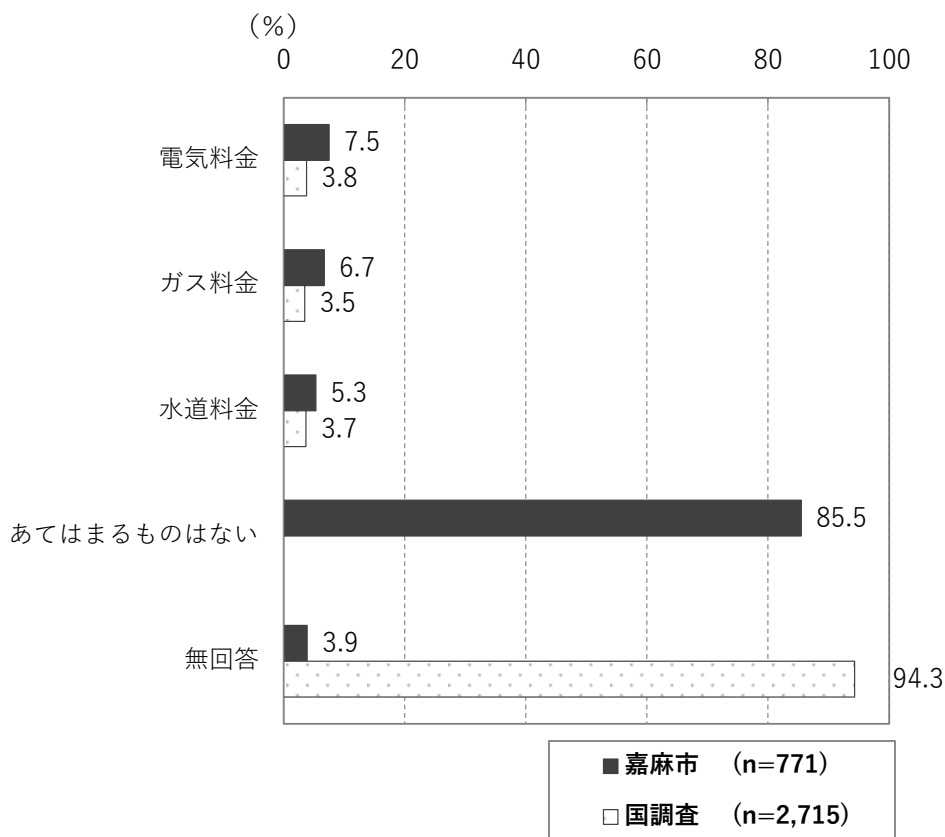
公共料金における未払いの経験については、本市では「あてはまるものはない」が8割半ばを占めており、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」が1割未満で続いている。

等価世帯収入の階層別にみると、「あてはまるものはない」の割合は階層3が約10割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、公共料金の未払いの経験がある世帯は、階層1で「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」の割合は2割前後と、一定数存在している。

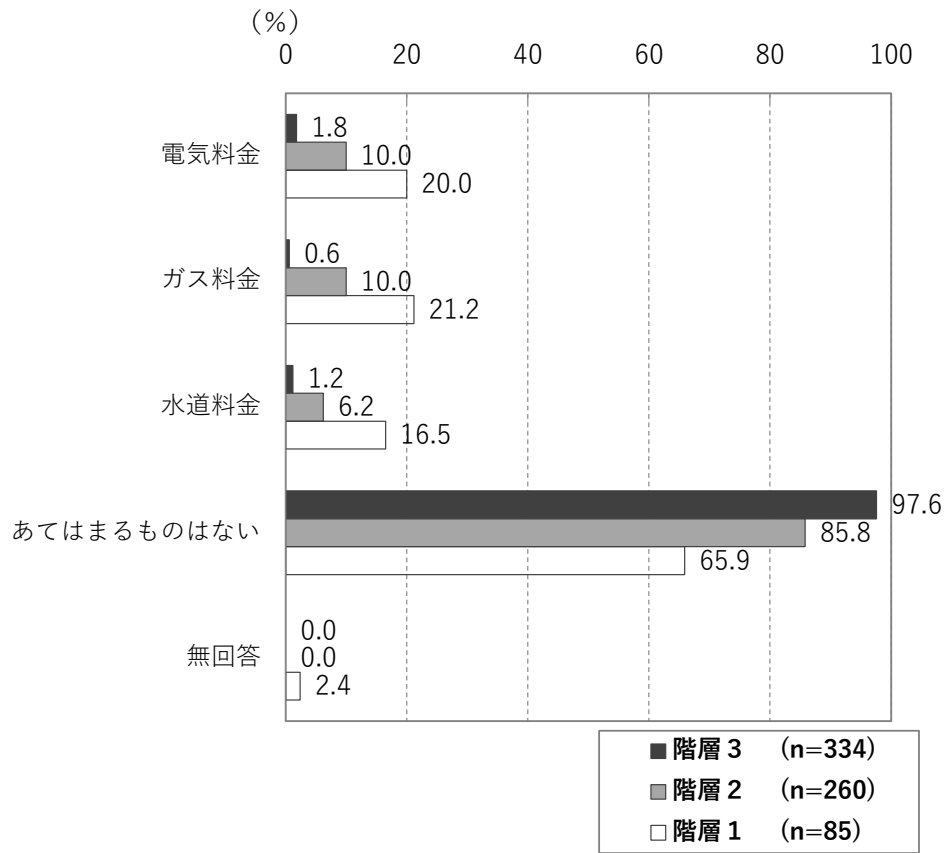
世帯の状況別にみると、「あてはまるものはない」については、ふたり親世帯の割合が約9割と特に高くなっている。

国調査との比較では、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」においては大きな差は見られなかった。

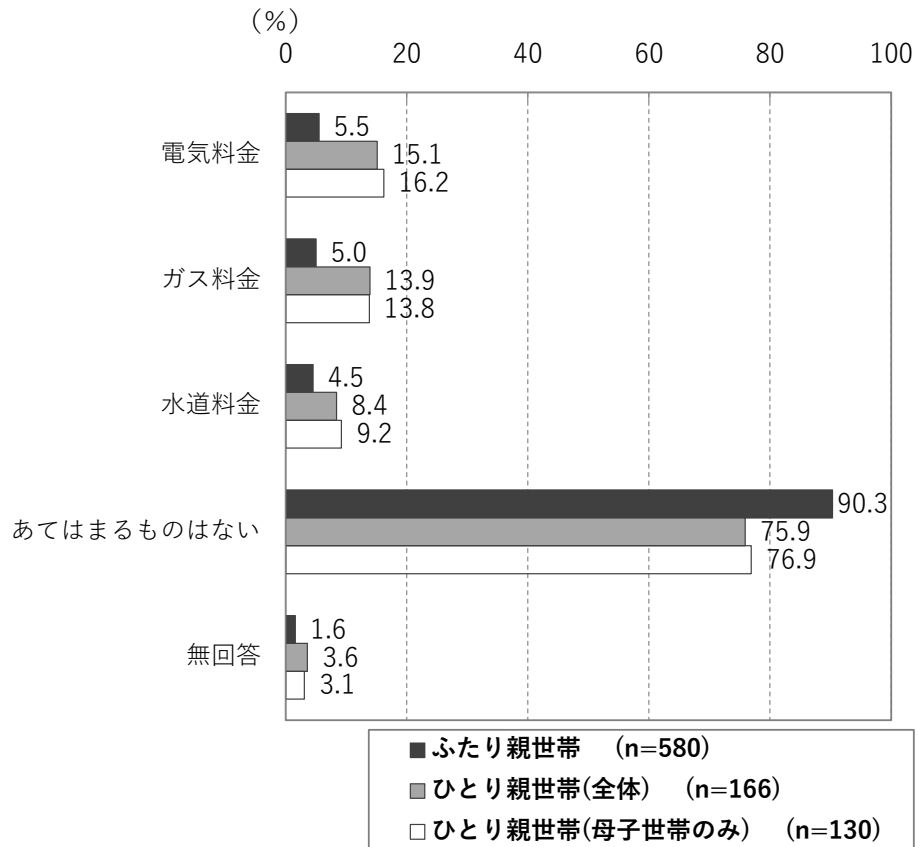
※国調査では、選択肢が「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」の3つであり、「あてはまるものはない」が無いことに留意が必要である。



【階層別】



【世帯の状況別】



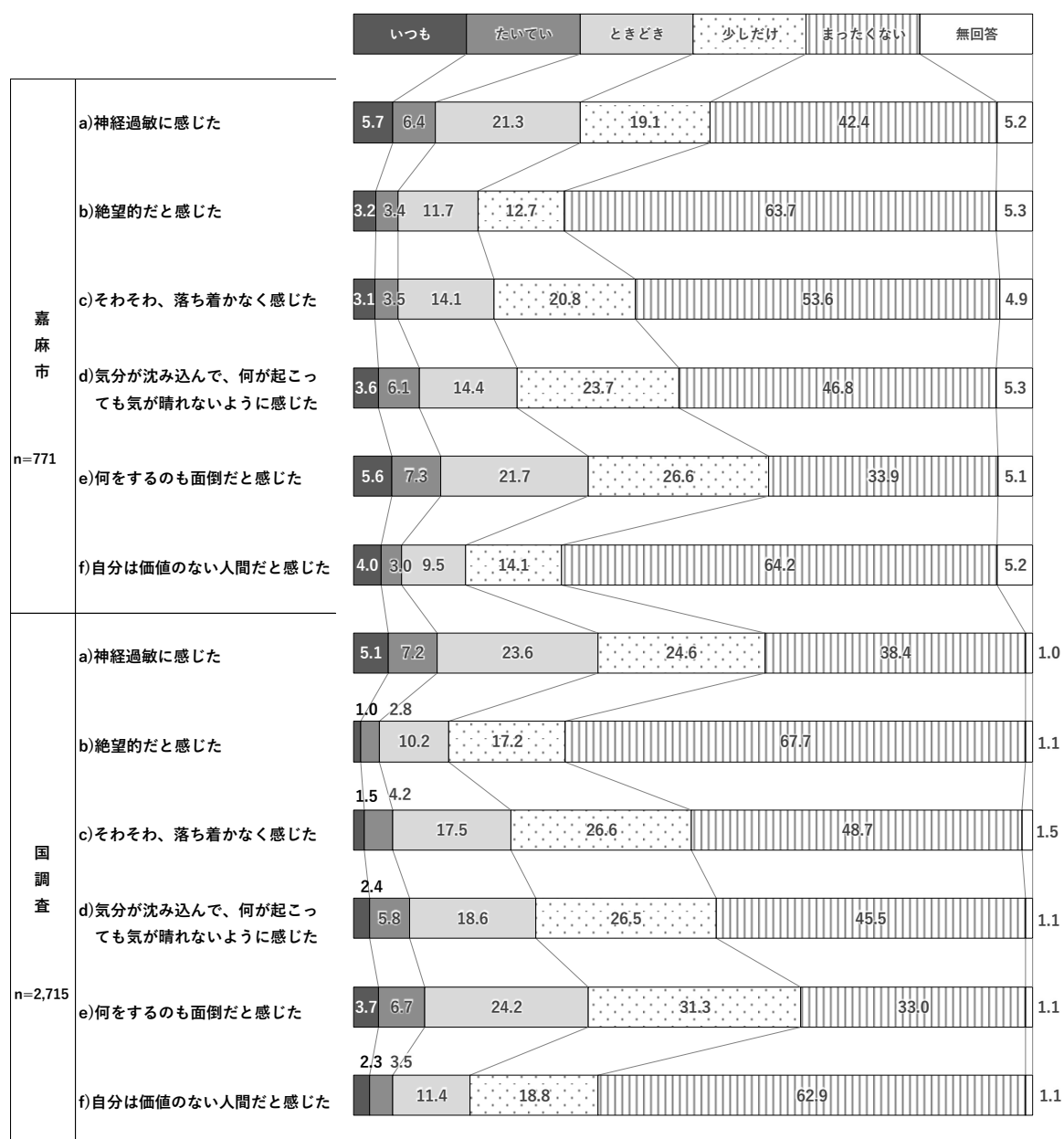
(13) 保護者の心理的な状態

問 23 次の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a)～f)それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

本市では、いずれの項目も「まったくない」が最も高くなっている。「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合計した『あった・計』の割合をみると、「a)神経過敏に感じた」と「e)何をするのも面倒だと感じた」の割合は5割以上と特に高くなっている一方で、「b)絶望的だと感じた」と「f)自分は価値のない人間だと感じた」の割合は約3割であり、項目ごとに明確な差が生じている。

国調査との比較では、大きな差は見られなかった。

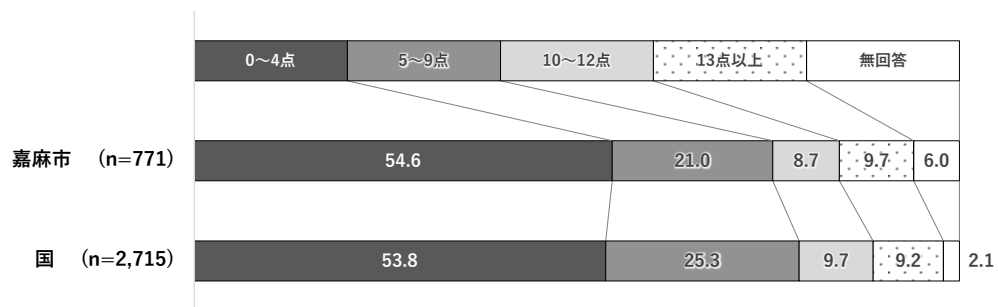


「保護者の心理的な状態」に関して、本調査では「K 6」（K 6は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている）と呼ばれる指標を把握するための6つの調査項目（質問）を設定した。指標の採点方法は、ひとつの項目ごとに0点（5.まったくない）から4点（1.いつも）を振り、その合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示す。

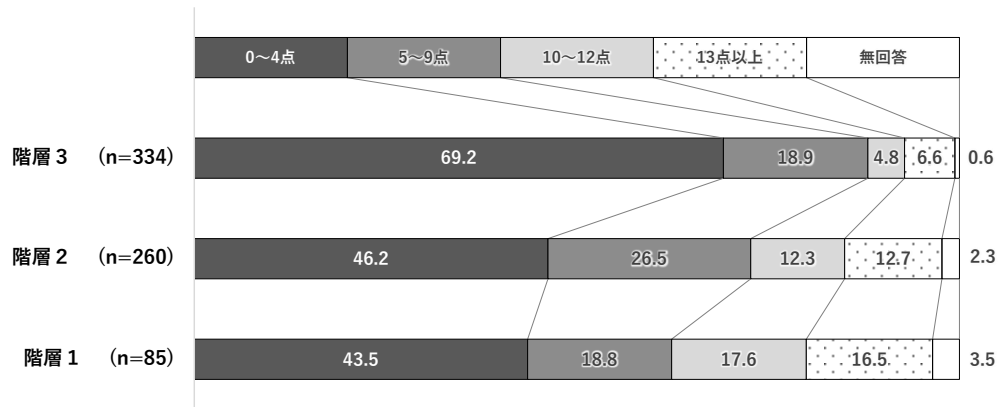
K 6のスコアを算出した結果、本市における「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は約1割となっている。

等価世帯収入の階層別にみると、「13点以上」の割合は、階層が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。

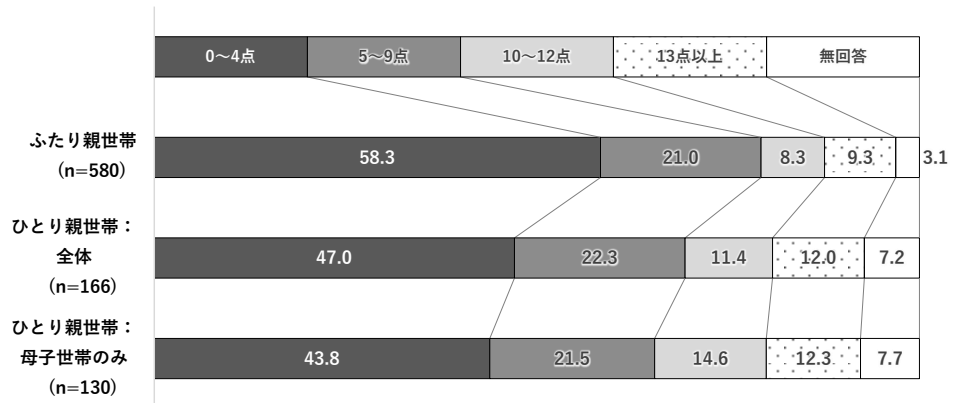
世帯の状況別にみると、「13点以上」の割合に大きな差はみられないが、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が若干高い割合となっている。



【階層別】



【世帯の状況別】



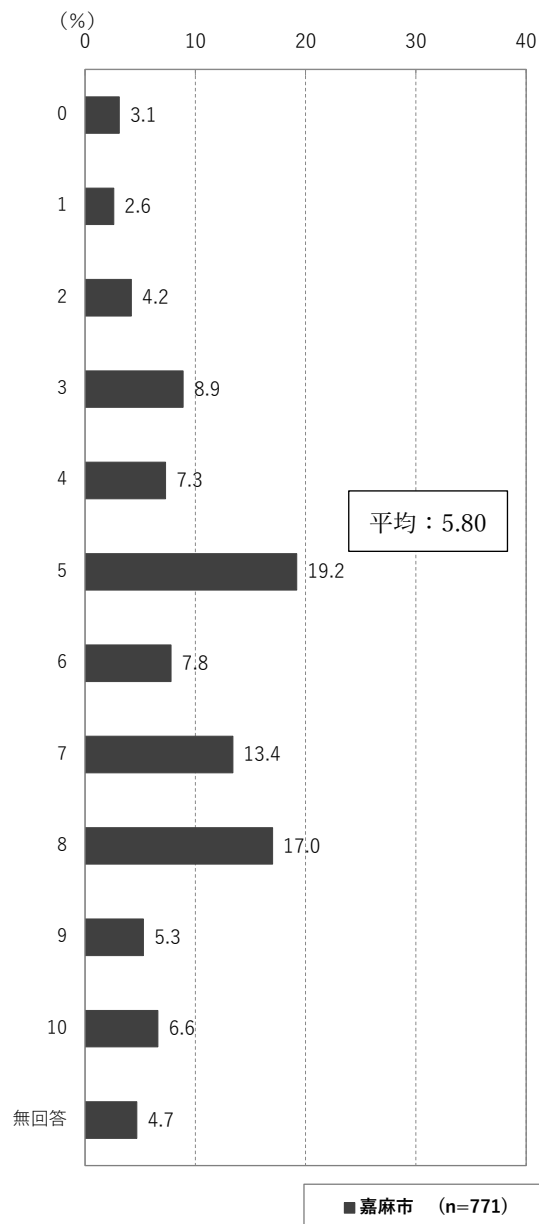
(14) 生活満足度

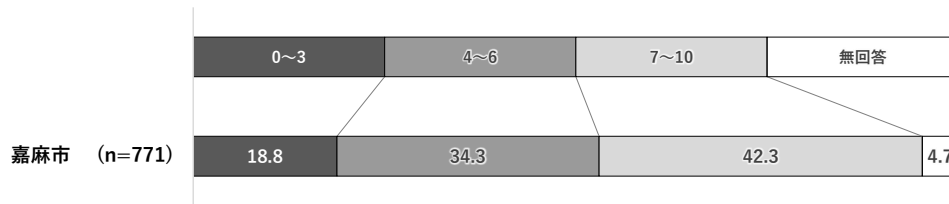
問 24 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していないから「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

生活満足度については、本市では「7～10」が4割強を占めており、「4～6」が3割半ば、「0～3」が約2割で続いている。

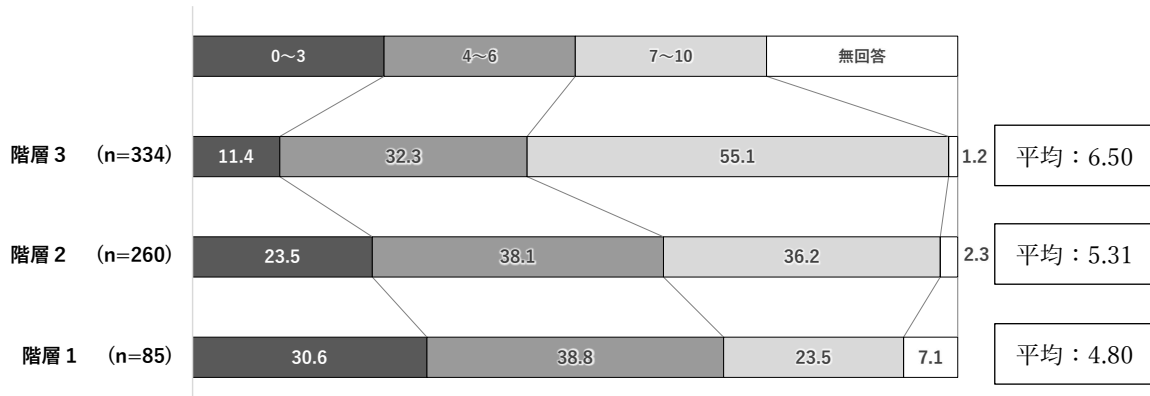
等価世帯収入の階層別にみると、「7～10」の割合は階層3が5割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、「0～3」の割合は階層1が約3割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯(特に母子世帯)と比べて「7～10」の割合が高くなっている。また、「0～3」については、ふたり親世帯よりもひとり親世帯(特に母子世帯)の方が高い割合となっている。

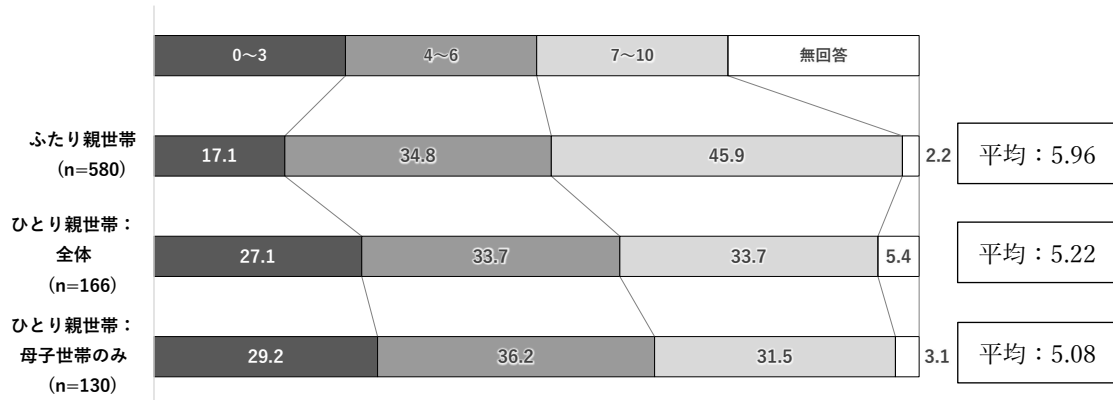




【階層別】



【世帯の状況別】



(15) 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

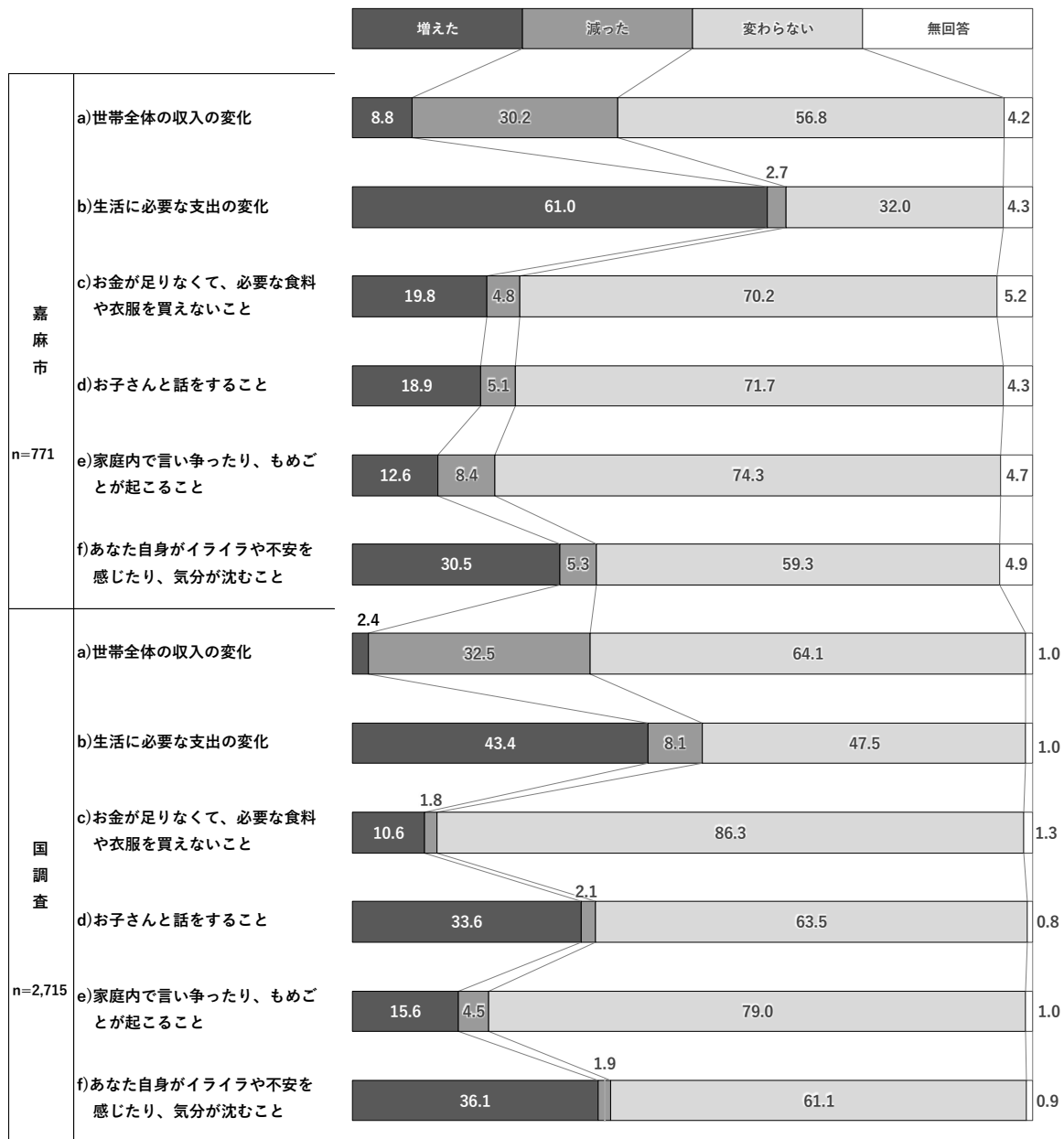
問 25 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（令和 2 年（2020 年）2 月以前）から比べて、どのように変わりましたか。
（a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本市では「b)生活に必要な支出の変化」における「増えた」の割合は約 6 割となっており、他の項目と比べて特に高くなっている。また、「増えた」については「f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」が約 3 割で続いている。その他、「a)世帯全体の収入の変化」における「減った」の割合は約 3 割となっており、他の項目と比べて特に高くなっている。

等価世帯収入の階層別にみると、「a)世帯全体の収入の変化」における「減った」の割合について、階層 1 が 5 割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。また、「c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」、「d)お子さんと話をする事」、「f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」における「増えた」の割合について、階層が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。

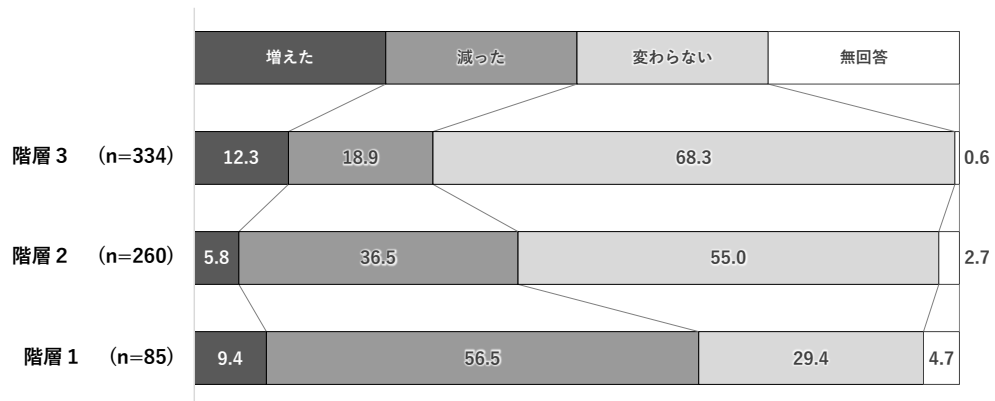
世帯の状況別にみると、「c)お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」における「増えた」の割合は、ふたり親世帯よりもひとり親世帯（特に母子世帯）の方が高い割合となっている。また、「a)世帯全体の収入の変化」と「e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること」における「減った」の割合は、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が高い割合となっている。

国調査との比較では、国調査では「b)生活に必要な支出の変化」における「増えた」の割合が 4 割強であることに対し、本市では約 6 割と高い傾向にある。また、「d)お子さんと話をする事」における国調査の「増えた」の割合が 3 割半ばであることに対し、本市では約 2 割と低い傾向にある。

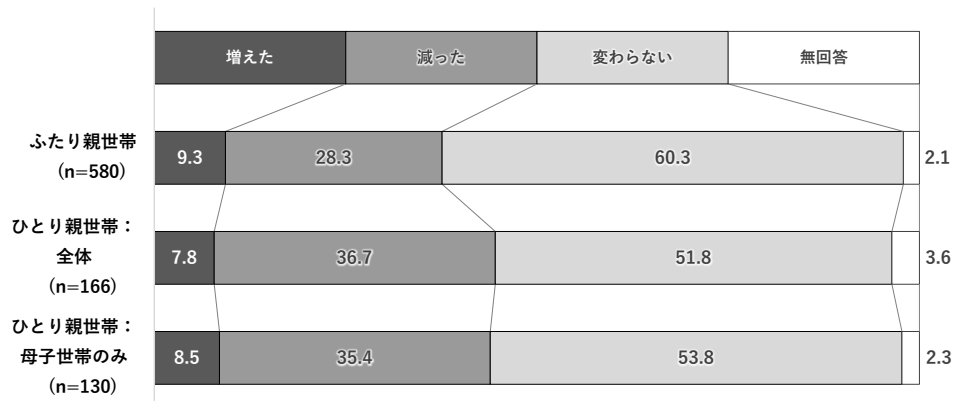


a) 世帯全体の収入の変化

【階層別】

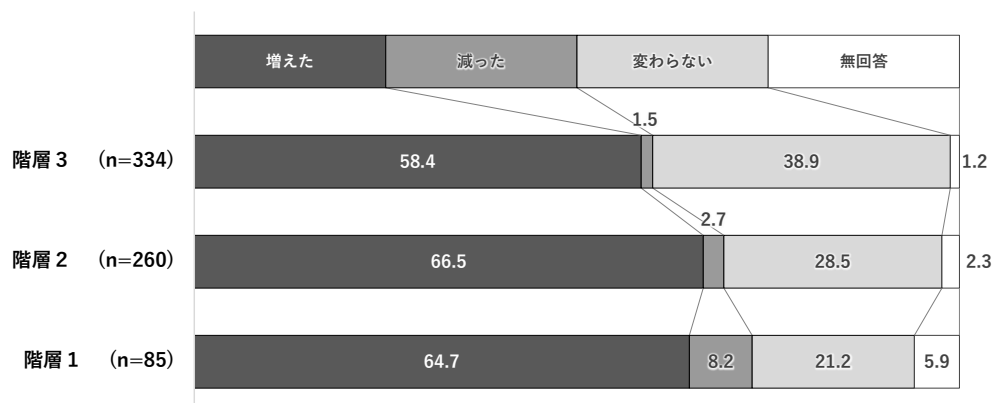


【世帯の状況別】

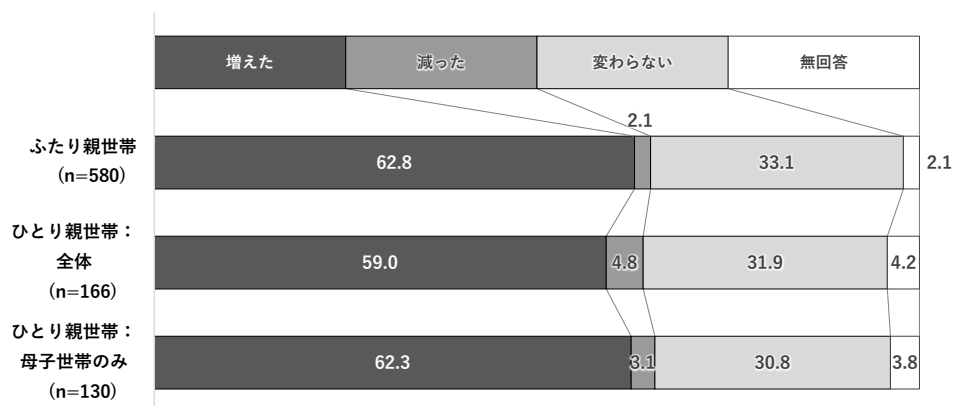


b) 生活に必要な支出の変化

【階層別】

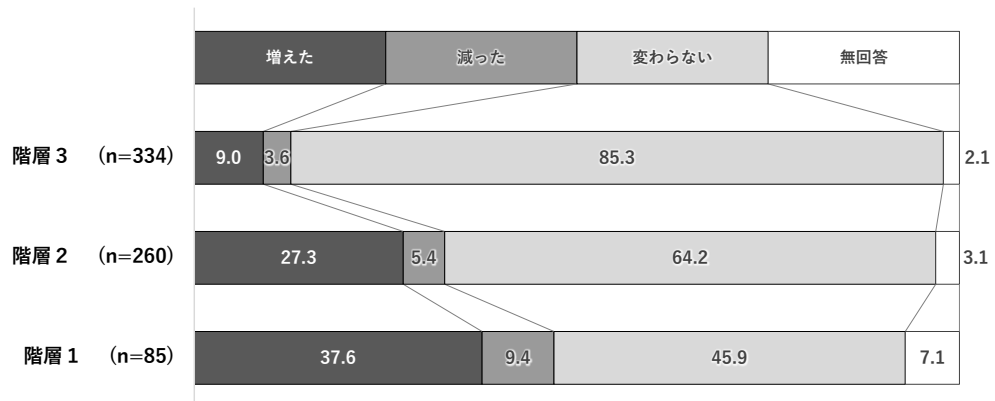


【世帯の状況別】

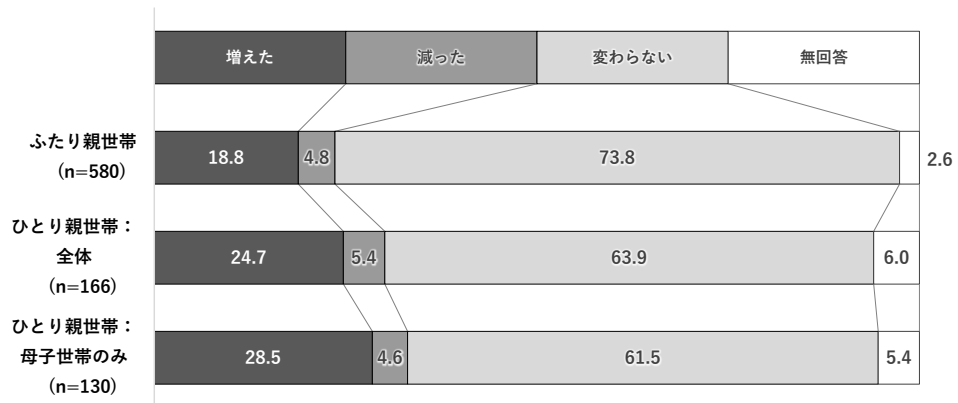


c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

【階層別】

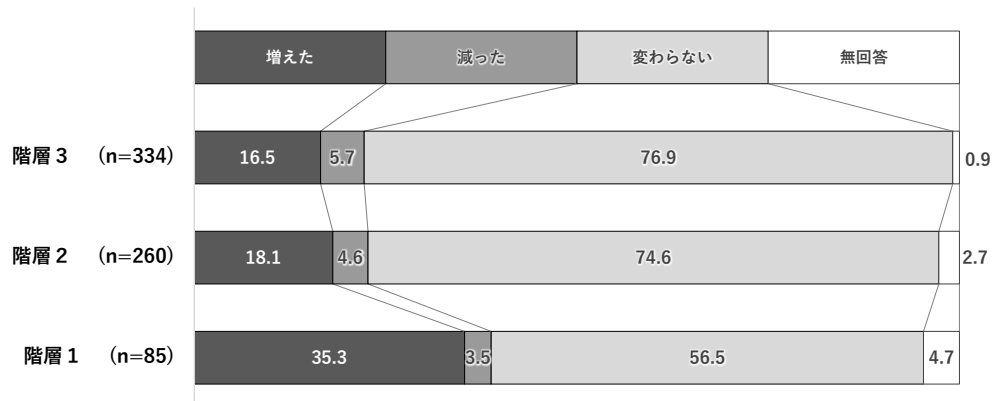


【世帯の状況別】

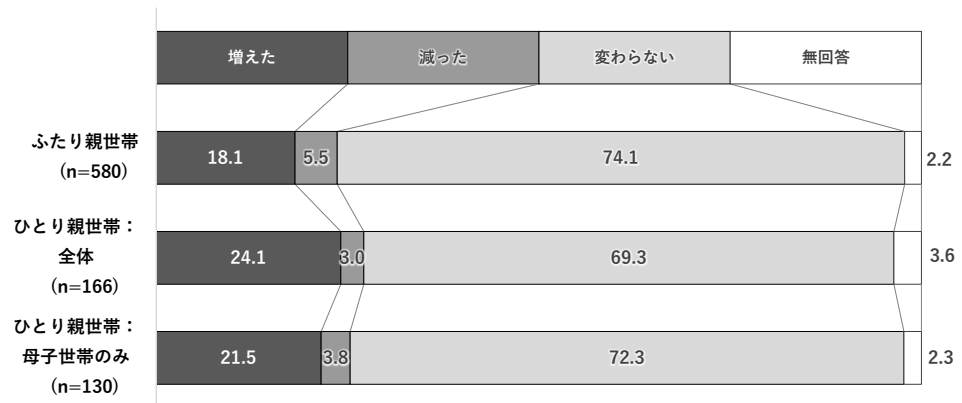


d) お子さんと話をすること

【階層別】

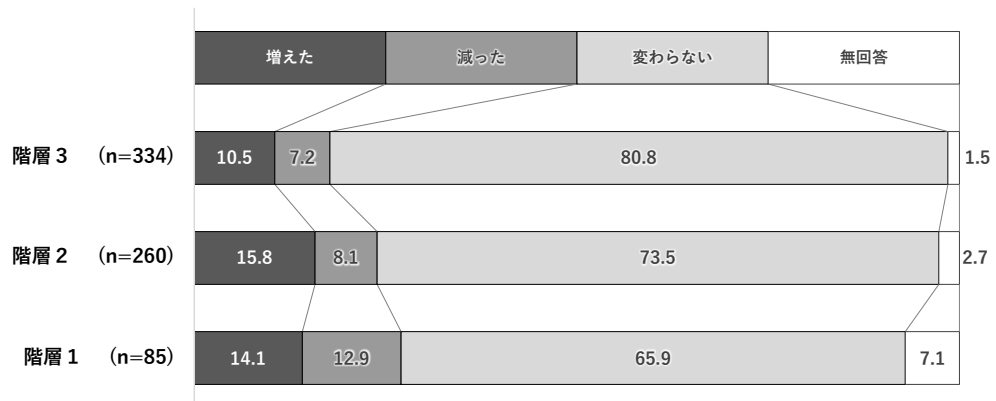


【世帯の状況別】

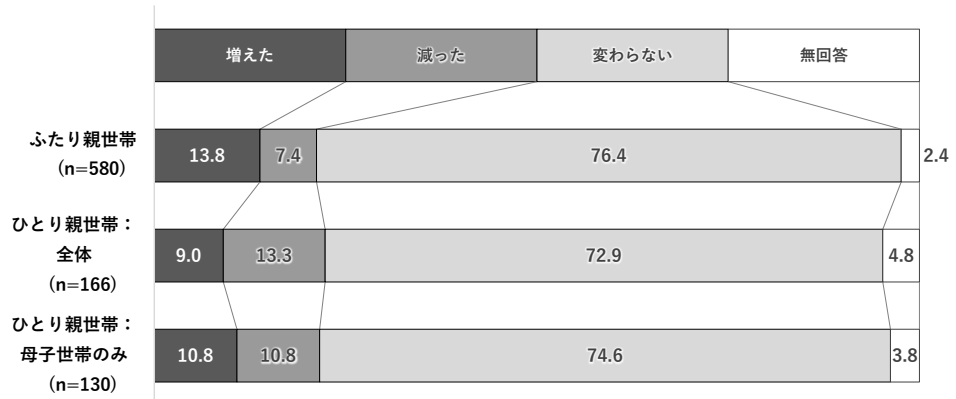


e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

【階層別】

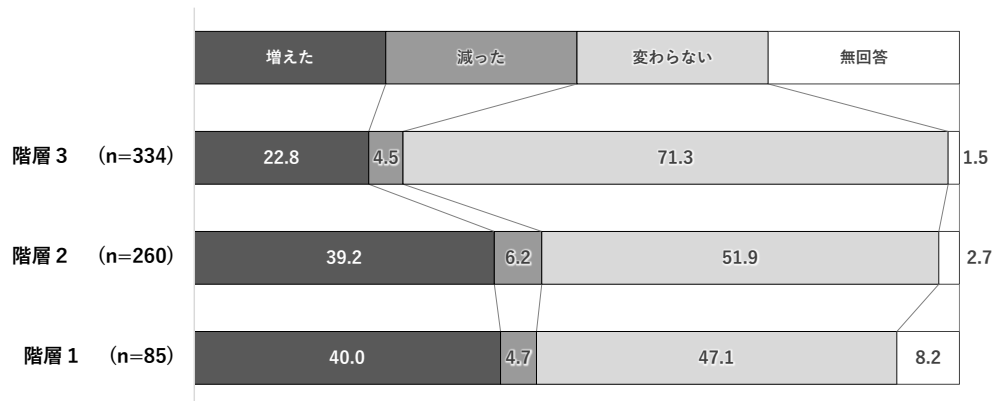


【世帯の状況別】

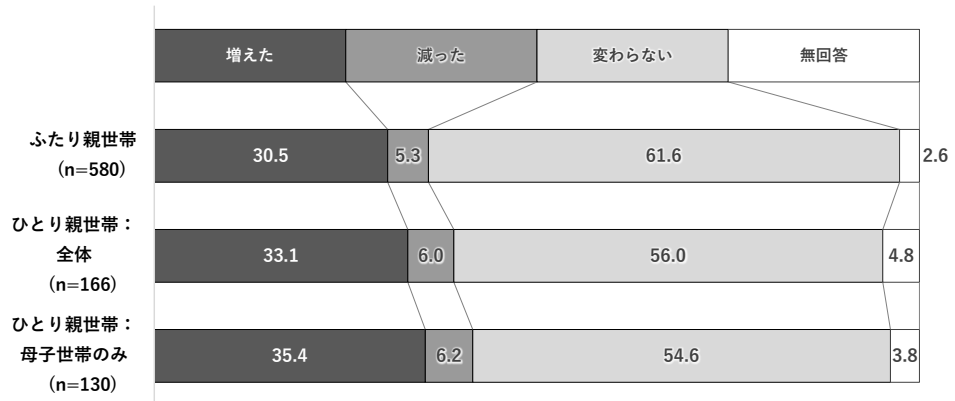


f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

【階層別】



【世帯の状況別】



(16) 公的支援制度の利用状況

問 26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～e それぞれについて、「1 現在利用している」～「3 利用したことがない」のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

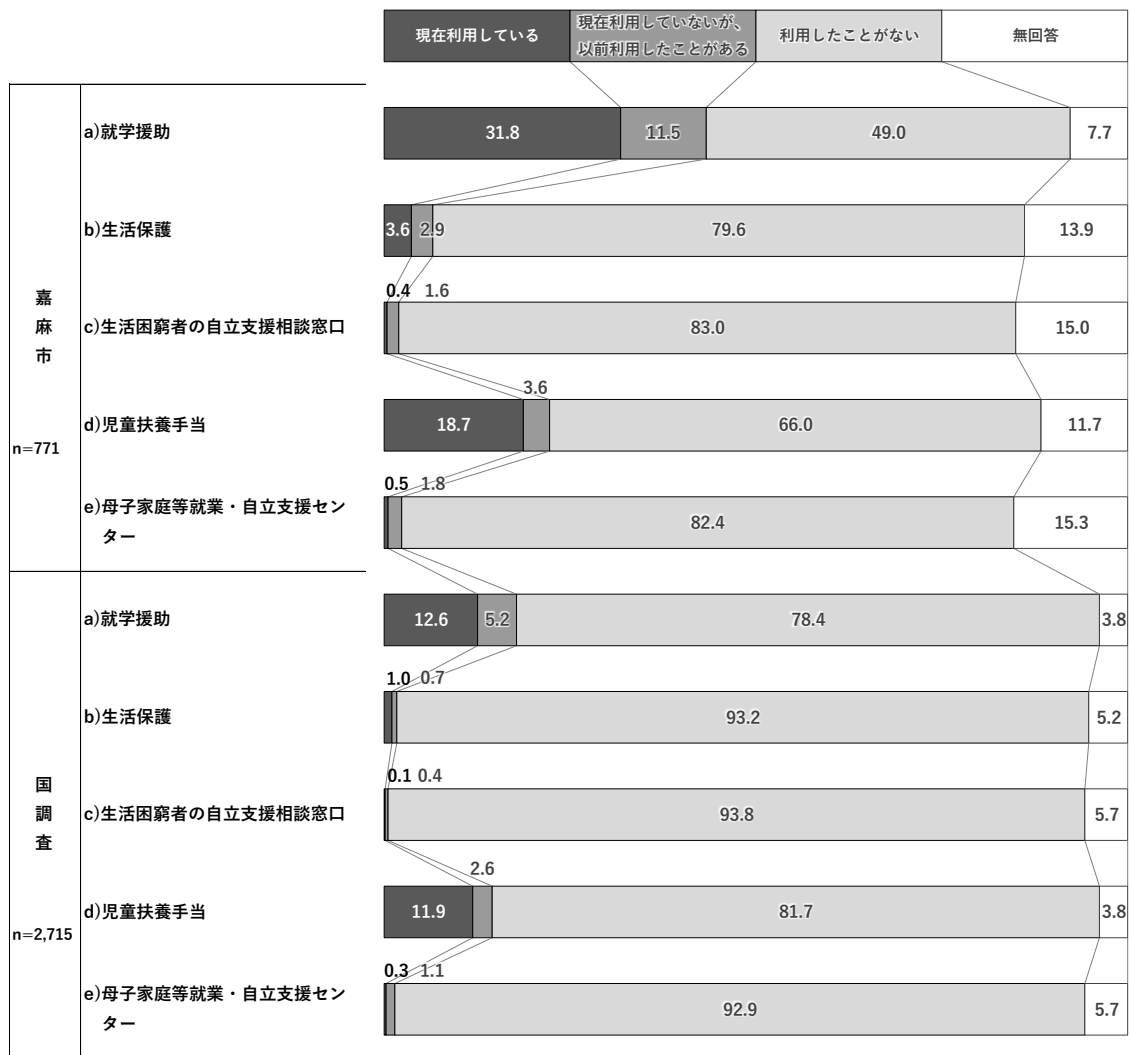
(「①制度の対象外(収入等の条件を満たさない) だと思うから」～「⑤それ以外の理由」のあてはまるもの1つに○)

本市では、「a)就学援助」における「現在利用している」の割合が約3割と、他の項目に比べて最も高くなっており、「d)児童扶養手当」が約2割で続いている。他の支援は、「利用したことがない」が8割前後を占めている。「利用したことがない」場合の理由については、いずれの項目においても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない) だと思うから」の割合が6割強～8割弱と最も高くなっている。

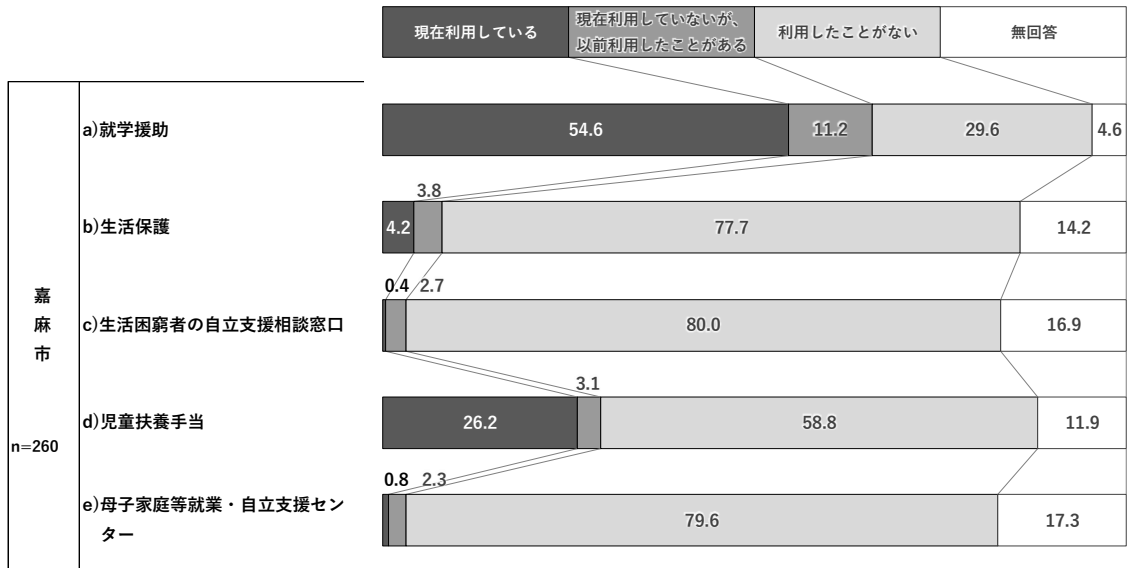
等価世帯収入の階層別にみると、「a)就学援助」と「d)児童扶養手当」における「現在利用している」の割合は階層2・1ともに本市全体よりも高くなっており、特に階層1は5割以上を占めている。また、「b)生活保護」における「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた『利用したことがある・計』の割合は、階層1で3割弱となっており、本市全体よりも高くなっている。「利用したことがない」場合の理由については、いずれの項目においても階層2・1ともに「制度の対象外(収入等の条件を満たさない) だと思うから」が最も高くなっている。また、階層1における「c)生活困窮者の自立支援相談窓口」と「e)母子家庭等就業・自立支援センター」では、「それ以外の理由」が3割近い割合で続いている。

世帯の状況別にみると、「a)就学援助」と「d)児童扶養手当」における「現在利用している」の割合について、ひとり親世帯(全体・母子世帯のみ)は本市全体よりも高くなっており、6割以上を占めている。「b)生活保護」における『利用したことがある・計』の割合は、ひとり親世帯(全体・母子世帯のみ)でそれぞれ約2割となっており、本市全体よりも高くなっている。「利用したことがない」場合の理由については、いずれの項目においてもひとり親世帯(全体・母子世帯のみ)のそれぞれで「制度の対象外(収入等の条件を満たさない) だと思うから」が最も高くなっている。また、ひとり親世帯(母子世帯のみ)における「e)母子家庭等就業・自立支援センター」では、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない) だと思うから」、「それ以外の理由」に続き「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が約2割となっており、一定数存在している。

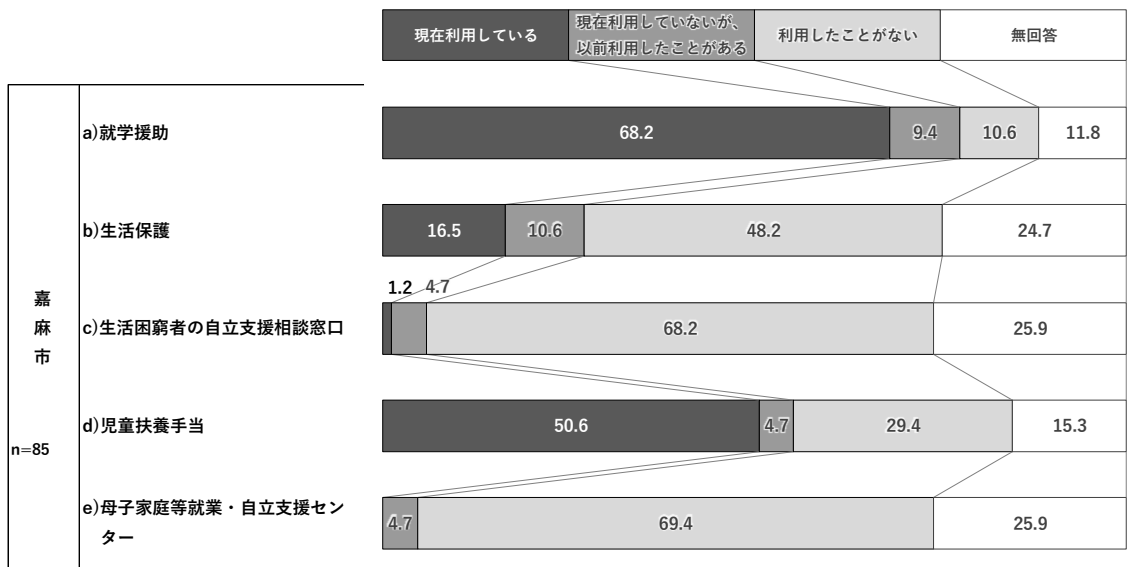
国調査との比較では、いずれの項目においても国調査では「利用したことがない」の割合が8割以上を占めている。



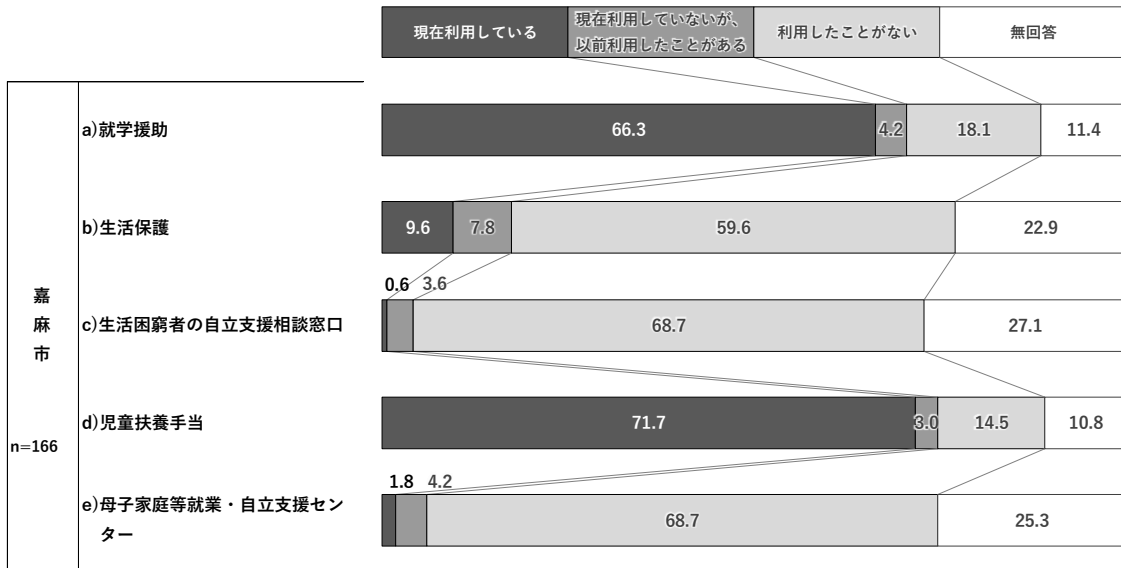
【階層 2 クロス集計】



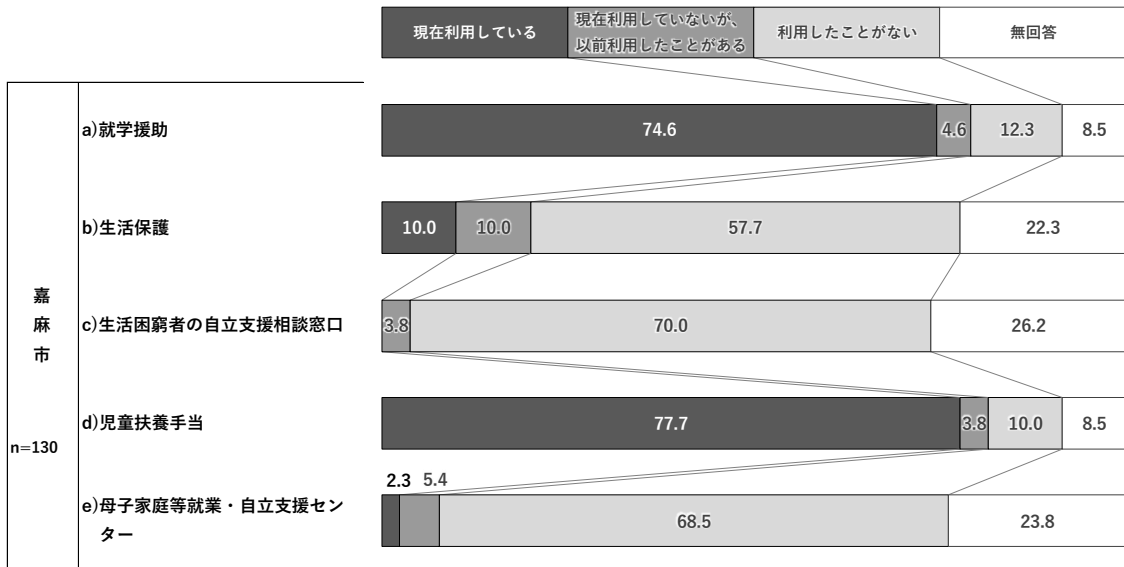
【階層 1 クロス集計】



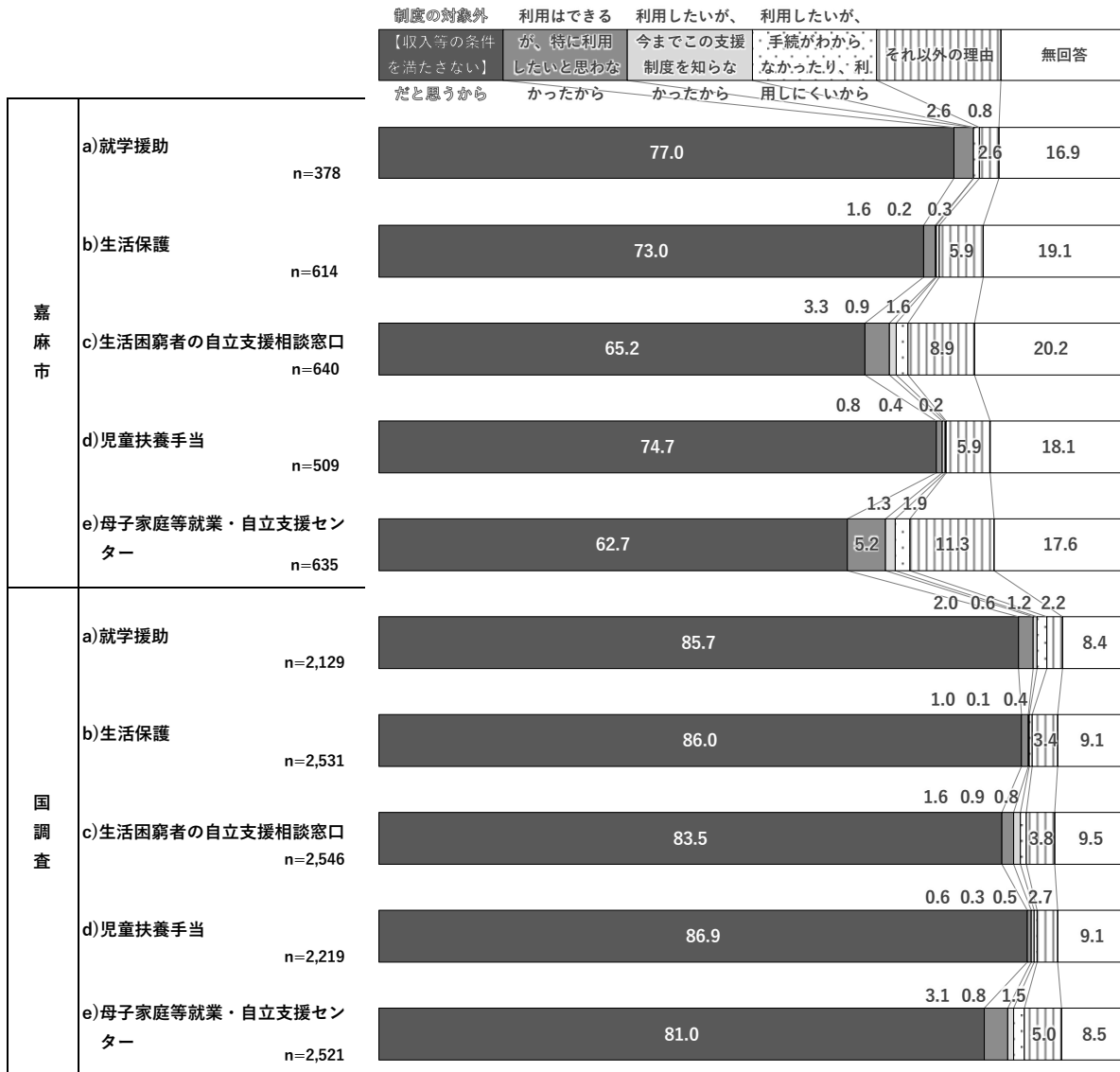
【ひとり親世帯クロス集計】



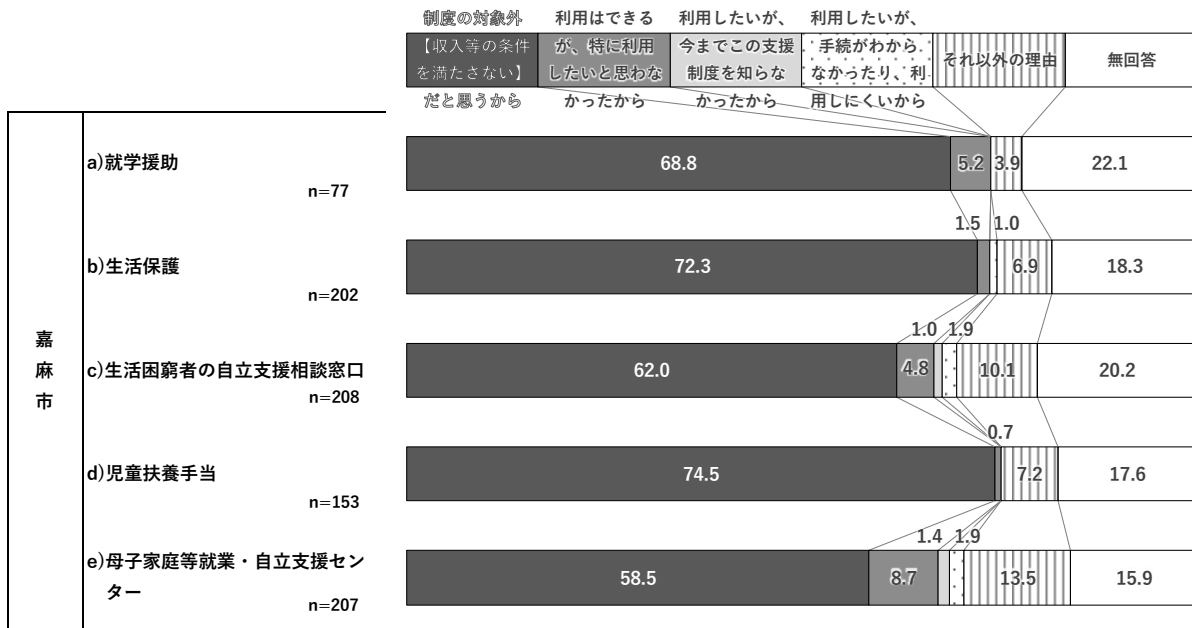
【ひとり親（母子のみ）世帯クロス集計】



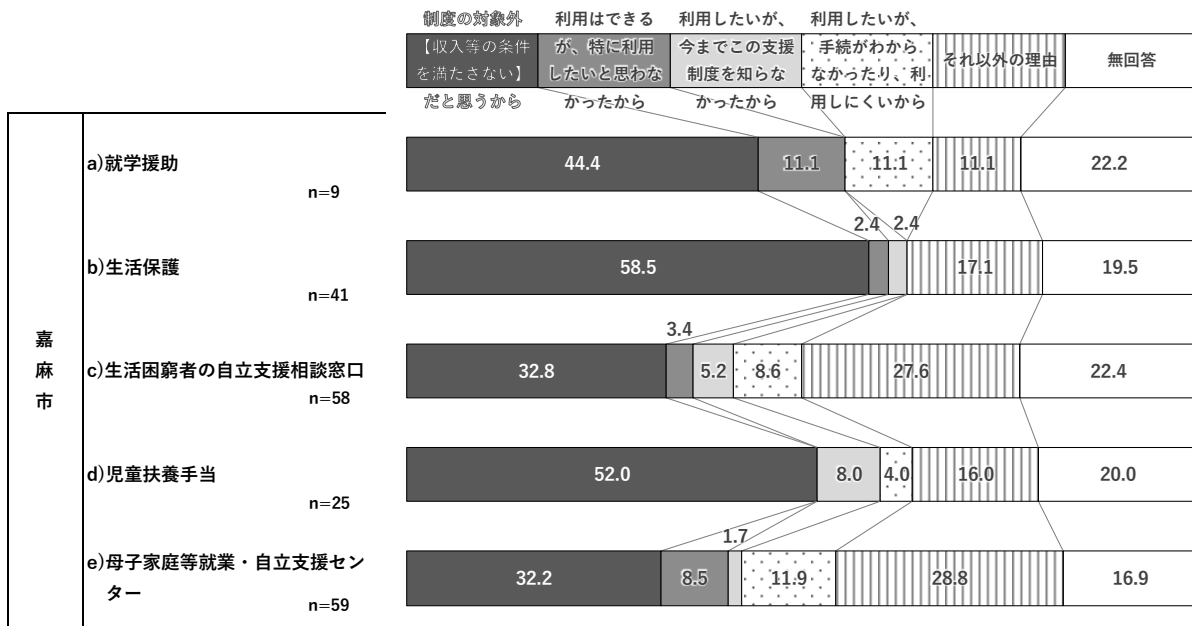
(利用したことがない理由)



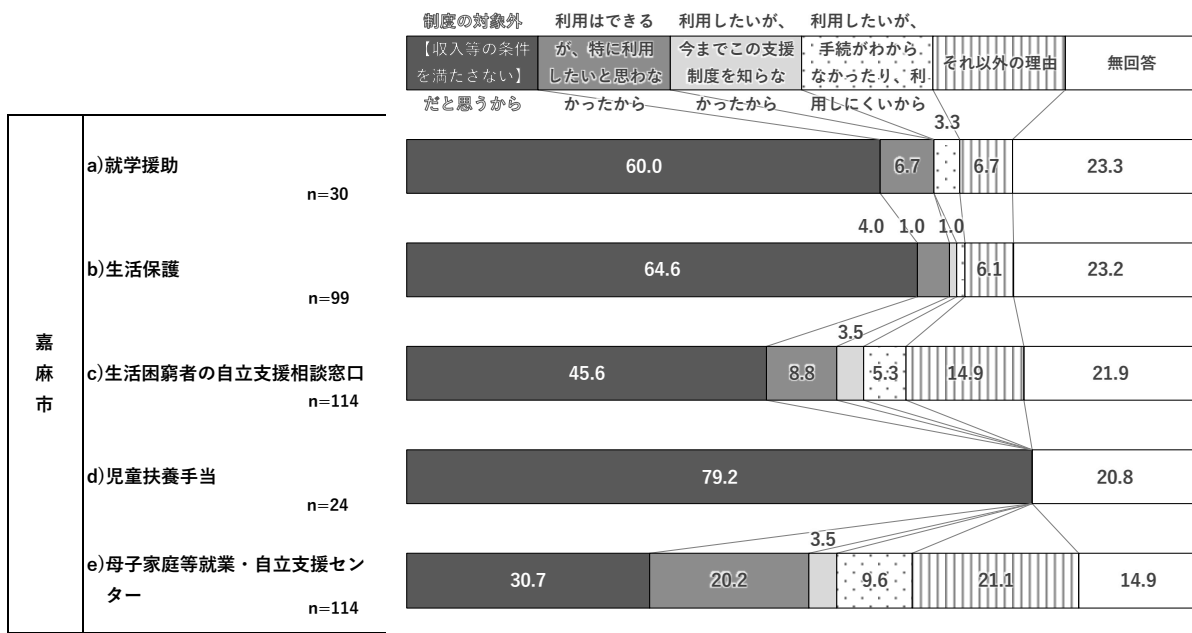
【階層 2 クロス集計】



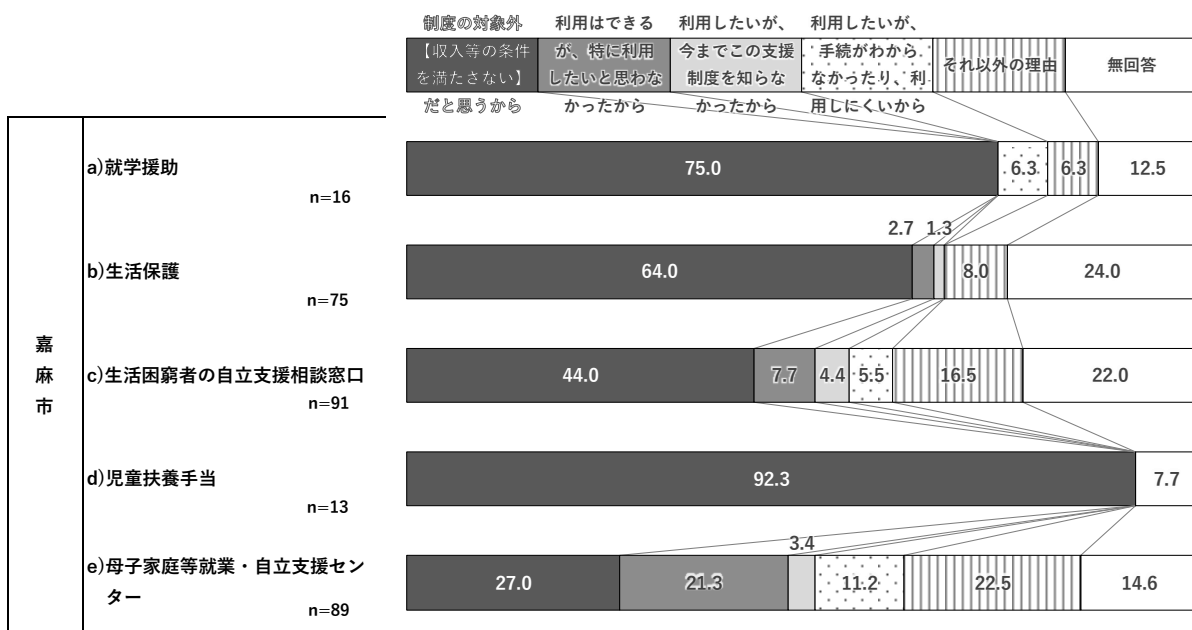
【階層 1 クロス集計】



【ひとり親世帯クロス集計】



【ひとり親（母子のみ）世帯クロス集計】



(17) ヤングケアラーの該当に関する認識

問 27 あなたのお子さんは、ヤングケアラーにあてはまると思いますか。

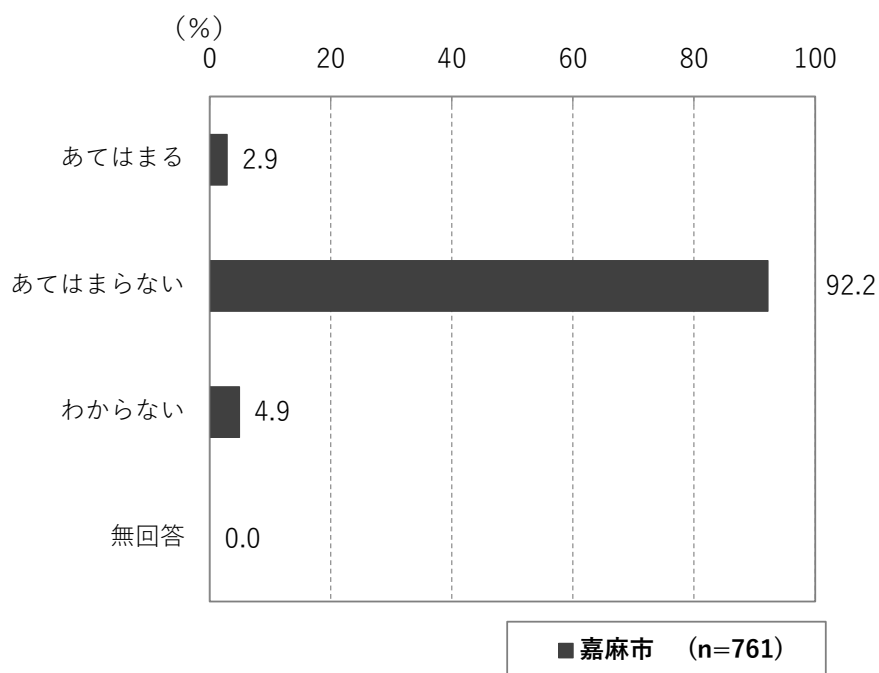
(あてはまるものひとつに○)

お子さんのヤングケアラー該当に関する認識については、本市では「あてはまらない」が9割強を占めており、「あてはまる」は2.9%となっている。

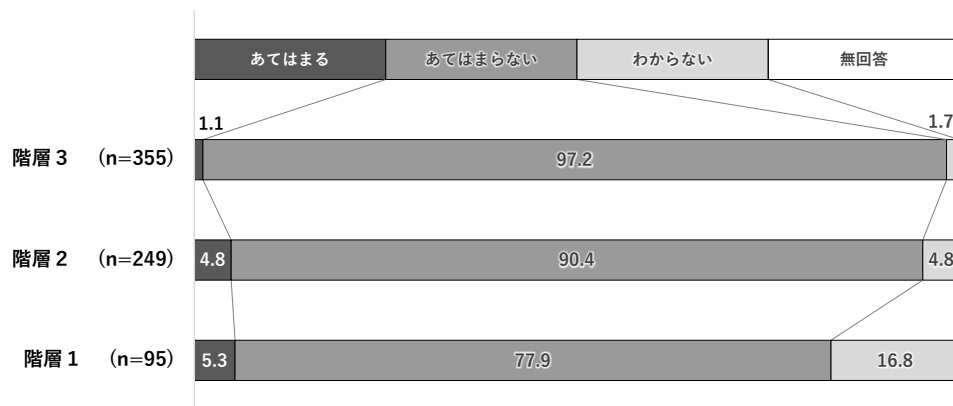
等価世帯収入の階層別にみると、「あてはまらない」の割合は階層3が10割近くと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、「わからない」の割合は階層1が2割弱と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯（特に母子世帯）と比べて「あてはまらない」の割合が高くなっている。

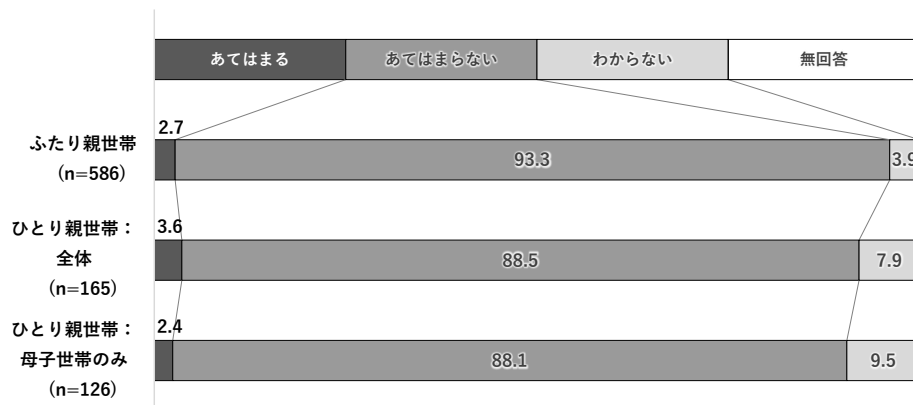
※以下、グラフにおける本市の全体数（有効回答数）については、P6 ⑧に基づき算出。



【階層別】

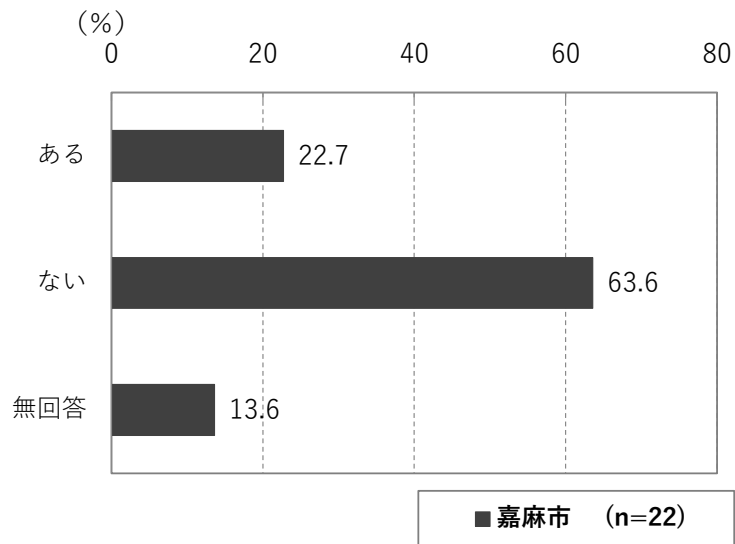


【世帯の状況別】

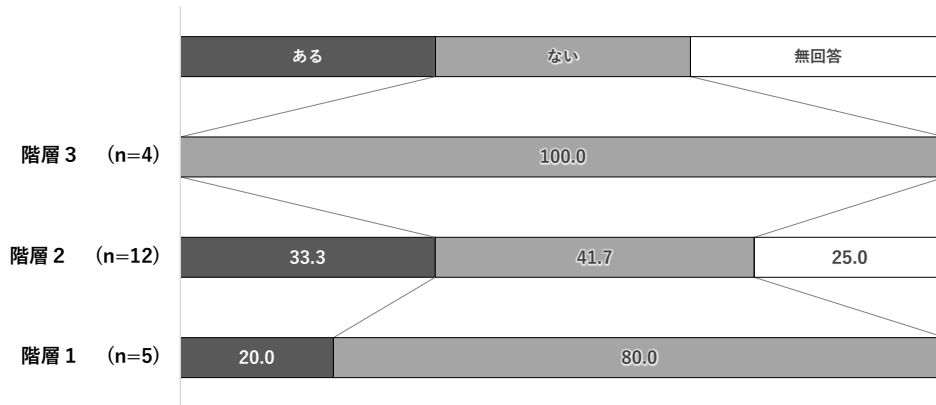


問 28 問 27 で1人のお子さんでも「1あてはまる」と答えた人にお聞きします。
あなたは、お子さんのそのような状況を誰かに相談したことはありますか。

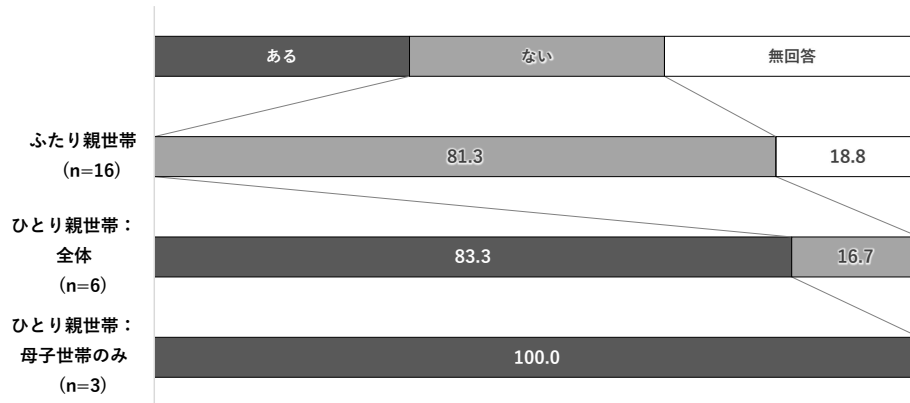
お子さんの状況を誰かに相談したことがあるかについては、本市では「ない」が6割半ばを占めており、「ある」が2割強となっている。



【階層別】



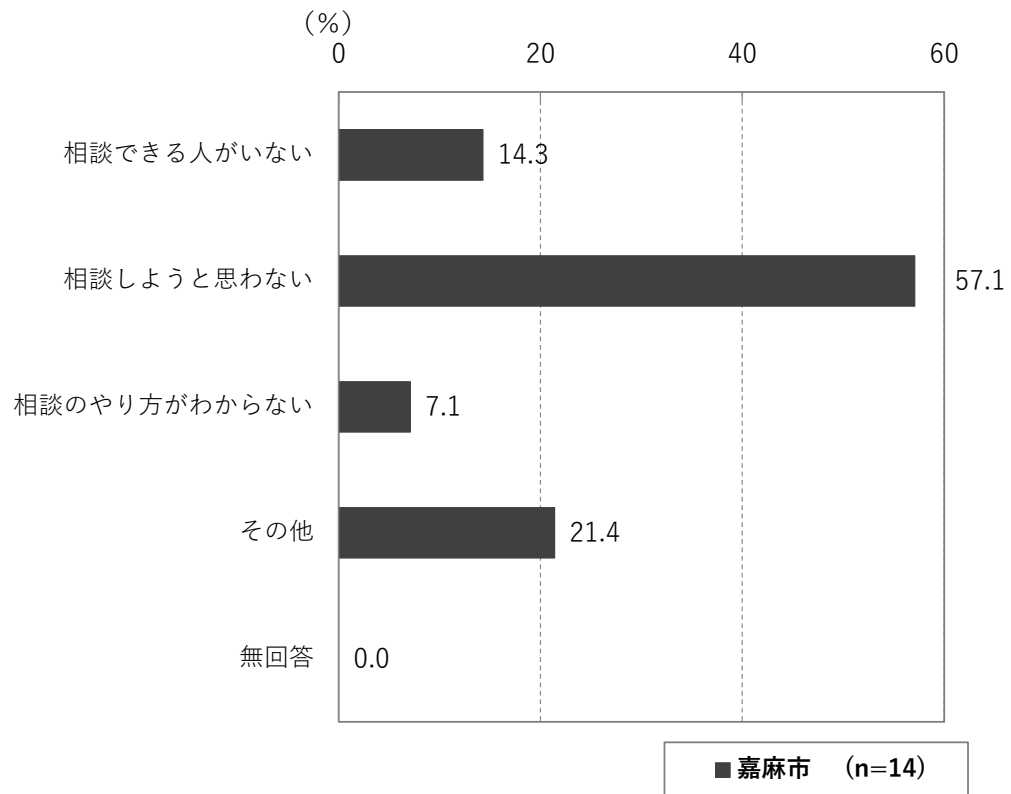
【世帯の状況別】



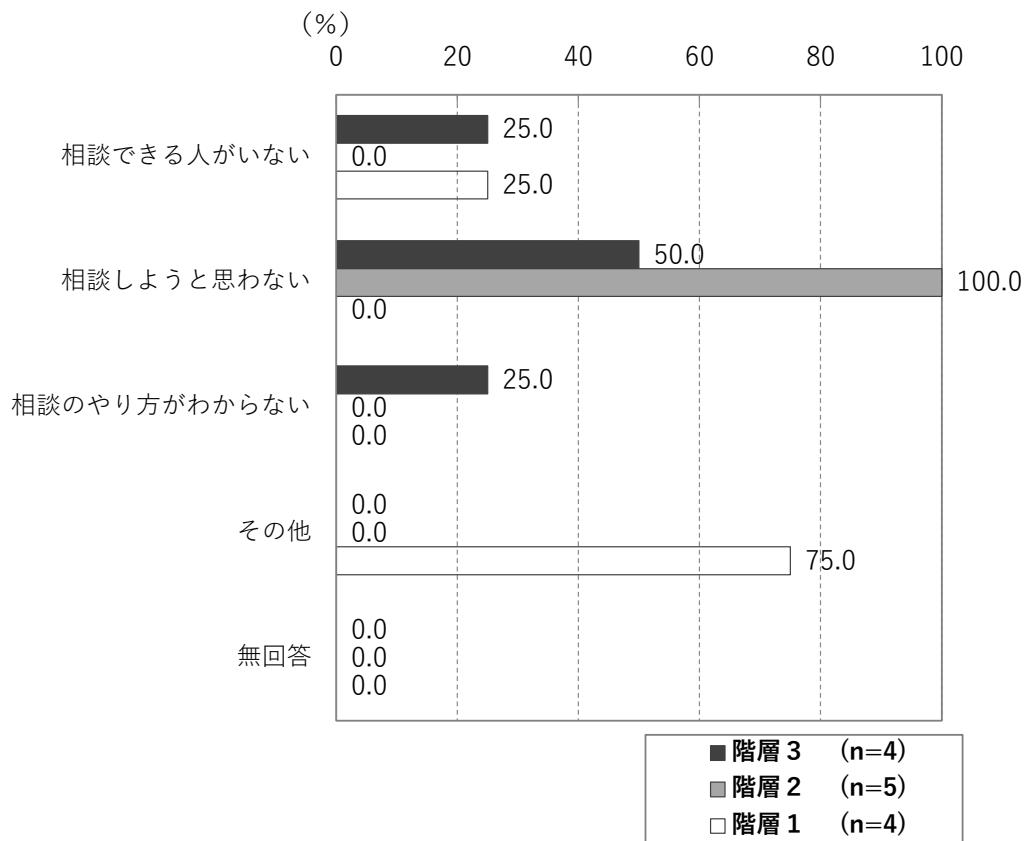
問 29 問 28 で「2 ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由をお聞きください。(あてはまるものすべてに○)

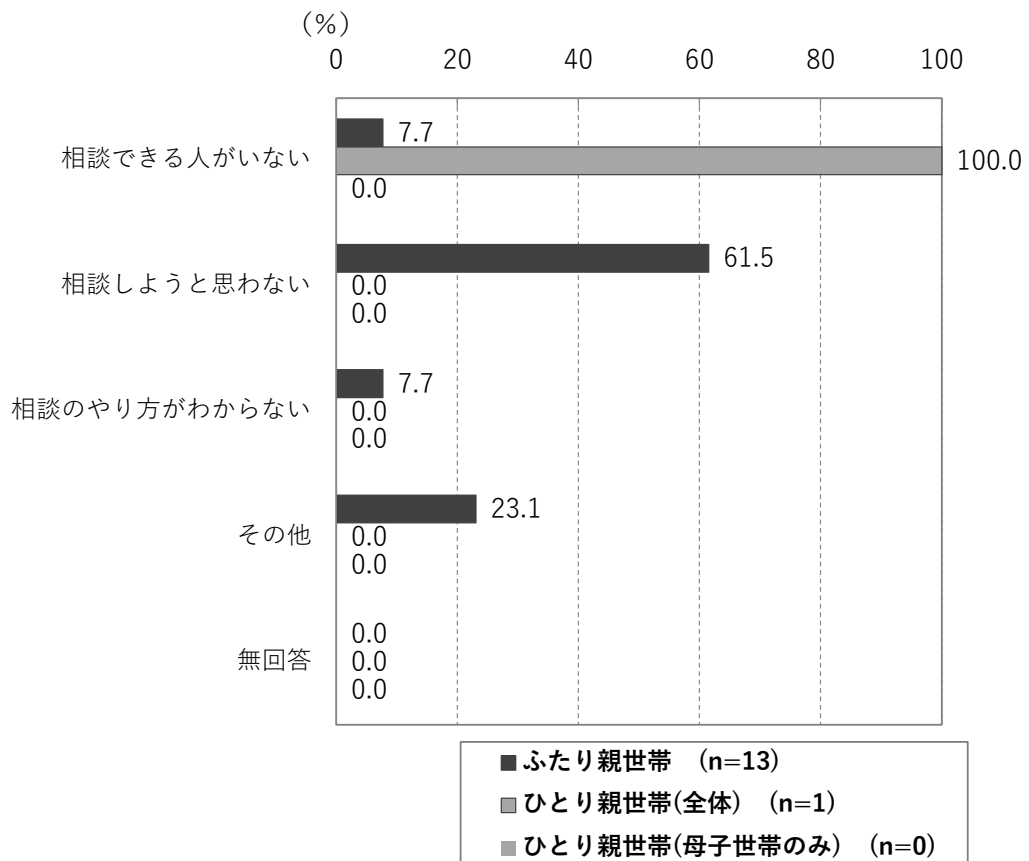
相談していない理由については、本市では「相談しようと思わない」が 6 割弱を占めており、「その他」が約 2 割、「相談できる人がいない」が 1 割半ばで続いている。



【階層別】



【世帯の状況別】



(18) ヤングケアラーという言葉の認知状況

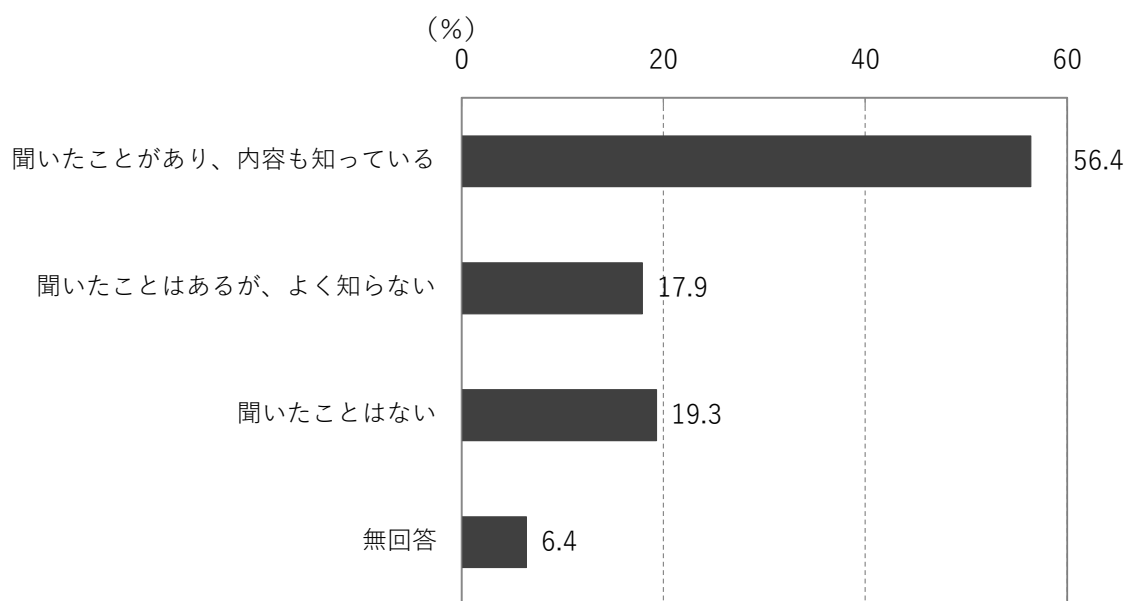
問 30 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つに○)

ヤングケアラーという言葉の認知状況については、本市では「聞いたことがあり、内容も知っている」が5割半ばを占めており、「聞いたことはない」が約2割、「聞いたことはあるが、よく知らない」が2割弱で続いている。

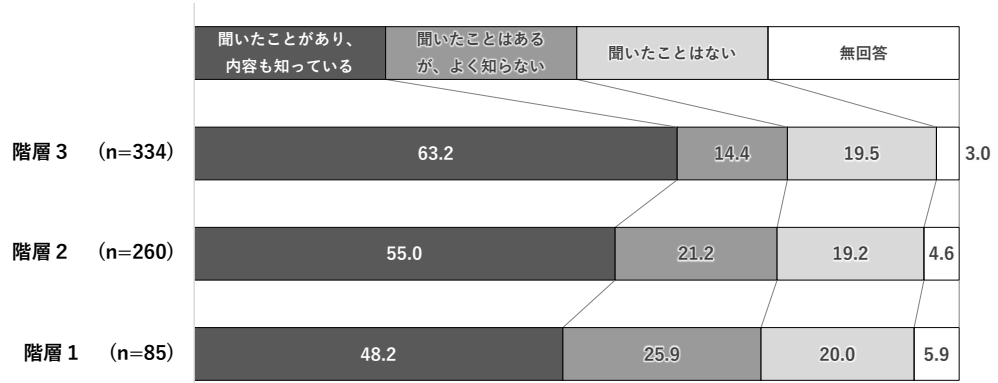
等価世帯収入の階層別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は階層3が6割強と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は低くなる傾向にある。また、「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合は階層1が2割半ばと最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」については、ふたり親世帯の割合が約6割と特に高くなっている。

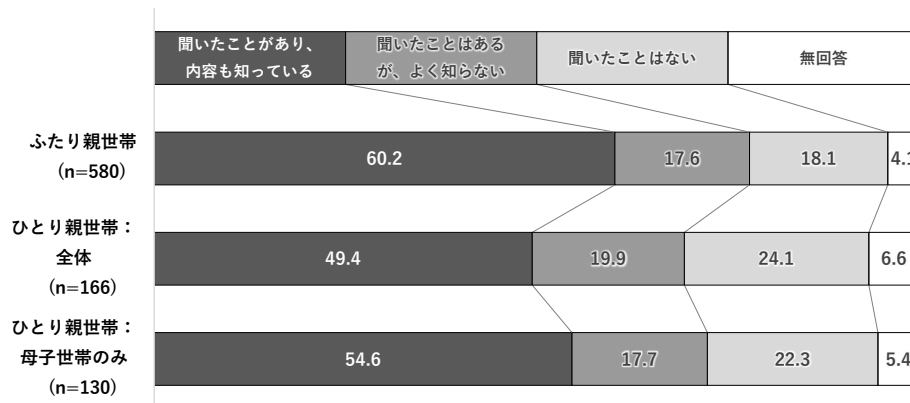


■ 嘉麻市 (n=771)

【階層別】



【世帯の状況別】



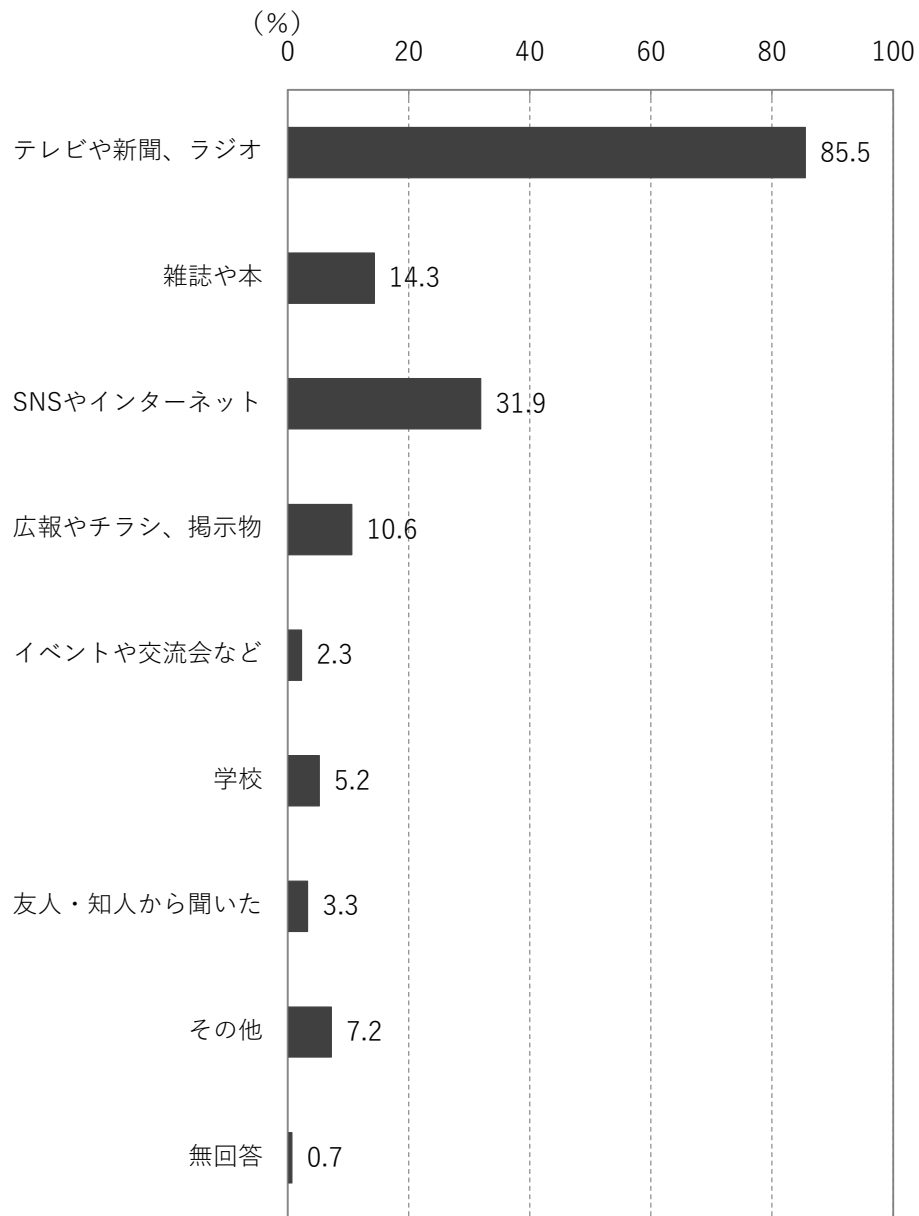
問 31 問 30 で「1 聞いたことがあり、内容も知っている」「2 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人をお願いします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

どこで知ったのかについては、本市では「テレビや新聞、ラジオ」が 8 割半ばを占めており、「SNS やインターネット」が約 3 割「雑誌や本」が 1 割半ばで続いている。

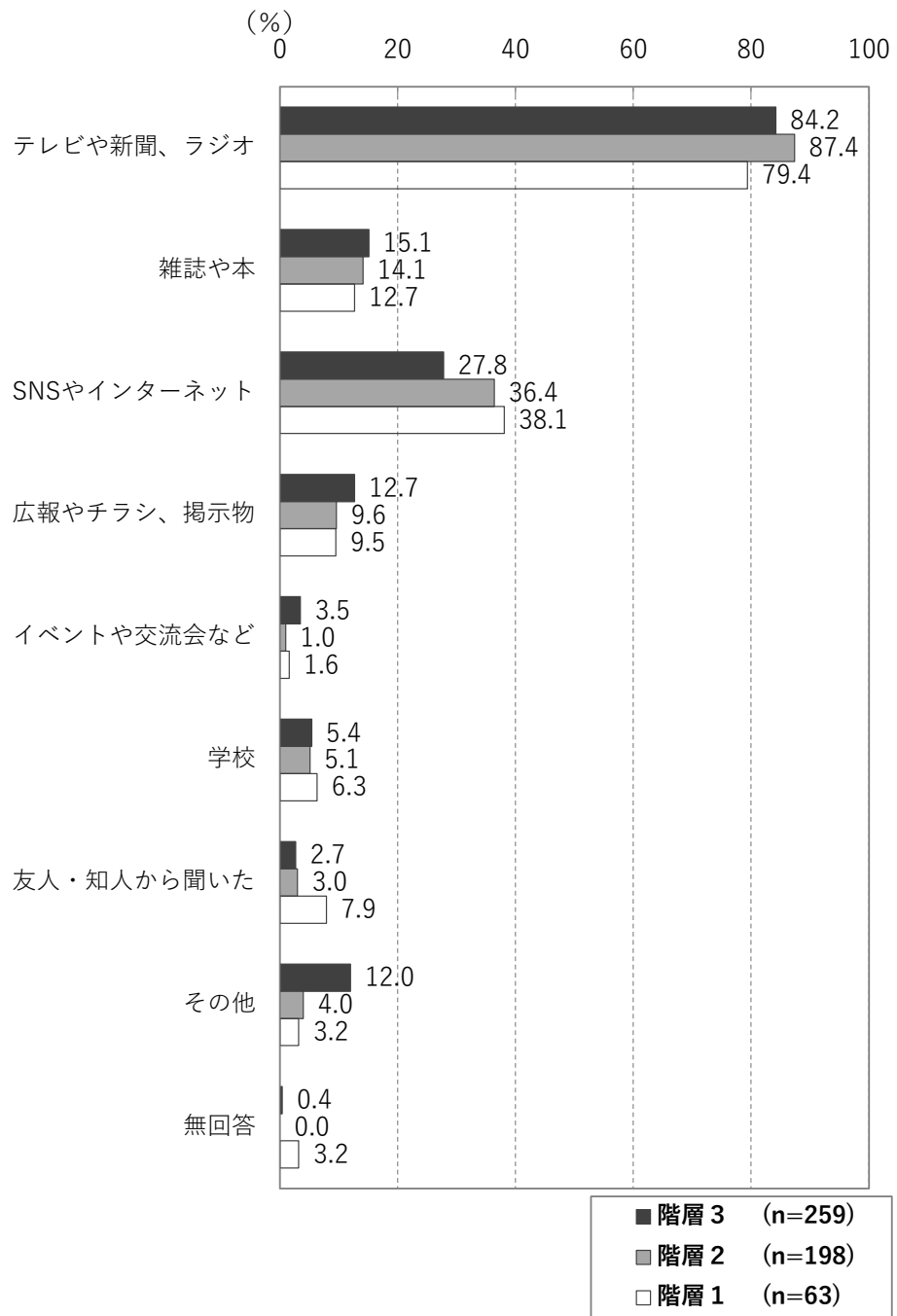
等価世帯収入の階層別にみると、「SNS やインターネット」の割合は階層 1 が約 4 割と最も高くなっており、階層が低くなるにつれて割合は高くなる傾向にある。

世帯の状況別にみると、ふたり親世帯は、ひとり親世帯と比べて「SNS やインターネット」の割合が低くなっている。

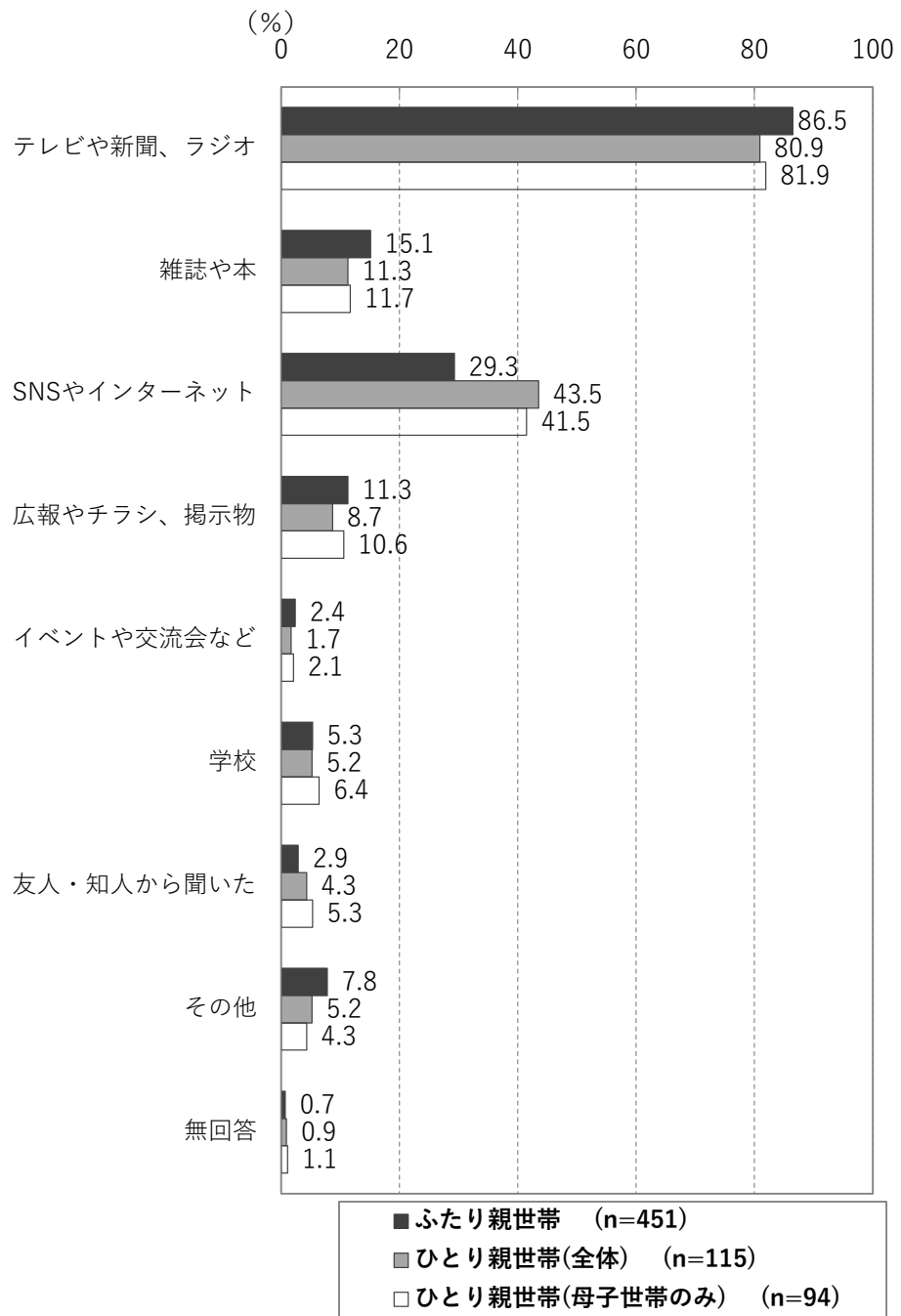


■ 嘉麻市 (n=573)

【階層別】



【世帯の状況別】



2. 調査結果のまとめ

(1) 生活全般について

今回の調査では、「【問 19】世帯全員のおおよその年間収入（税込）」と「【問 2】生計を同一にする家族人数」から『等価世帯収入』を算出し、分析の軸とした。回答者の過半数（49.2%）は、『等価世帯収入』が階層 3 である。

現在の暮らしの状況について、階層 3 では、「ふつう」又は「ゆとりがある」と感じる人が約 8 割を占めており、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい・計』と感じている人は 2 割に満たない。一方、階層 2、階層 1 では、階層 3 に比べ、「ふつう」または「ゆとりがある」の割合が低く、階層が低くなるほど『苦しい・計』の割合は上昇しており、階層 1 では 62.4%と半数以上を占めている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響においても、世帯全体の収入が「減った」と回答した人の割合は、階層が低くなるほど割合が高くなり、階層 1 では 56.5%と半数以上を占めるなど、直近の生活環境による影響を強く受けている。

その他、階層が低くなるにつれて、過去 1 年間に経済的な理由で必要な食料や衣服の購入ができなかった、公共料金の未払い経験があると回答した人の割合が高くなっている。上記を世帯別で比較を行うと、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が高い割合となっている。

生活満足度をみると、階層が低くなるほど生活満足度も低下する傾向があり、10 点満点中の平均は、階層 3 は 6.50 点、階層 2 は 5.31 点、階層 1 は 4.80 点となっており、世帯収入は生活満足度に影響を及ぼす要因の一つであることが窺える。

(2) 子育てについて

子どもとのかかわり方において、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」や「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」では、「あてはまる」の割合は階層が低くなるほど低下する傾向にある。

子どもの進学については、階層 3 では「大学まで」の割合が最も高く、4 割半ばを占める。逆に、「高校まで」は階層が低くなるほど割合が高くなり、階層 1 では「高校まで」の割合が 3 割強となっている。

子育てに関する相談における頼れる人の有無では、階層間・世帯間で大きな差はなく 8 割以上が「頼れる人がいる」と回答しており、頼れる人の内容についても、「家族・親族」、「友人」「職場の人」の順番で同様となっている。

階層・世帯を問わず、多くの保護者が「相談できる人がいる」という状況は読み取れるが、子どもとのかかわり方や進学先等においては、特に階層により傾向が明確に表れている。

(3) 子育て支援制度について

公的な子育て支援制度の利用についてみると、「就学援助」や「児童扶養手当」を現在利用して

いる人の割合は、階層が低くなるほど高くなっており、階層1ではどちらも過半数を占めている。また、世帯別においても、「就学援助」や「児童扶養手当」を現在利用している人の割合が高く、特に母子世帯では7割を超えている。一方、収入の水準に関わらず、「就学援助」と「児童扶養手当」以外は、利用者が極めて少ない。

制度を利用したことがない理由をみると、階層1ではいずれの制度も「制度の対象外だと思う」が多数を占めているが、「生活困窮者の自立支援相談窓口」と「母子家庭等就業・自立支援センター」では、「選択肢以外の理由」をあげる人が3割近くみられたため、更なる現状把握に努める必要がある。また、「児童扶養手当」では「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」との理由が1割近く存在しており、制度周知の更なる取り組みが必要である。

(4) ヤングケアラーについて

お子さんのヤングケアラー該当に関する認識について、「あてはまる」と考える人の割合は、若干ではあるが階層が低くなるほど高くなっている。

ヤングケアラーという言葉の認知状況については、「聞いたことがあり、内容も知っている」人の割合は、階層が低くなるほど低くなっている。また、階層1では「聞いたことはあるが、よく知らない」が階層2・3と比べて2割半ばで最も高くなっている。

ヤングケアラーという言葉をどこで知ったのかについては、階層・世帯を問わず「テレビや新聞、ラジオ」、「SNSやインターネット」、「雑誌や本」の順番で割合が高くなっている。特に、「テレビや新聞、ラジオ」に関しては8割前後の割合となっており、保護者における情報収集の重要な媒体であることが窺える。

Ⅲ 小学生・中学生向け調査の結果

1. 調査結果

(1) ふだんの勉強の仕方

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

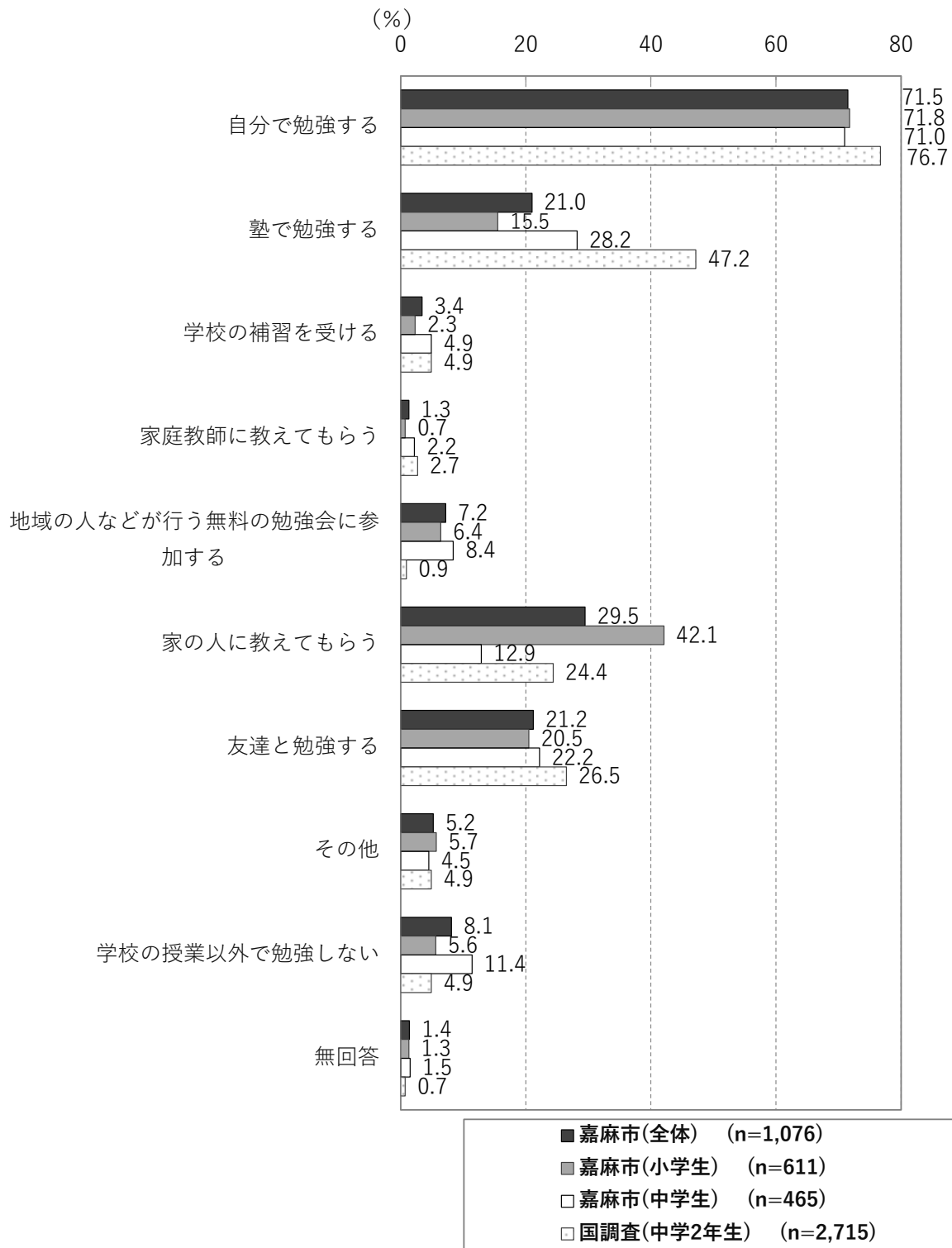
※勉強には学校の宿題もふくみます。

(「自分で勉強する」～「その他」については、あてはまるものすべてに○)

ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、本市では「自分で勉強する」が約7割で最も多く、「家の人に教えてもらう」が約3割、「友達と勉強する」と「塾で勉強する」が約2割で続いている。なお、「学校の授業以外で勉強はしない」の割合は約1割となっている。

学年別にみると、「家の人に教えてもらう」における小学生の割合が4割強であり、全体と比べて高くなっている一方で、中学生の割合は1割強と低くなっている。また、「塾で勉強する」における小学生の割合が1割半ばであり、全体と比べて低くなっている一方で、中学生の割合は約3割と高くなっている。

中学生における国調査との比較では、「塾で勉強する」における国調査の割合が5割弱であることに対し、本市では約3割と低い傾向にある。また、「家の人に教えてもらう」における国調査の割合が2割半ばであることに対し、本市では1割強と低い傾向にある。



(2) 1日あたりの勉強時間

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

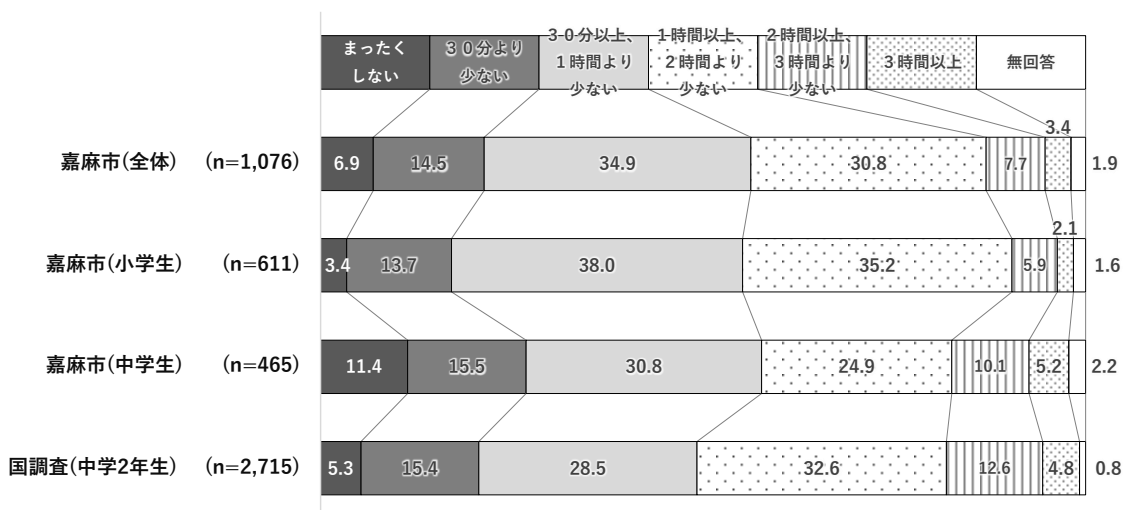
(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、本市では「学校がある日(月～金曜日)」と「学校がない日(土・日曜日・祝日)」どちらも「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高くなっている。一方、「まったくしない」は、学校がある日では1割弱であることに對し、学校がない日では2割弱と高くなっている。

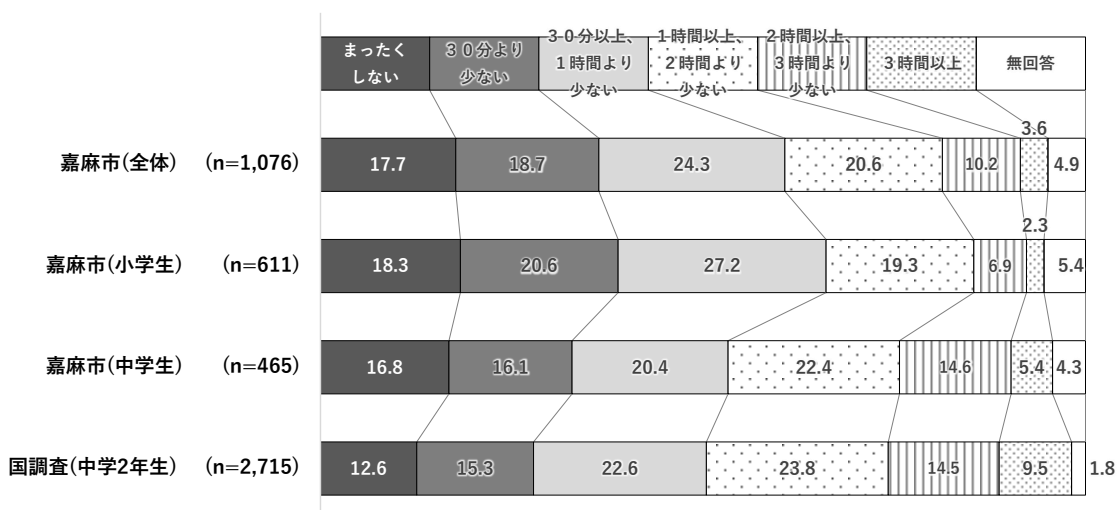
学年別にみると、「a)学校がある日」では、学年が上がるにつれ、『勉強する(2時間以上)・計』と「まったくしない」がはっきり分かれてくる傾向がみられる。学校がない日では、小学生の『勉強する(2時間以上)・計』の割合が約1割であることに對し、中学生は約2割と高くなっている。

中学生における国調査との比較では、学校がある日・学校がない日のともに、『勉強する(2時間以上)・計』は本市の方が低い傾向にある。

a) 学校がある日(月～金曜日)



b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)



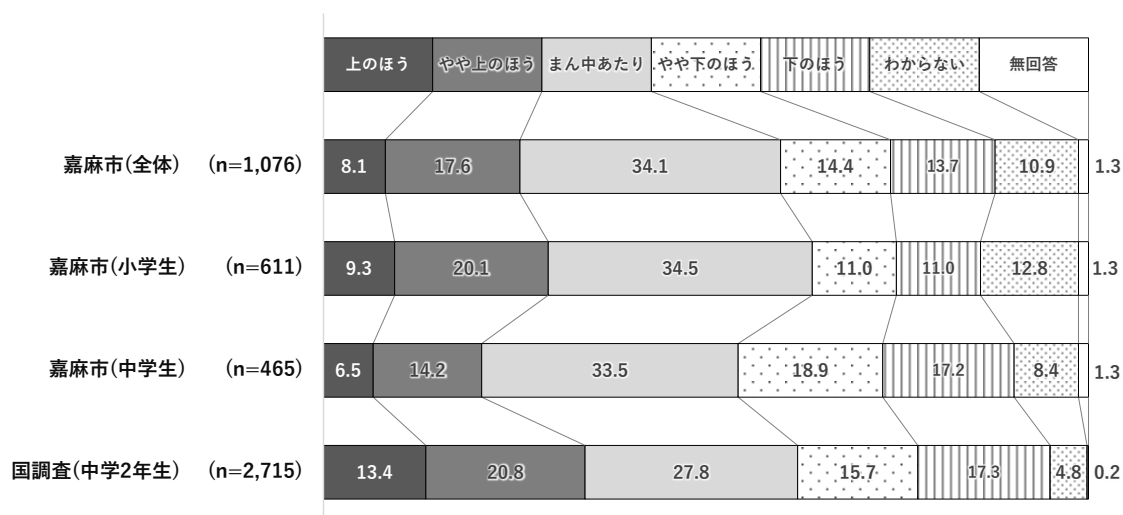
(3) クラスの中での成績

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

クラスの中での成績については、本市では「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた『上位・計』の割合が2割半ば、「まん中あたり」が3割半ば、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた『下位・計』が約3割になっている。

学年別にみると、『下位・計』における小学生の割合が2割強であり、全体と比べて低くなっている一方で、中学生の割合は3割半ばと高くなっている。また、『上位・計』における中学生の割合は約2割であり、全体と比べて低くなっている。

中学生における国調査との比較では、『上位・計』における国調査の割合が3割半ばであることに対し、本市では約2割と低い傾向にある。



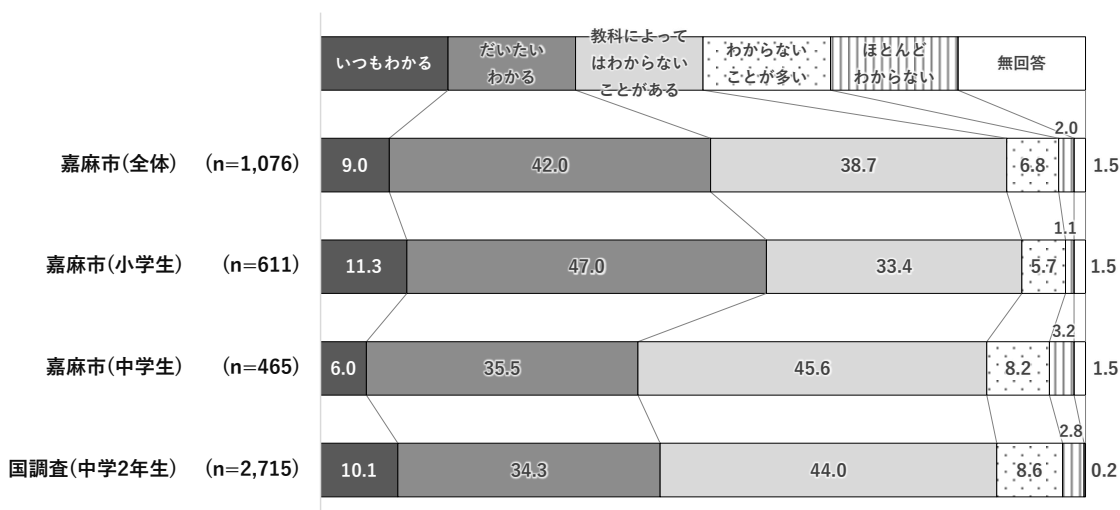
(4) 授業がわからないことの有無

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

学校の授業の理解状況について、本市では「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる・計』が約5割であり、「教科によってはわからないことがある」が約4割となっている。また、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた『わからない・計』が約1割となっている。

学年別にみると、『わかる・計』における小学生の割合が約6割であり、全体と比べて高くなっている一方で、中学生の割合は約4割と低くなっている。また、「教科によってはわからないことがある」における小学生の割合が3割強であり、全体と比べて低くなっている一方で、中学生の割合は4割半ばと高くなっている。

中学生における国調査との比較においては、大きな差は見られなかった。



(5) 授業がわからなくなった時期

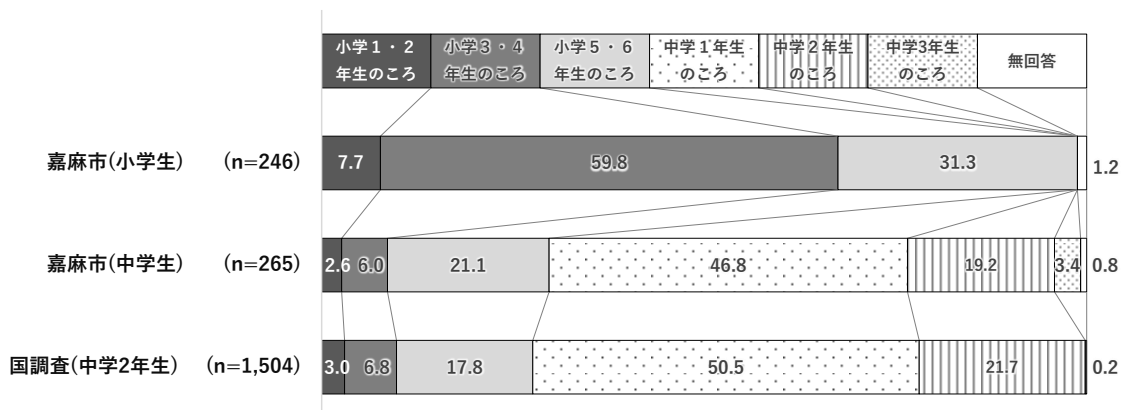
問6 問5で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

(あてはまるもの1つに○)

授業がわからなくなった時期については、本市の小学生は、「小学3・4年生のころ」が約6割と最も高くなっている。中学生では、「中学1年生のころ」が5割弱と最も高く、「小学5・6年生」が約2割で続く。

中学生における国調査との比較においては、大きな差は見られなかった。



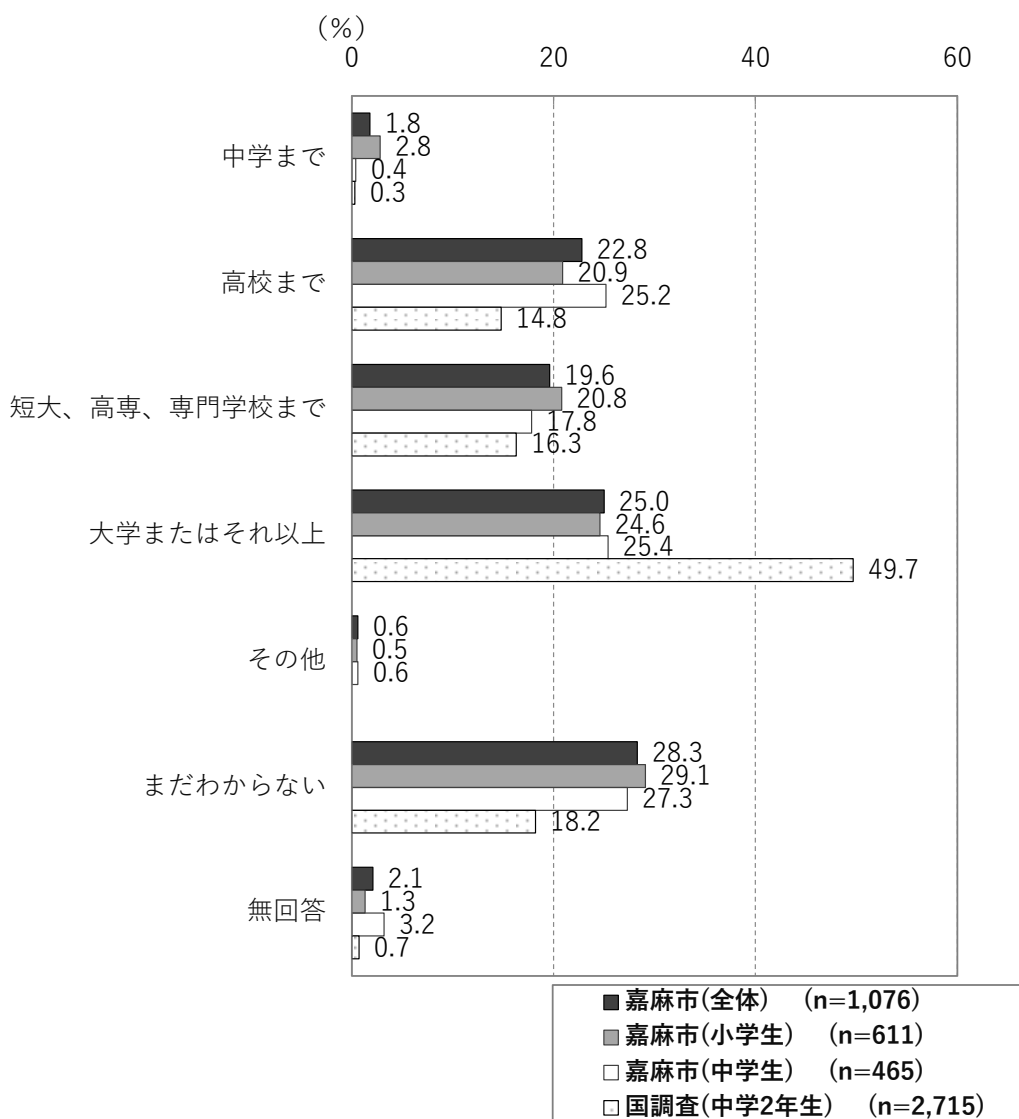
(6) 進学したいと思う教育段階とその理由

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

将来どの段階まで進学したいかについては、本市では「まだわからない」が約3割で最も多く、「大学またはそれ以上」が2割半ば、「高校まで」が2割強、「短大、高専、専門学校まで」が約2割で続いている。

学年別にみると、小学生と中学生の間に大きな差は見られなかった。

中学生における国調査との比較では、「大学またはそれ以上」における国調査の割合が約5割であることにに対し、本市では2割半ばと低い傾向にある。また、「高校まで」における国調査の割合が1割半ばであることにに対し、本市では2割半ばと高い傾向にある。



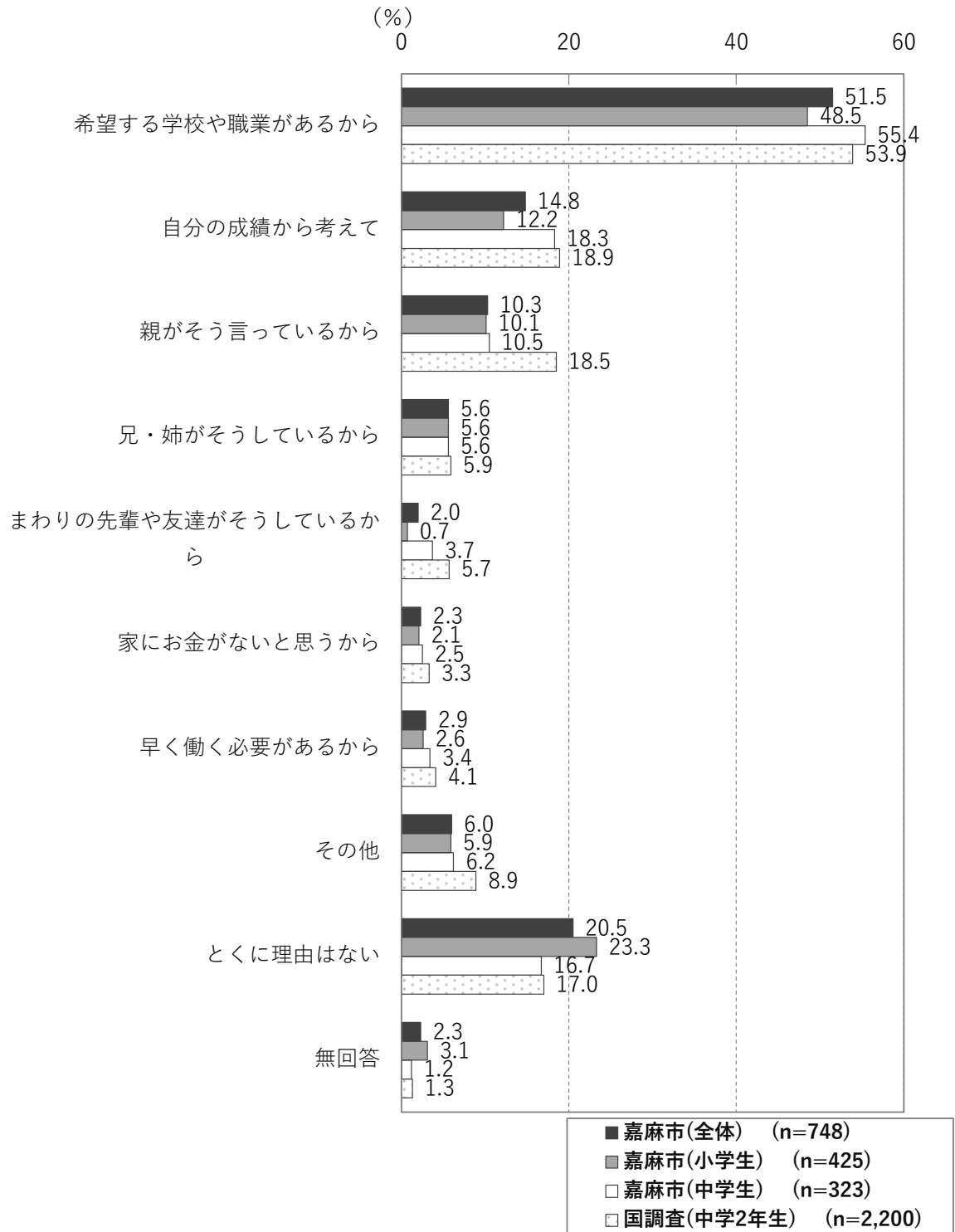
問8 前の質問で「1 中学」～「8 その他」と答えた場合、その理由を答えてください。

(「1 希望する学校や職業があるから」～「8 その他」については、あてはまるものすべてに○)

希望する教育段階を選んだ理由については、本市では「希望する学校や職業があるから」が約5割で最も多く、「とくに理由はない」が約2割、「自分の成績から考えて」が1割半ば、「親がそう言っているから」が約1割で続いている。

学年別にみると、小学生と中学生の間に大きな差は見られなかった。

中学生における国調査との比較では、「親がそう言っているから」における国調査の割合が約2割であることに對し、本市では約1割と低い傾向にある。



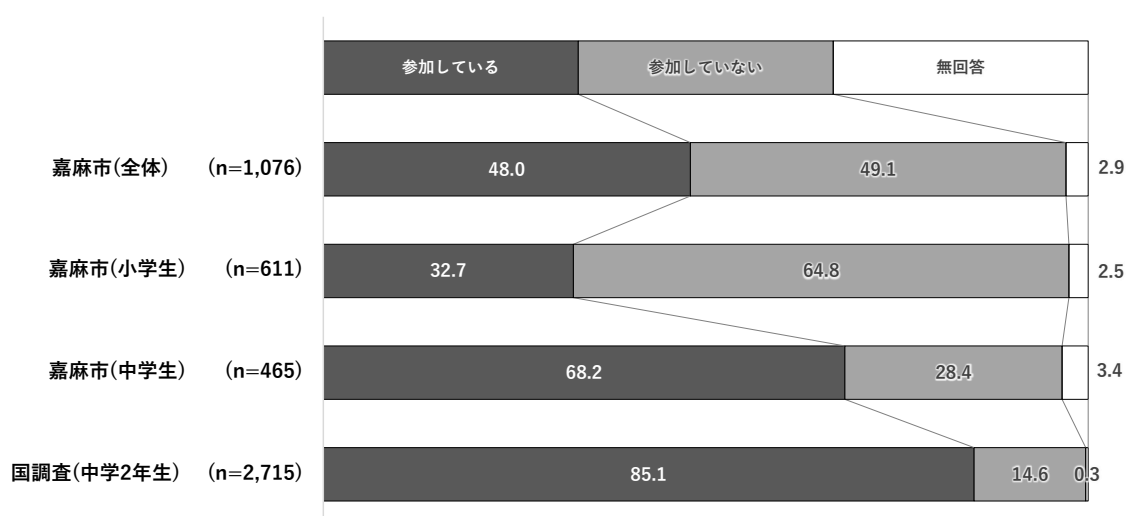
(7) 地域のクラブ等への参加状況

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。

地域のスポーツクラブや文化クラブへの参加状況については、本市では「参加している」と「参加していない」とでほぼ同率となっている。

学年別にみると、「参加していない」における小学生の割合が6割半ばであり、全体と比べて高くなっている一方で、中学生の割合は約3割と低くなっている。

中学生における国調査との比較では、「参加している」における国調査の割合が8割半ばであることに對し、本市では約7割と低い傾向にある。また、「参加していない」における国調査の割合が1割半ばであることに對し、本市では約3割と高い傾向にある。



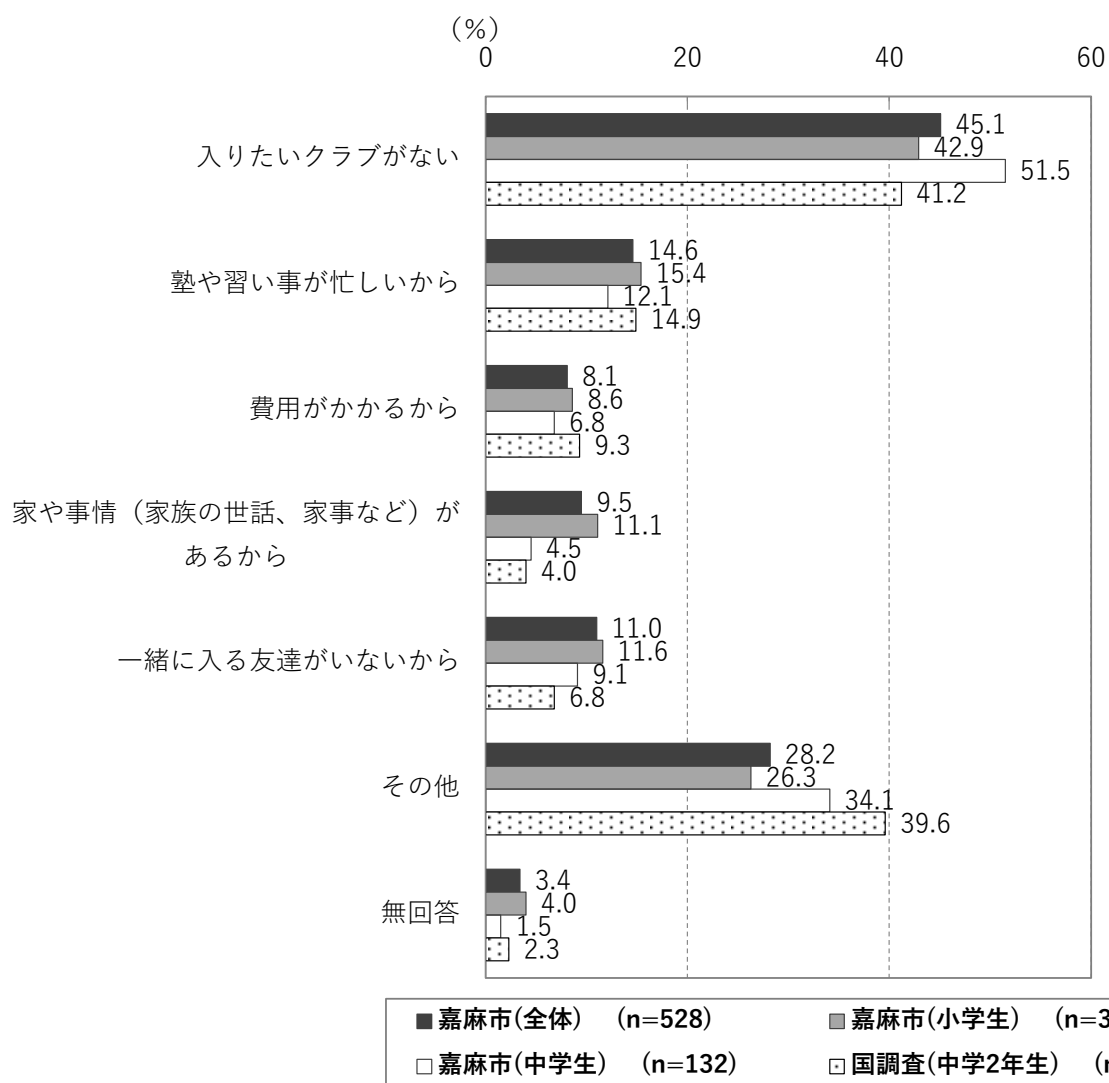
(8) 地域のクラブ等に参加していない理由

問10 問9で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。

参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域のクラブ等に参加していない理由については、本市では「入りたいクラブがない」が4割半ばで最も多く、「その他」が約3割、「塾や習い事が忙しいから」が1割半ばで続いている。

学年別にみると、「入りたいクラブがない」における小学生の割合が4割強であり、全体と比べて低くなっている一方で、中学生の割合は約5割と高くなっている。



(9) 食事の状況

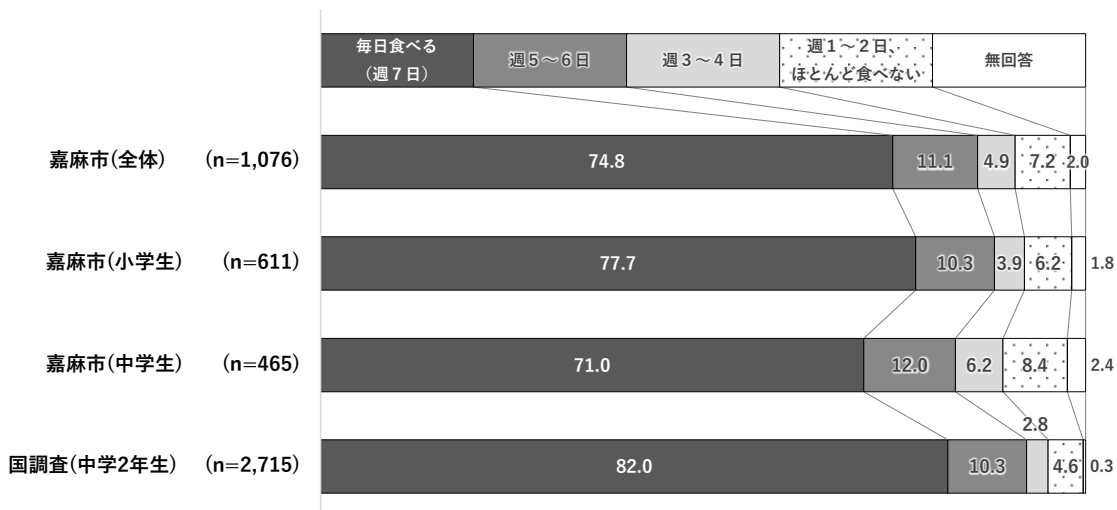
問 11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

(「a 朝食」～「c 夏休みや冬休みなどの期間の昼食」それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

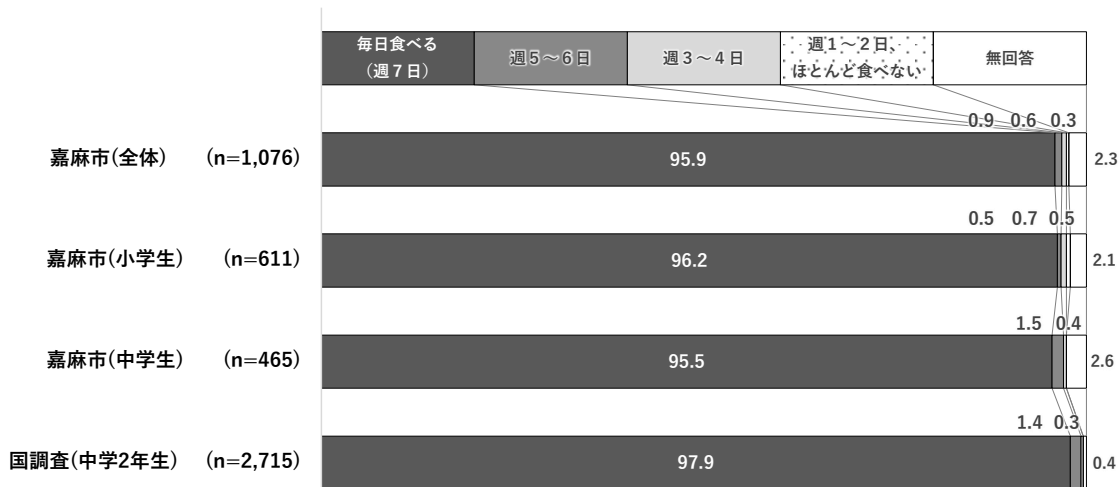
食事の状況について、本市ではいずれの学年も「毎日食べる（週7日）」における「a)朝食」の割合は、「b)夕食」や「c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食」に比べて低い傾向にある。また、「a)朝食」では「週1～2日、ほとんど食べない」という回答も一定数存在している。

中学生における国調査との比較では、「a)朝食」における「毎日食べる（週7日）」の国調査の割合が8割強であることに對し、本市では約7割と低い傾向にある。

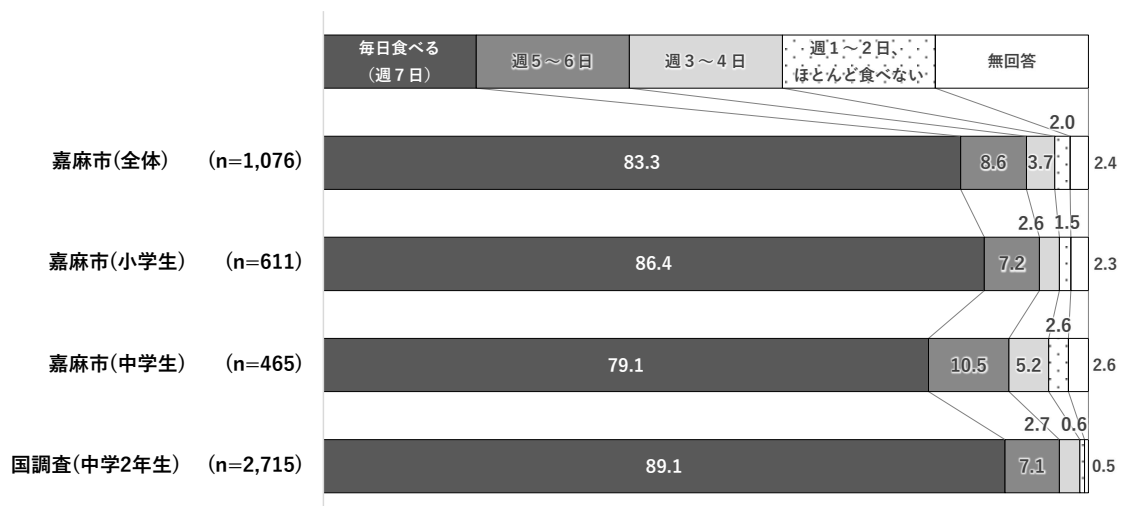
a) 朝食



b) 夕食



c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食



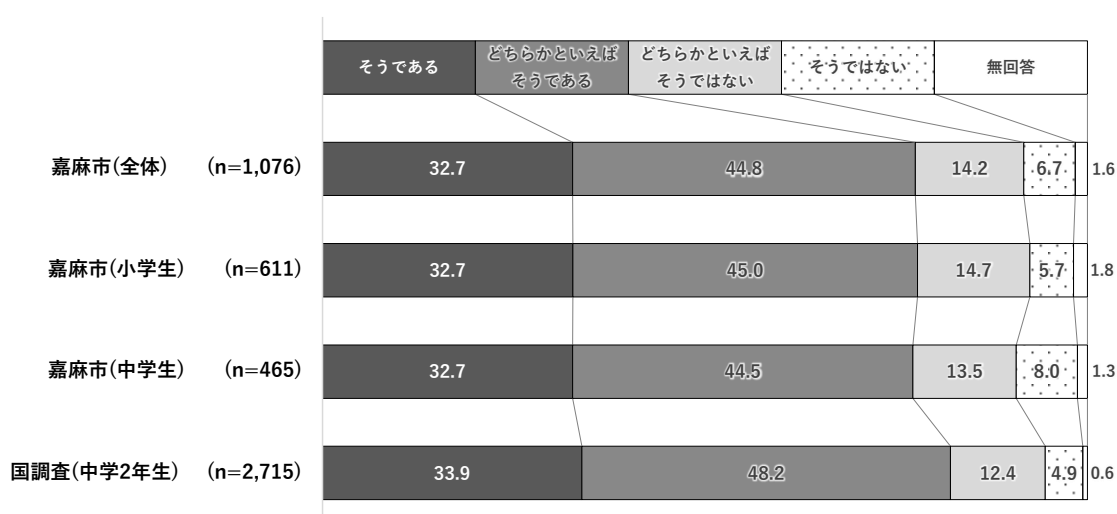
(10) 就寝時間

問 12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

就寝時間については、本市では「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた『そうである・計』が約8割弱で最も多く、「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた『そうではない・計』が約2割となっている。

学年別にみると、小学生と中学生の間に大きな差は見られなかった。

中学生における国調査との比較においても、大きな差は見られなかった。



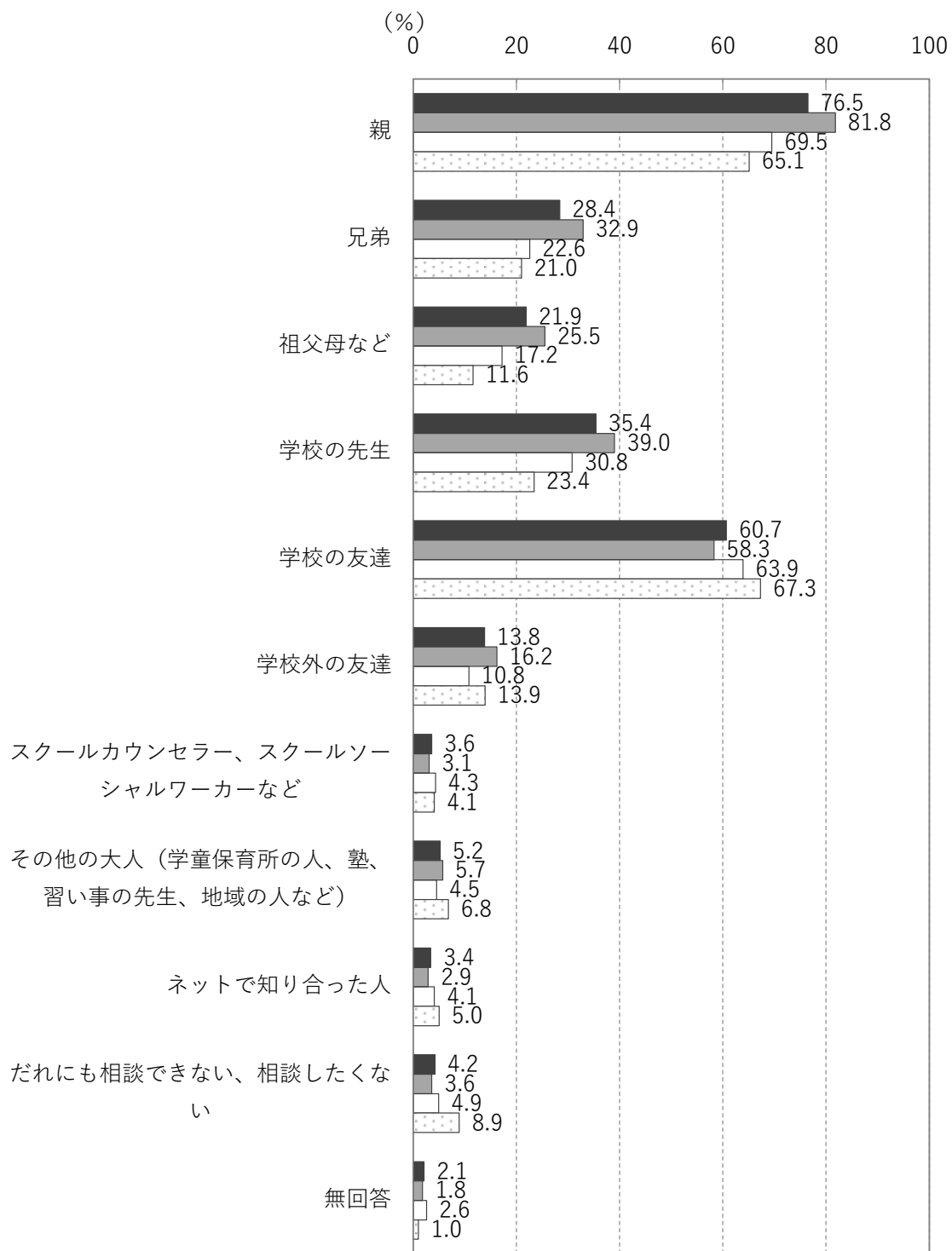
(11) 相談できる相手

問 13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（「1 親」～「9 ネットで知り合った人」については、あてはまるものすべてに○）

困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、本市では「親」が8割弱で最も多く、「学校の友達」が約6割、「学校の先生」が3割半ばで続いている。なお、「だれにも相談できない、相談したくない」が1割未満だが存在する。

学年別にみると、「親」における小学生の割合が約8割であり、全体と比べて高くなっている一方で、中学生の割合は約7割と低くなっている。また、「兄弟」における小学生の割合が3割強であり、全体と比べて高くなっている一方で、中学生の割合は2割強と低くなっている。

中学生における国調査との比較では、「学校の先生」における国調査の割合が2割強であることに対し、本市では約3割と高い傾向にある。また、「祖父母など」における国調査の割合が約1割であることに対し、本市では2割弱と高い傾向にある。



■ 嘉麻市(全体) (n=1,076)
 ■ 嘉麻市(小学生) (n=611)
 □ 嘉麻市(中学生) (n=465)
 □ 国調査(中学2年生) (n=2,715)

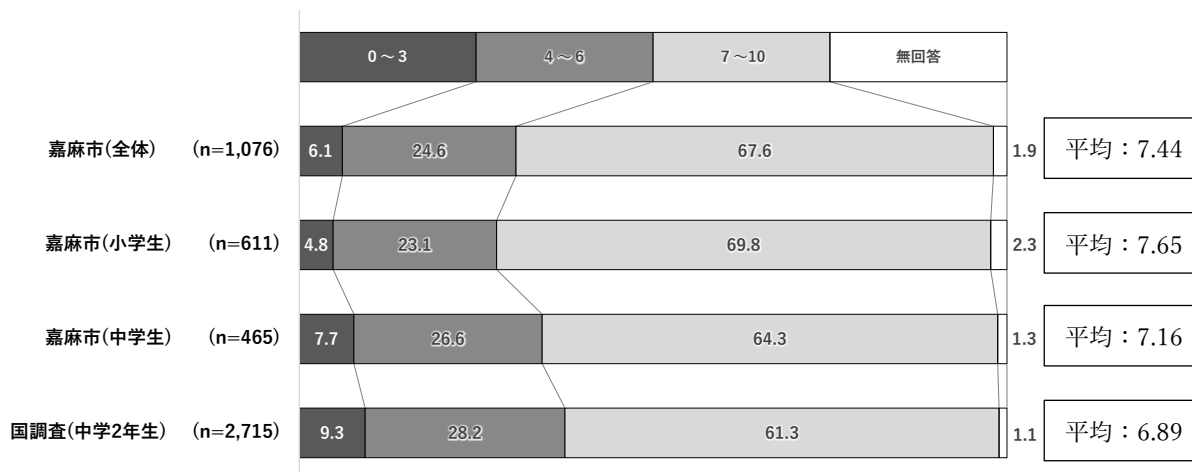
(12) 生活満足度

問 14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。
 （あてはまるもの1つに○）

最近の生活の満足度については、本市では「7～10」が7割弱で最も多く、「4～6」が2割半ば、「0～3」が1割未満で続いている。

学年別にみると、小学生と中学生の間に大きな差は見られなかった。

中学生における国調査との比較において、大きな差は見られなかったが、本市の方が国調査よりも満足度平均値は高くなっている。



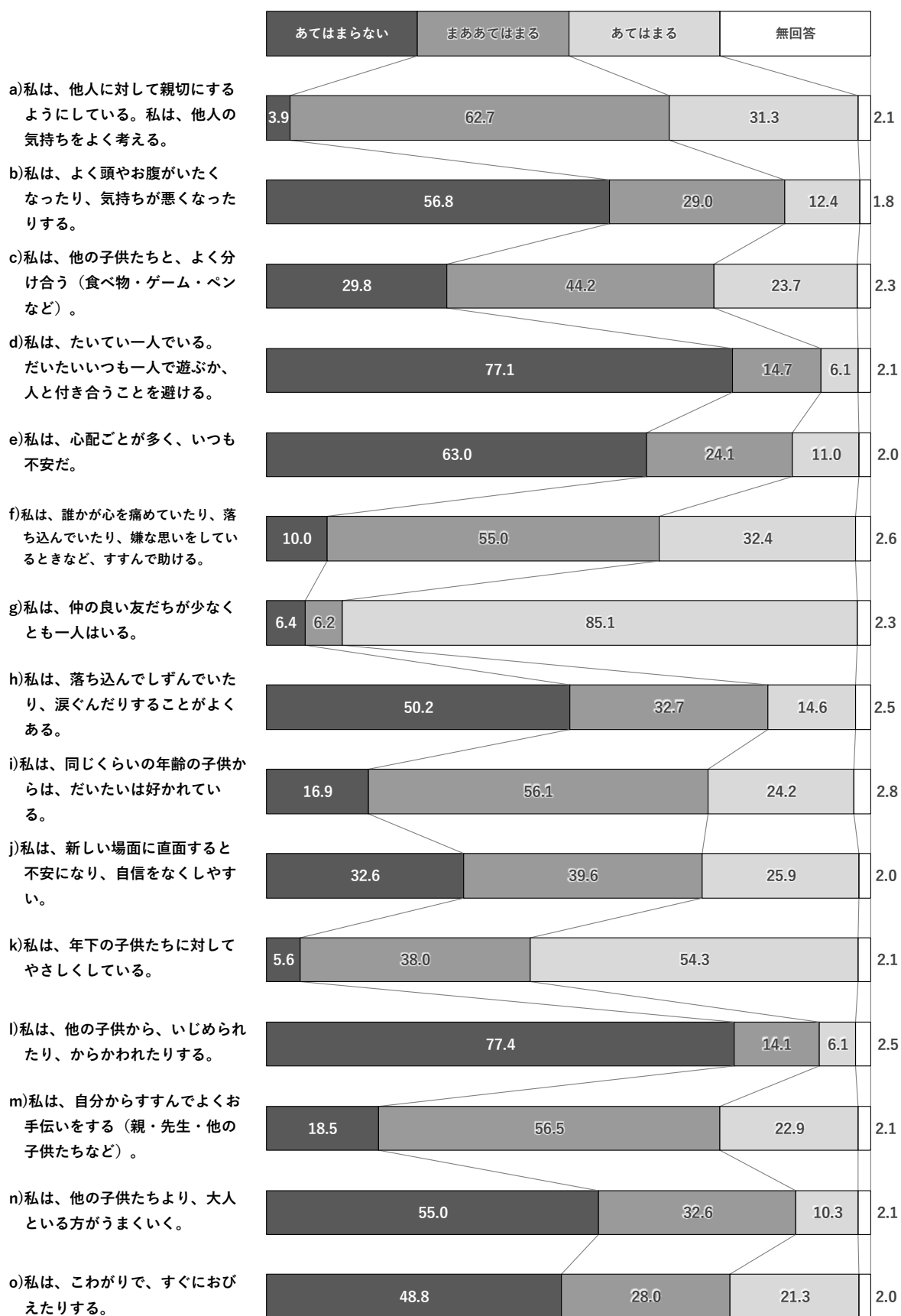
(13) 子どもの心理的な状態

問 15 それぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

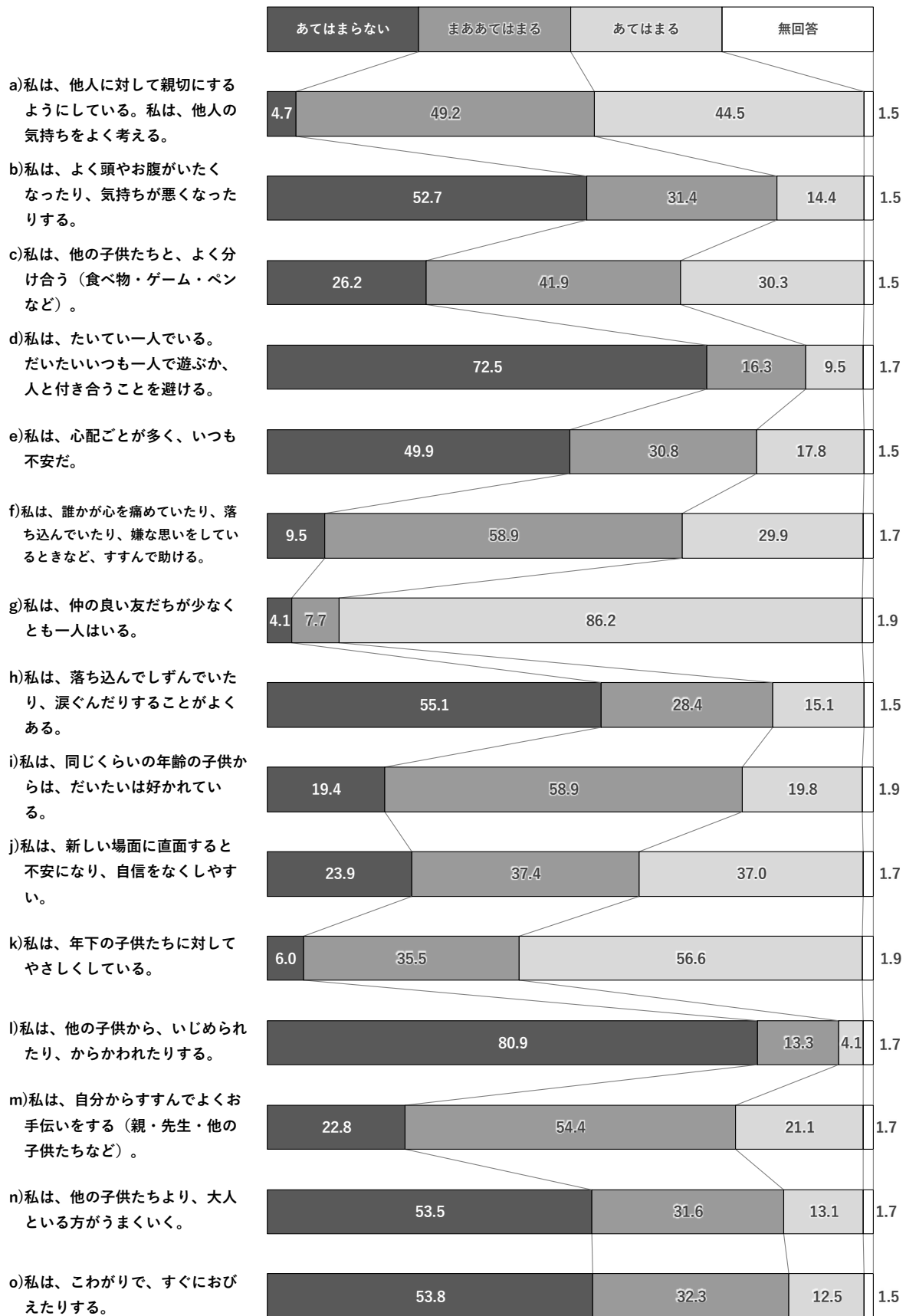
子どもの心理的な状態について、本市ではいずれの学年も「d)私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。」と「l)私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。」の項目では、「あてはまらない」と回答した割合が7割を超えている。また、「a)私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。」、「f)私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。」、「g)私は、仲の良い友達が少なくとも一人はいる。」と「k)私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。」の項目では、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた『あてはまる・計』の割合は8割を超えている。

中学生における国調査との比較では、本市の中学生における『あてはまる・計』の割合が8割を超えている項目は、上記の通り4項目であることに対し、国調査では4項目に加え「i)私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている」も8割を超えている。

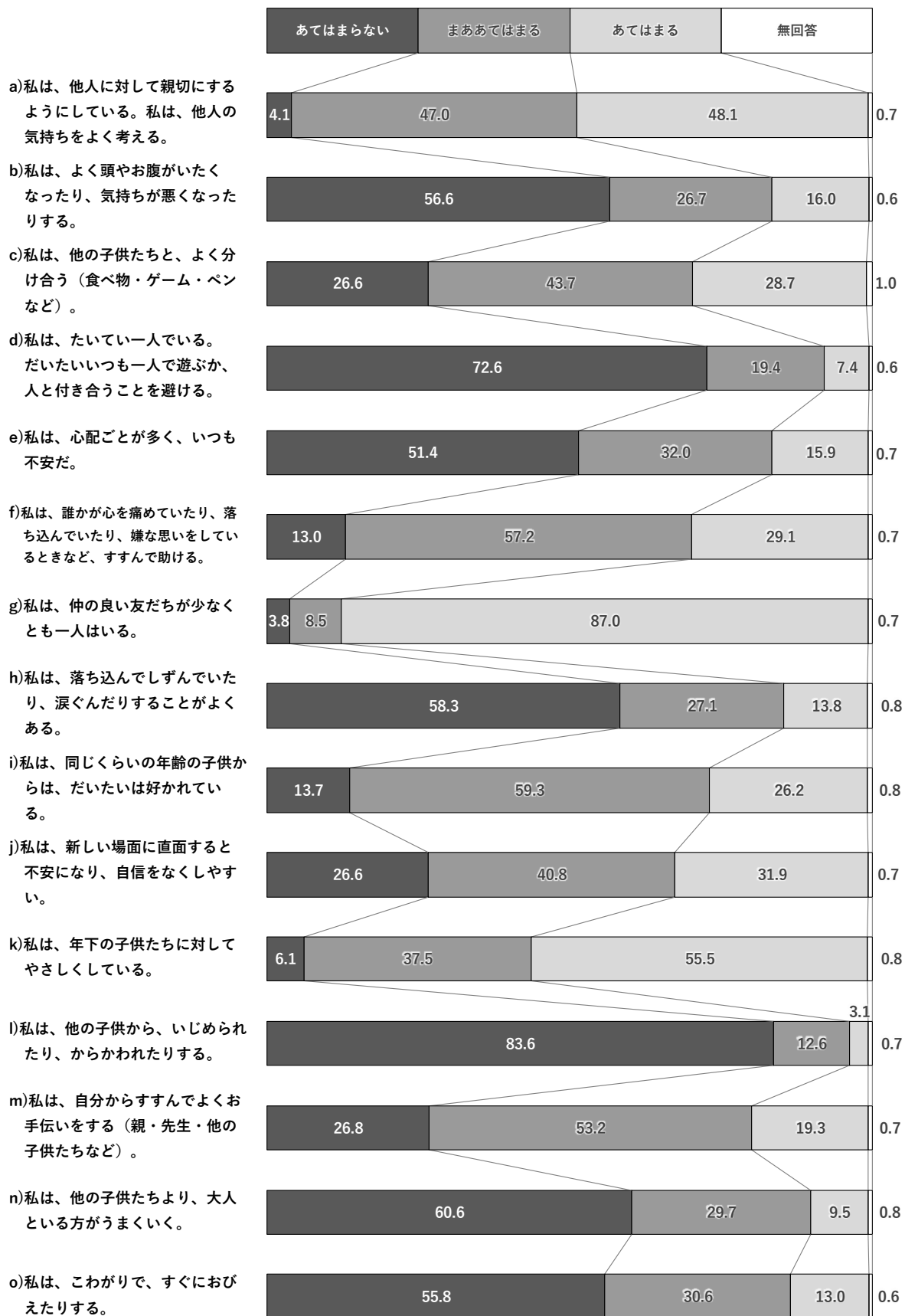
・嘉麻市：小学生（n=611）



・嘉麻市：中学生（n=465）



・国調査：中学2年生 (n=2,715)



「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係 (友人からの孤立や不人気などの友人関係)」の問題、「向社会性 (協調性や共感性などの向社会的行動傾向)」を把握するための項目を設定した。

①情緒の問題

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

②仲間関係の問題

- d. 私は、たいてい一人にいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。
- l. 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。

③向社会性

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の子供たちと、よく分け合う (食べ物・ゲーム・ペンなど)。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする (親・先生・子供たちなど)。

「あてはまらない」なら0点、「まああてはまる」なら1点、「あてはまる」なら2点と、3件法で評定する。各下位尺度の合計点は0-10点となっている。「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。」の項目は逆転項目としてスコアを算出した。

「情緒の問題」に関しては、本市の全体の平均値は 3.43 となっている。

「仲間関係の問題」に関しては、本市の全体の平均値は 2.26 となっている。

「向社会性」に関しては、本市の全体の平均値は 6.06 となっており、3つの分類の中で全体の平均値が最も高くなっている。

3つの分類ともに、中学生は小学生よりも平均値が高くなっている。また、中学生における国調査との比較では、国調査よりも本市の方が平均値は高くなっている。

値：該当項目の平均値の合計値

	情緒の問題	仲間関係の問題	向社会性
嘉麻市（全体）	3.43	2.26	6.06
嘉麻市（小学生）	3.30	2.20	5.99
嘉麻市（中学生）	3.59	2.32	6.15
国調査（中学2年生）	3.40	2.06	6.05

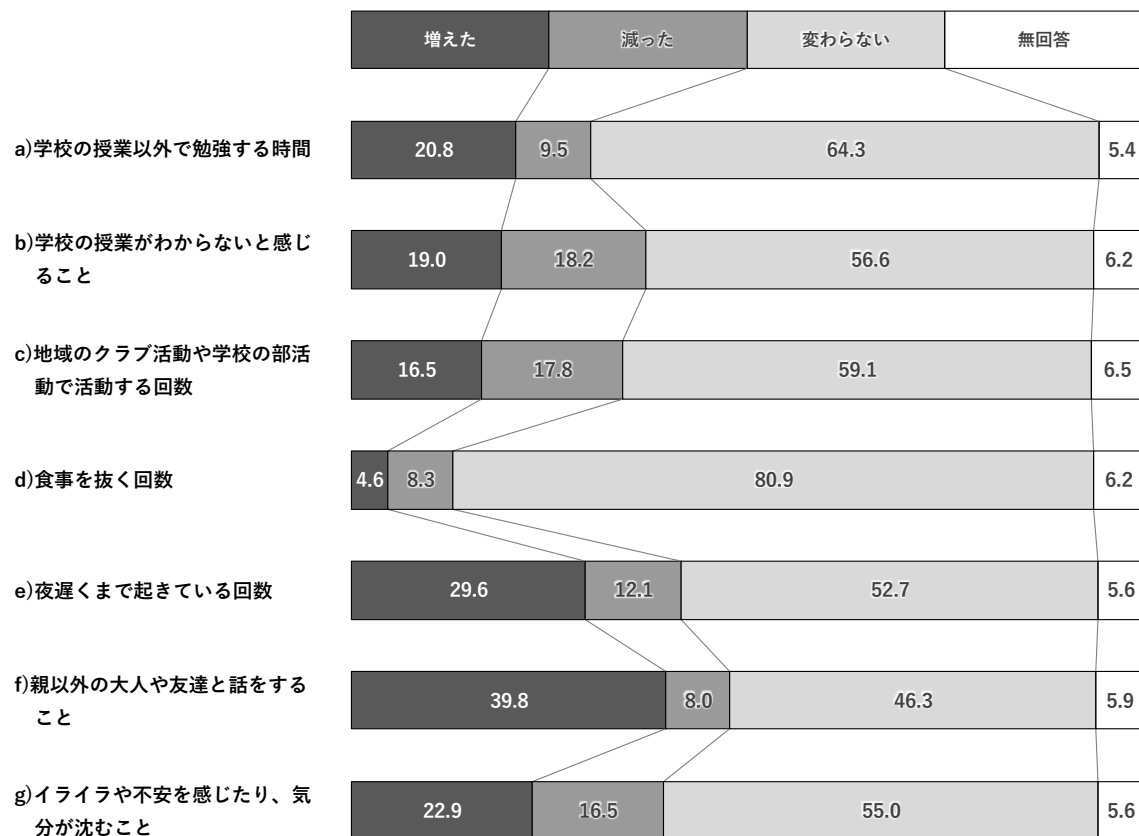
(14) 新型コロナウイルス感染症の影響

問 16 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（令和2（2020）年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。
（a～g それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

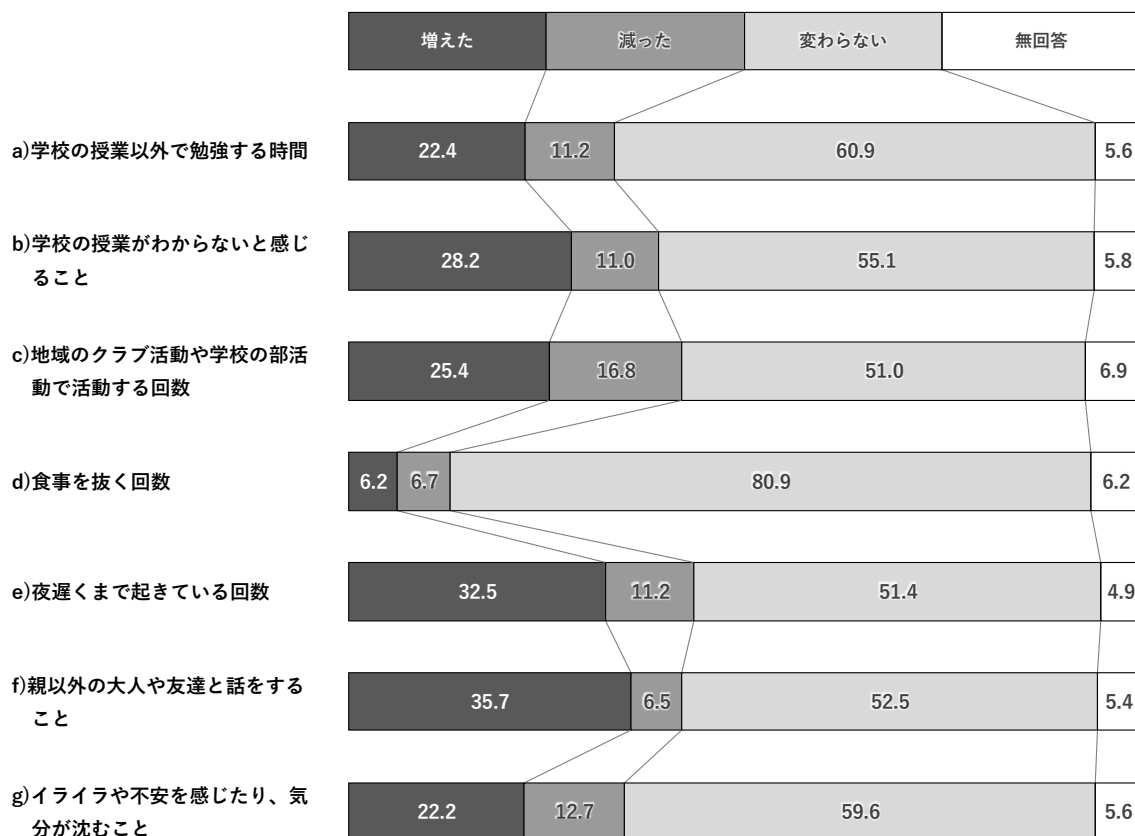
新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、本市ではいずれの学年も「f)親以外の大人や友達と話をすること」における「増えた」との回答割合が最も高くなっており、「e)夜遅くまで起きている回数」が続いている。また、「c)地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数」について、小学生では「減った」の割合が2割弱であり、「増えた」を上回っている。また、中学生では、「減った」の割合が1割半ばであり、他の項目の「減った」と比べて最も高くなっている。その他、いずれの学年も「d)食事を抜く回数」における「変わらない」の回答割合が約8割と最も高くなっており、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない項目であることがわかる。

中学生における国調査との比較では、「c)地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数」における「減った」との回答割合について、国調査の割合が約7割であることに對し、本市では2割弱と低い傾向にある。また、「e)夜遅くまで起きている回数」における「増えた」との回答割合について、国調査の割合が4割半ばであることに對し、本市では3割強と低い傾向にある。

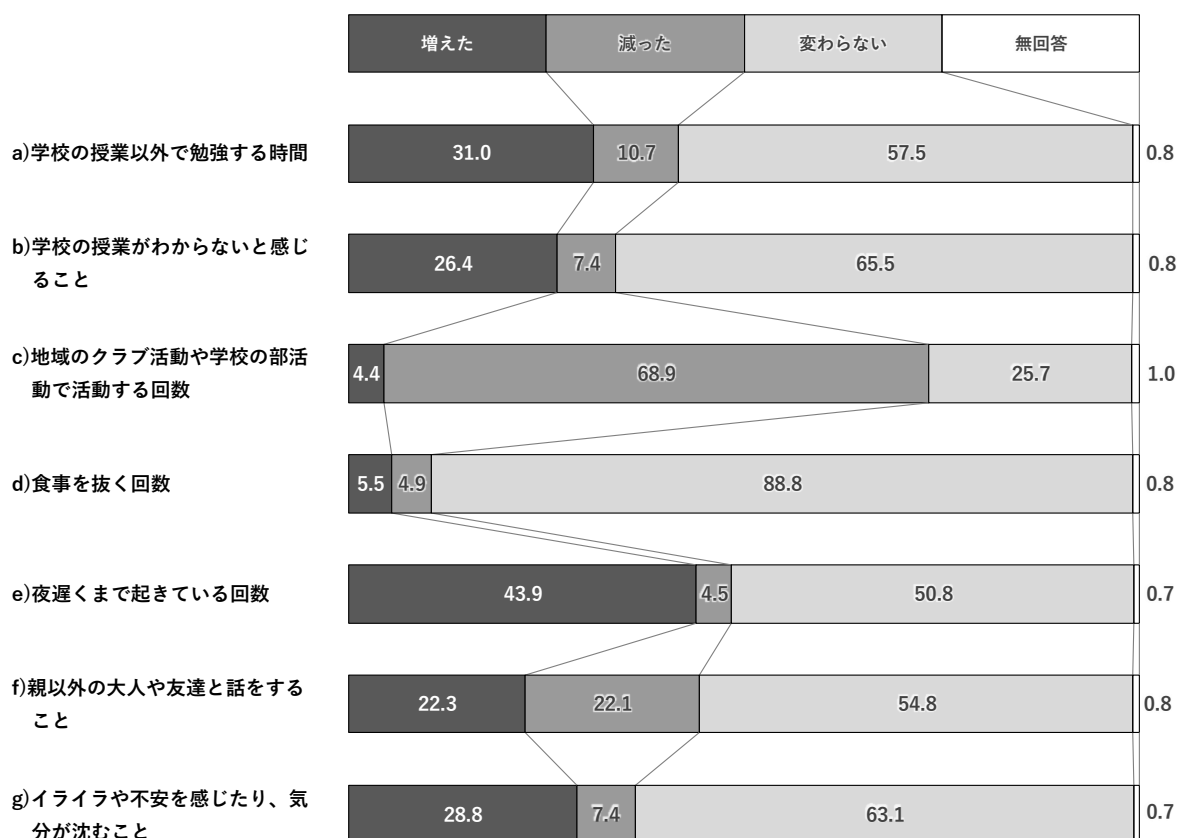
・嘉麻市：小学生（n=611）



・嘉麻市：中学生（n=465）



・国調査：中学2年生（n=2,715）



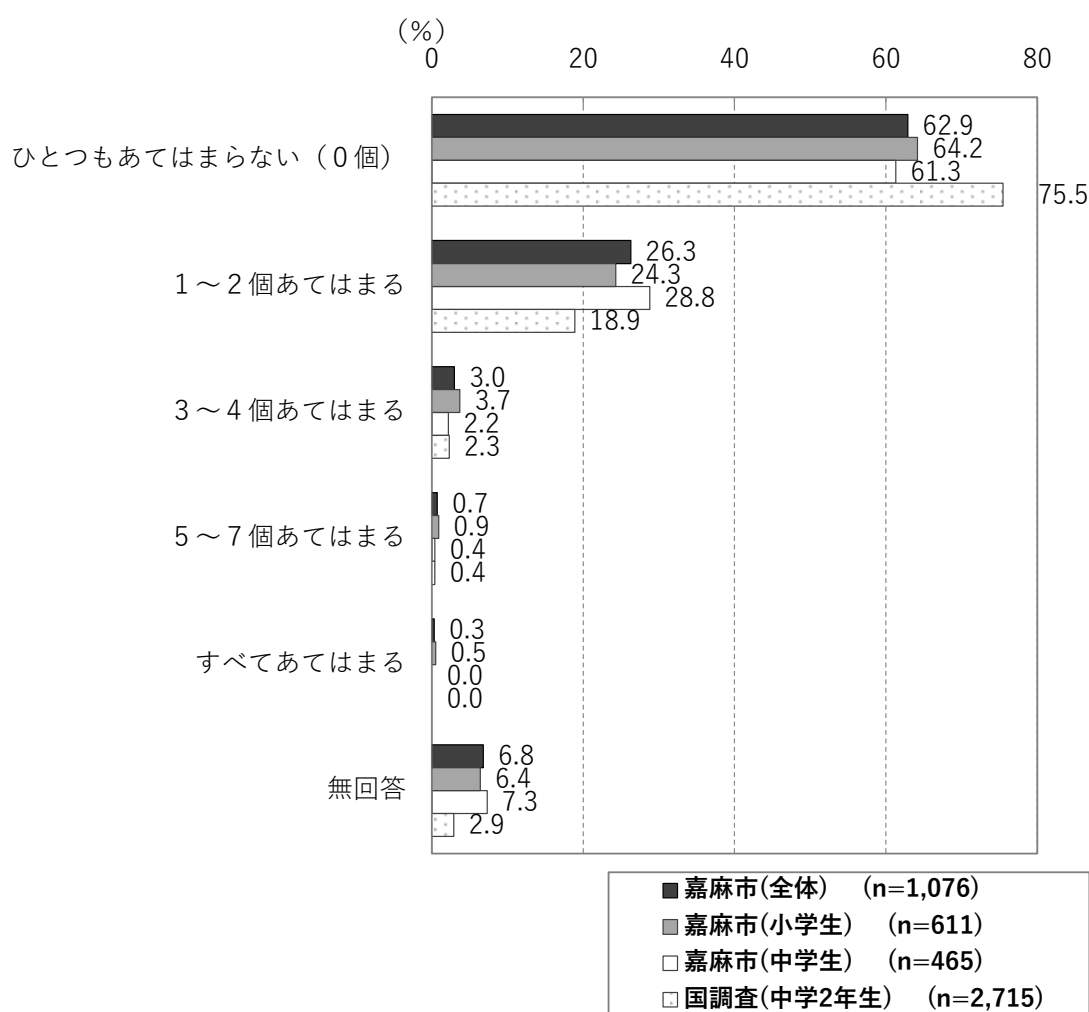
(15) 逆境体験

問 17 あなたは今までに、a～h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

逆境体験については、本市では「ひとつもあてはまらない」が6割強で最も多く、「1～2個あてはまる」が2割半ばで続いている。

学年別にみると、小学生と中学生の間に大きな差は見られなかった。

中学生における国調査との比較では、「ひとつもあてはまらない」における国調査の割合が7割半ばであることに対し、本市では約6割と低い傾向にある。また、「1～2個あてはまる」における国調査の割合が約2割であることに対し、本市では約3割と高い傾向にある。



(16) 場所に関する利用経験・意向

問 18 あなたは、a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

場所に関する利用経験については、本市ではいずれの学年も「c)勉強を無料でみてくれる場所」における「利用したことがある」と「あれば利用したい」を合わせた『利用意向有り・計』の割合が他の項目と比べて最も高く、小学生で約 4 割、中学生で 4 割半ばとなっている。また、「今後も利用したいと思わない」については、小学生では「a) (自分や友人の家、親せきの家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所」の割合が他の項目と比べて最も高く 4 割強となっており、中学生では「d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)」の割合が他の項目と比べて最も高く 4 割弱となっているなど、学年によって利用したくない場所の傾向は変わってくるのがわかる。

中学生における国調査との比較では、「b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)」における『利用意向有り・計』の回答割合について、国調査では 2 割強であることにに対し、本市では 3 割強と高い傾向にある。それに伴い、同項目の「今後も利用したいと思わない」の回答割合についても、国調査では約 4 割であることにに対し、本市では約 3 割と差が出ている。

・嘉麻市：小学生 (n=611)

	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
a) (自分や友人の家、親せきの家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所	12.8	14.9	42.6	26.0	3.8
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	6.7	30.1	36.8	22.4	3.9
c) 勉強を無料でみてくれる場所	11.8	28.3	32.9	23.1	3.9
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1.6	18.7	40.6	35.0	4.1

・嘉麻市：中学生（n=465）

	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
a) (自分や友人の家、親せきの家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所	15.1	19.1	29.7	33.8	2.4
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）	5.2	27.3	30.3	34.6	2.6
c) 勉強を無料でみてくれる場所	19.4	24.9	26.0	27.5	2.2
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）	13.5	37.8	43.2		3.2

・国調査：中学2年生（n=2,715）

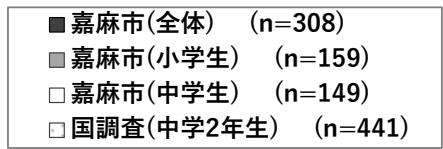
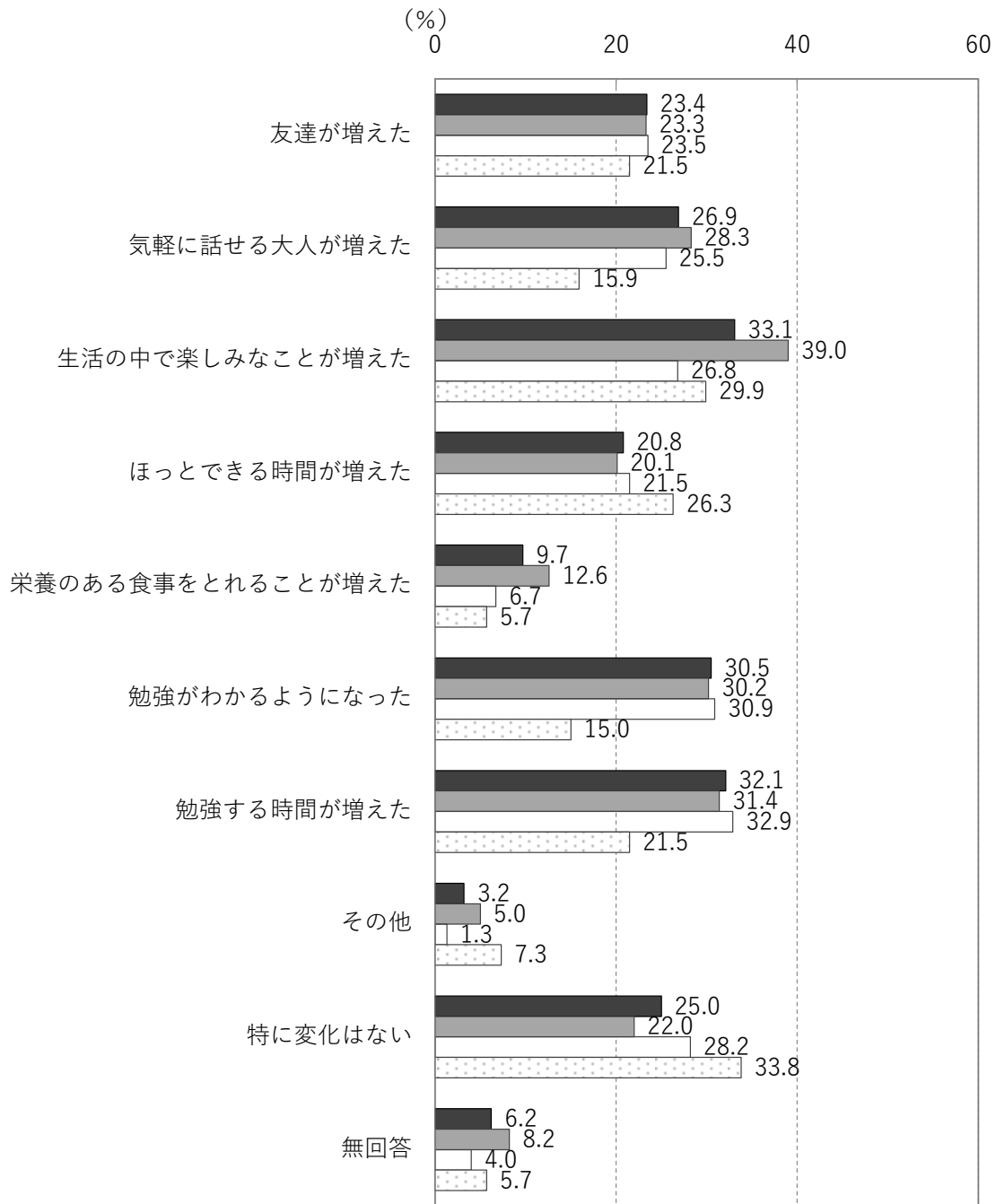
	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない	無回答
a) (自分や友人の家、親せきの家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所	11.9	16.3	38.6	30.6	2.6
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）	20.1	40.7	33.6		2.8
c) 勉強を無料でみてくれる場所	4.1	37.7	28.8	26.8	2.6
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）	15.9	39.7	39.1		2.6

問19 問18で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。
(「1 友だちが増えた」～「8 その他」については、あてはまるものすべてに○)

利用したことでの変化については、本市では「生活の中で楽しみなことが増えた」「勉強する時間が増えた」が3割強で最も多く、「勉強がわかるようになった」が約3割で続いている。なお、「特に変化はない」は2割半ばになっている。

学年別にみると、「生活の中で楽しみなことが増えた」における小学生の割合が約4割であり、全体と比べて高くなっている一方で、中学生の割合は3割弱と低くなっている。

中学生における国調査との比較では、「勉強がわかるようになった」における国調査の割合が1割半ばであることに対し、本市では約3割と高い傾向にある。また、「勉強する時間が増えた」における国調査の割合が約2割であることに対し、本市では約3割強と高い傾向にある。

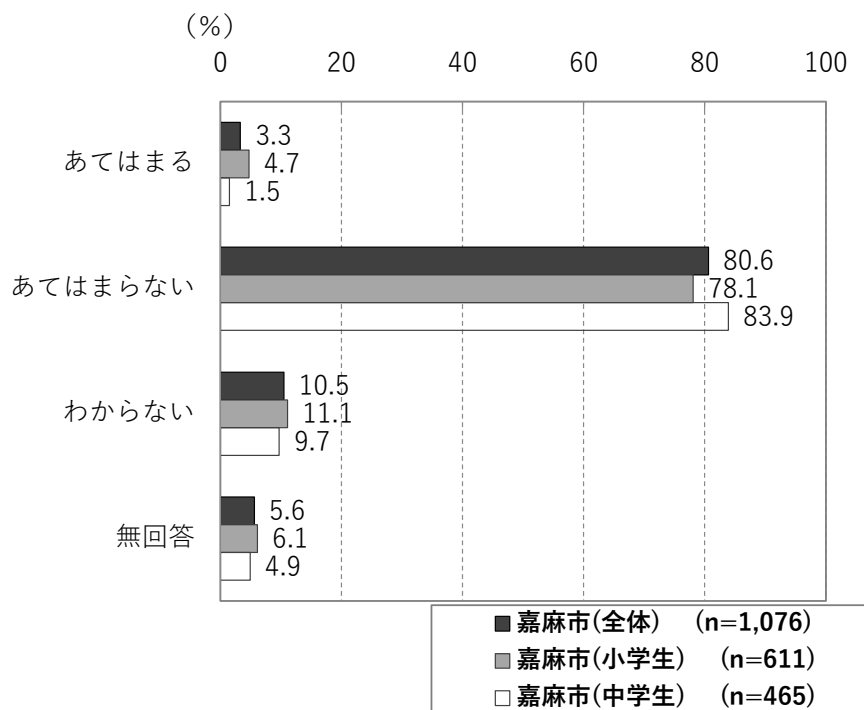


(17) ヤングケアラーの該当状況

問 20 あなたはヤングケアラーにあてはまると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

ヤングケアラーの該当状況については、本市では「あてはまらない」が約8割で最も多く、「あてはまる」が3.3%となっている。

学年別にみると、小学生と中学生の間に大きな差は見られなかった。



【参考 (国調査※)】

○世話をしている家族がいるかどうか

中学2年生 (n=5,558) : いる 5.7%
いない 93.6%
無回答 0.6%

○自分がヤングケアラーにあてはまると思うか

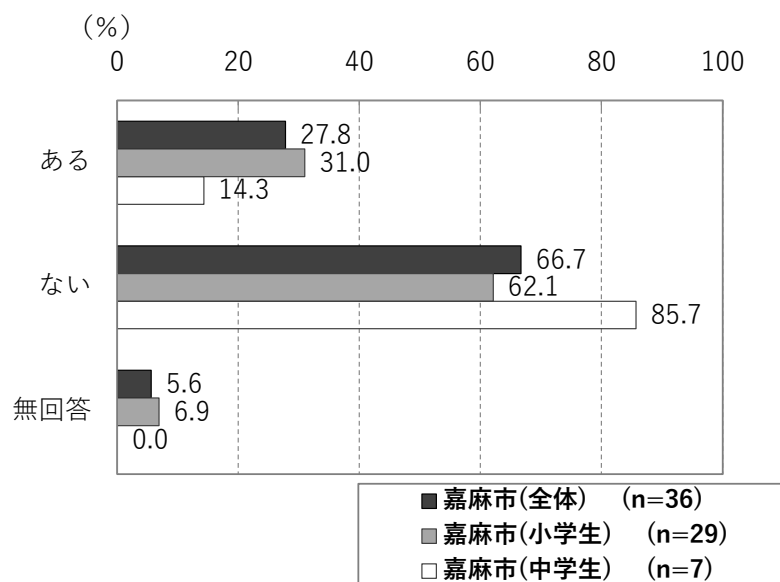
中学2年生 (n=5,558) : あてはまる 1.8%
あてはまらない 85.0%
わからない 12.5%
無回答 0.7%

※厚生労働省・文部科学省：「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」(令和3年3月)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

問 21 問 20 で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きします。

誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

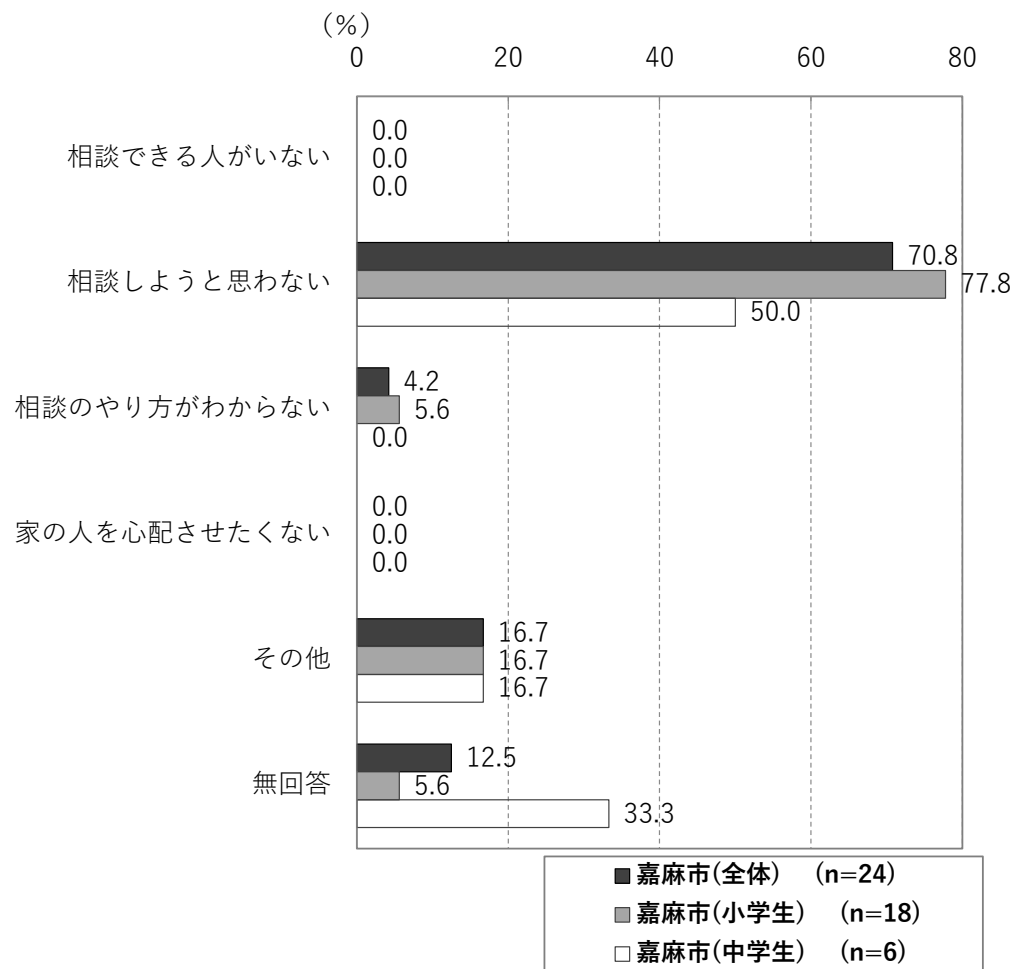
誰かに相談したことはあるかについて、本市では「ない」が 7 割弱を占めている。



問 22 問 21 で「2 ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

相談していない理由について、本市では「相談しようと思わない」が約 7 割で最も多く、「その他」が 2 割弱で続いている。



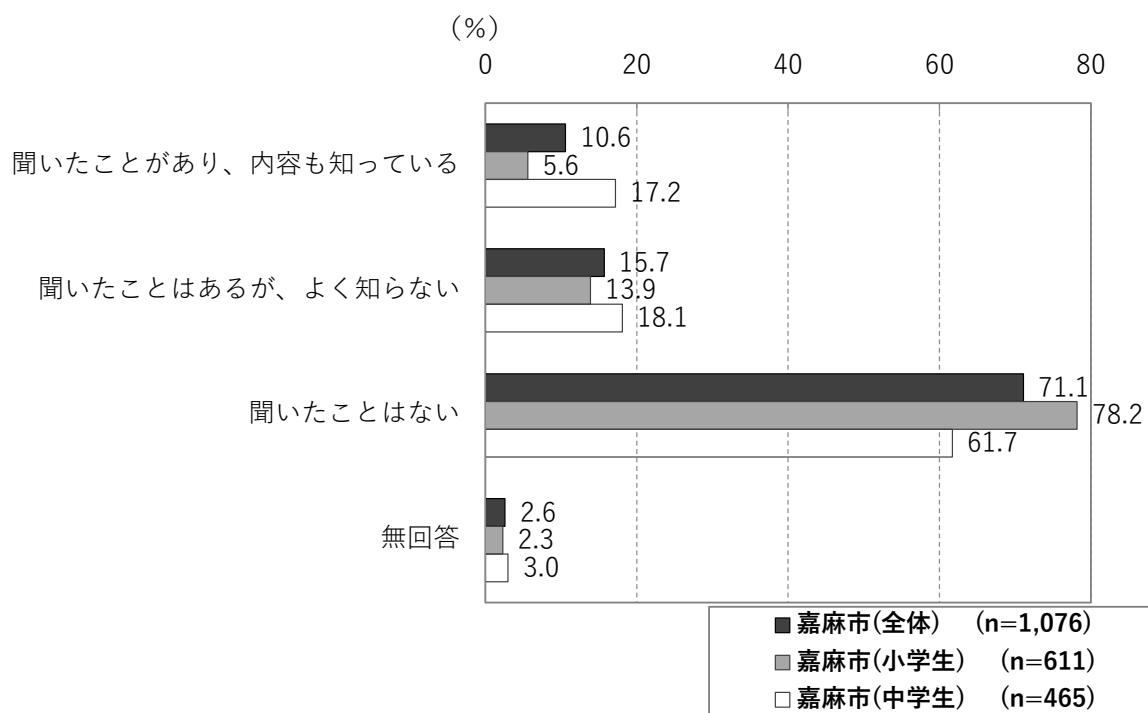
(18) ヤングケアラーという言葉の認知状況

問 23 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つに○)

ヤングケアラーという言葉の認知状況について、本市では「聞いたことはない」が約7割で最も多く、「聞いたことはあるが、よく知らない」が1割半ば、「聞いたことがあり、内容も知っている」が約1割で続いている。

学年別にみると、「聞いたことはない」における小学生の割合は約8割、中学生の割合は約6割となっている。また、「聞いたことがあり、内容も知っている」における小学生の割合が1割未満、中学生の割合は2割弱となっており、ヤングケアラーという言葉の認知状況については中学生の方が高くなっている。

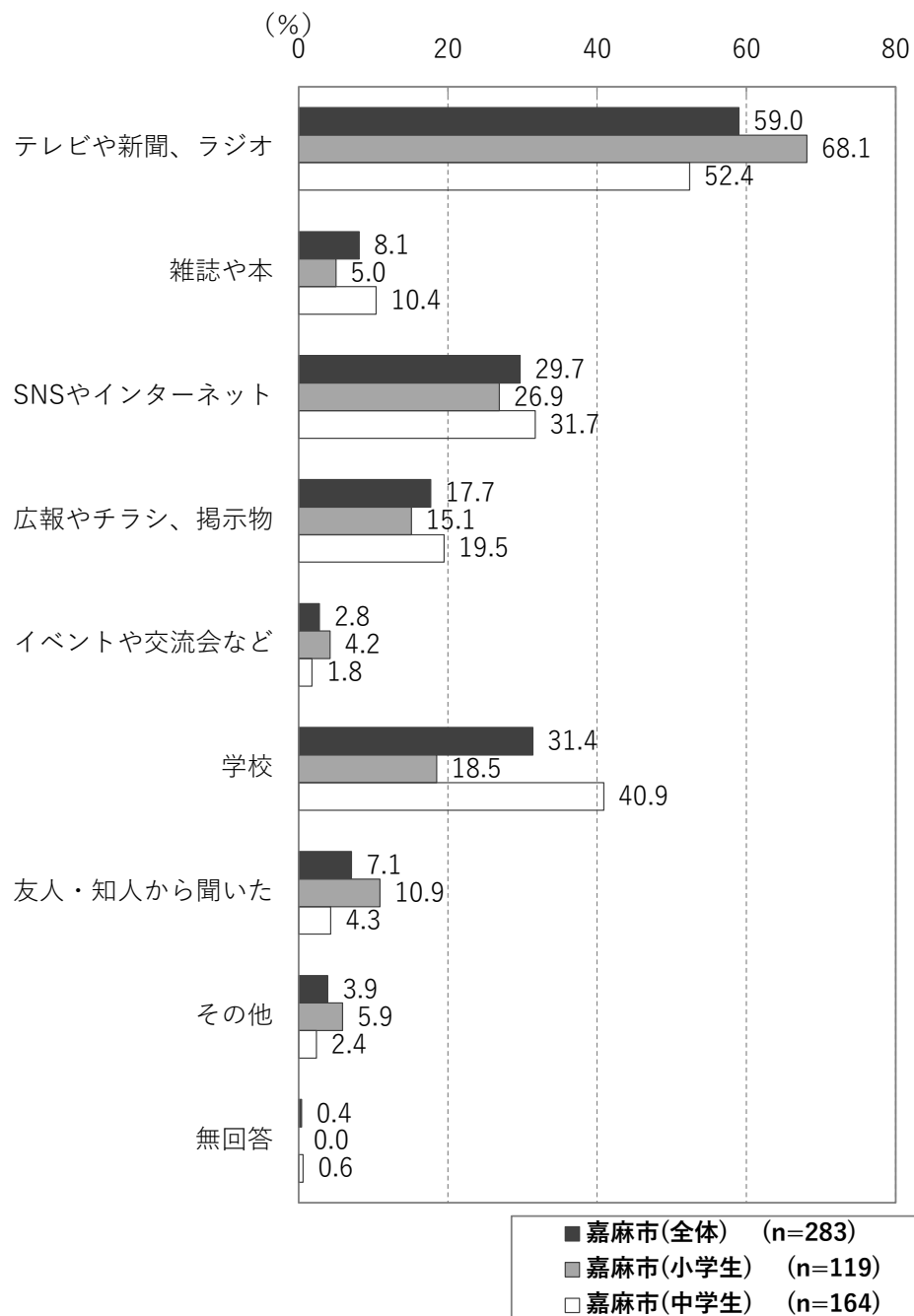


問 24 問 23 で「1 聞いたことがあり、内容も知っている」「2 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

ヤングケアラーという言葉はどこで知ったかについて、本市では「テレビや新聞、ラジオ」が約 6 割で最も多く、「学校」「SNS やインターネット」が約 3 割、「広報やチラシ、掲示物」が 2 割弱で続いている。

学年別にみると、「学校」における小学生の割合は約 2 割、中学生の割合は約 4 割となっており、「学校」においては中学生が高くなっている。一方、「テレビや新聞、ラジオ」における小学生の割合は約 7 割、中学生の割合は 5 割強となっており、「テレビや新聞、ラジオ」においては小学生が高くなっている。



2. 調査結果のまとめ

(1) 勉強について

ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が約7割で最も高くなっている。小学生における「家の人に教えてもらう」の割合は4割強と高いが、学年が上がるほど割合が低くなる傾向にある。逆に、「塾で勉強する」は学年が上がるほど割合が高くなる。

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がある日（月～金曜日）」と「学校がない日（土・日曜日・祝日）」どちらも「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上、2時間より少ない」を合わせた『30分以上、2時間より少ない』の割合が高く、4～7割程度を占めている。学年が上がるほど1日の勉強時間が長くなる傾向がみられるが、「まったくしない」という子どもも一定数存在する。

クラスの中での成績については、中学生は『下位』の割合が3割半ばであり、小学生の2割強という回答を上回っている。この点については、学校の授業の理解状況について、学年が上がるほど『わからない・計』は高くなる傾向がみられ、中学生の半数近くは、「教科によっては学校の授業がわからないときがある」と回答している。

授業がわからなくなった時期については、小学生は、「小学3・4年生のころ」が約6割を占めている。中学生は、「中学1年生のころ」が半数近くを占めている。

学年が上がるにつれて、1日の勉強時間が長くなる傾向であるが、授業の内容は難しくなっていくような実態も窺える中で、勉強方法についても、学年別に傾向がやや異なるようである。

(2) 進学希望について

将来どの段階まで進学したいかについては、小・中学生の2割半ばが「大学まで」を希望しており、「高校まで」と「専門学校等」がそれぞれ2割前後となっている。また、「まだわからない」は小・中学生ともに3割近くで最も高い割合となっている。

希望する教育段階を選んだ理由は、小・中学生ともに「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっている。また、「とくに理由はない」が2割前後と一定数存在する。

進学希望に関しては、進学先やその希望理由などの傾向はそれぞれある中で、まだ進学に関して明確な考えをもっていない子どももいることを認識する必要がある。

(3) 部活動等への参加状況・参加していない理由

地域のスポーツクラブや文化クラブへの参加状況については、小学生の3割強、中学生の約7割が「参加している」と回答しており、学年間で差がある。

部活動等に参加していない理由については、小・中学生ともに「入りたいクラブ・部活動がないから」が最も高くなっている。また、「その他」が3割前後で続いており、経済面・家庭面・友人関係とは異なる理由も存在しているようである。

(4) 日常生活について

食事の状況について、いずれの学年も朝食を食べる頻度は、「夕食」や「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」に比べて低い傾向にある。特に、中学生における朝食を毎日食べる割合は約7割であり、無回答を除く残り3割弱は週に朝食を食べない日がある。

就寝時間に関して、小・中学生ともにほぼ同じ時刻に就寝している子ども（『そうである・計』）が8割近くを占めている。一方、『そうではない・計』も約2割存在している。その他、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響においても、「夜遅くまで起きている回数」が増えたという子どもは、小・中学生ともに3割前後と一定数存在しており、就寝時間にも影響を及ぼしていると考えられる。

日常生活については、多数の子どもが規則正しい生活を送っているものの、そうではないような回答も一定数存在している。

(5) 悩みや困りごとの相談相手

困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、小・中学生ともに「親」、「学校の友達」の順番で割合が高くなっており、それぞれ過半数を超えている。また、「学校の先生」、「兄弟」という回答も一定数存在し、小学生では「祖父母」も2割半ばいる。

(6) 全体としての生活満足度

最近の生活の満足度については、小学生の約7割、中学生6割半ばが「7～10」と回答しており、学年が上がるほど、割合が低下する傾向がみられる。ただし、無回答を除く全体の平均点は7.44点（小学生7.65点、中学生7.16点）となっており、総じて生活満足度は高い。

子どもの心理的な状態について、「情緒の問題」(b・e・h・j・o)に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出する全体の平均値は3.43となっている(0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。同様に、「仲間関係の問題」(d・g・i・l・n)に関しては、全体の平均値が2.26となっている。「向社会性」(a・c・f・k・m)に関しては、全体の平均値は6.06となっている。小・中学生ともに協調性や共感性などの向社会的行動傾向を示す「向社会性」の平均値が最も高くなっており、特にアプローチが必要な問題であると考えられる。

(7) ヤングケアラーについて

自身がヤングケアラーにあてはまるかについて、「あてはまる」と回答した子どもの割合は3.3%であり、若干ではあるが中学生よりも小学生の方が高くなっている。また、「わからない」という回答が小・中学生ともに約1割存在しており、実際にヤングケアラーにあてはまる子どもの割合は、集計値よりも高くなる可能性がある。

ヤングケアラーという言葉の認知状況については、「聞いたことはない」の割合が約7割で最も高くなっている。また、「聞いたことがあり、内容も知っている」は、中学生が17.2%となっており、学年が上がるほど割合は高くなる傾向にある。

ヤングケアラーという言葉をどこで知ったのかについては、小・中学生ともに「テレビや新聞、ラジオ」の割合が過半数以上で最も高くなっており、小学生では「SNSやインターネット」、中学生では「学校」が続いている。

ヤングケアラーに関しては、学年を問わず認知状況が低いという点は課題であり、特に児童生徒との関わりが多い学校に対して、周知が必要である。

IV 参考資料

1. 調査票（保護者票）

か ま し こ せいかつじょうきょうちょう さ

嘉麻市 子どもの生活状況調査

ほごしゃさまむ

保護者様向け

嘉麻市では、小学校4～6年生・中学生、義務教育学校4～9年生のお子さんがいる保護者のみなさまに、生活の状況やお子さんのことについてお伺いし、嘉麻市での子育て環境をよりよくするために、アンケートをお願いすることいたしました。

お名前は必要ありません。ご回答いただいた内容は、「こう思う人は全体の何パーセント」といった統計的な分析にのみ使用させていただきます。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年10月 嘉麻市

記入にあたってのお願い


- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- お子さんにも、アンケートをお願いしています。お子さんの分を確認していただく必要はありませんので、記入後はそれぞれで封筒に入れて、閉じてください。

●このアンケートは、令和2年度に国（内閣府）が全国5,000組の生徒と保護者に対して行った調査と同じ内容に、ヤングケアラーについての調査を追加したものです。

●ご記入いただいた調査票は、**令和5年11月2日（木）**までに、調査対象の年齢が一番上のお子さんの分と一緒に大きい封筒に入れ、封をして、お子さんを通じて担任の先生に提出してください。

※そのほかのお子さんについては、それぞれのクラスの担任の先生にお渡しください。

【問い合わせ先】 嘉麻市福祉事務所 子育て支援課 電話：0948-62-5717



このアンケート調査から
もっと、子育てしやすい **嘉麻市へ!**
みなさまのお声をお聞かせください

1

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、けいぼ けいふ 継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さん^{つづきから}とあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さん^{つづきから}からみた続柄でお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

1 母親	2 父親
3 祖父母	4 その他

問2 お子さん^{ふじん}と同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	g) 合計
0 いない	0 いない	0 いない	
1 1人	1 1人	1 1人	2 2人
2 2人	2 2人		3 3人
	e) お子さん ※ここでは、調査対象以外のお子さんも含めた総人数を記入。	f) その他	4 4人
			5 5人
			6 6人
			7 7人
			8 8人
			9 9人
0 いない	1 1人	0 いない	10 10人以上
1 1人	2 2人	1 1人	
	3 3人	2 2人	
	4 4人	3 3人	
	5 5人以上	4 4人以上	

例1) 中学2年生が1人、小学5年生が2人いる場合

→選択肢「**3** 3人」に○をお願いします。

例2) 高校2年生が1人、小学4年生が1人、保育園児が1人いる場合

→選択肢「**3** 3人」に○をお願いします。

問3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親

歳

父親

歳

問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
 (1～3については、あてはまるものすべてに○)

1 お子さんの母親が単身赴任中	2 お子さんの父親が単身赴任中
3 その他	4 単身赴任中の者はいない

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
 (あてはまるもの1つに○)

2に○をつけた場合のみ↓

1 結婚している(再婚や事実婚を含む。)
2 離婚
3 死別
4 未婚
5 わからない
6 いない

問6 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
 また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 取り決めをしており、受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3 取り決めをしているが、受け取っていない
4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問7 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 日本語のみを使用している
2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3 日本語以外の言語を使うことが多い

問8 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a,bそれぞれについて、あてはまるものひとつに○)

	a) 母親	b) 父親
中学	1	1
中学、高校	2	2
中学、高校、専門学校	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4
中学、高校、短大	5	5
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学	6	6
中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

5に○をつけた場合のみ

問10 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問 1 1 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

<対象のお子さん> ・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。 ・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。	小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生			
	高 年 い 齡 子 が ど 最 も も	に 年 高 齡 い が 子 2 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 3 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 4 ど 番 も 目
認可保育所・認定こども園	1	1	1	1
その他の教育・保育等の施設	2	2	2	2
親・親族以外の個人	3	3	3	3
もっぱら親・親族が面倒を見ていた	4	4	4	4
その他	5	5	5	5

問 1 2 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

<対象のお子さん> ・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。 ・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。	小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生			
	高 年 い 齡 子 が ど 最 も も	に 年 高 齡 い が 子 2 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 3 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 4 ど 番 も 目
認可保育所・認定こども園	1	1	1	1
その他の教育・保育等の施設	2	2	2	2
親・親族以外の個人	3	3	3	3
もっぱら親・親族が面倒を見ていた	4	4	4	4
その他	5	5	5	5

問 1 3 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
 (a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

		あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない	
・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。 ・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。						
小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生のうち	年齢が最も高い子ども	a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
		b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
		c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
		d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
	年齢が2番目に高い子ども	a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
		b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
		c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
		d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
	年齢が3番目に高い子ども	a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
		b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
		c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
		d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
	年齢が4番目に高い子ども	a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
		b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
		c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
		d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a,b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

※新型コロナウイルス感染症拡大後（2020年2月以降）、学校行事などが休止している場合は、それ以前の状況をお答えください。

			よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。 ・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。						
小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生のうち	高い子ども 年齢が最も	a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
		b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4
	に高い子ども 年齢が2番目	a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
		b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4
	に高い子ども 年齢が3番目	a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
		b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4
	に高い子ども 年齢が4番目	a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
		b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 1 5 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるものひとつに○)

<p><対象のお子さん> ・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。 ・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。</p>	小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生			
	高年 い 齡 子 が ど 最 も も	に 年 高 齡 い が 子 2 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 3 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 4 ど 番 も 目
中学	1	1	1	1
中学、高校	2	2	2	2
中学、高校、専門学校	3	3	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4	4	4
中学、高校、短大	5	5	5	5
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	6	6	6	6
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	7	7	7	7
その他	8	8	8	8
まだわからない →問17に進んでください。	9	9	9	9

問 1 6 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

<p><対象のお子さん> ・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。 ・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。</p>	小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生			
	高年 い 齡 子 が ど 最 も も	に 年 高 齡 い が 子 2 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 3 ど 番 も 目	に 年 高 齡 い が 子 4 ど 番 も 目
お子さんがそう希望しているから	1	1	1	1
一般的な進路だと思うから	2	2	2	2
お子さんの学力から考えて	3	3	3	3
家庭の経済的な状況から考えて	4	4	4	4
その他	5	5	5	5
特に理由はない	6	6	6	6

問 1 7 あなたは次に挙げる事柄^{ことごと}で頼れる人はいますか。
 (a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄 ^{ことごと} の相談	c) いざという時の お金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①～⑦のあてはまるものすべてに○

問 1 8 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

問 1 9 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※令和4年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

- 1 50万円未満
- 2 50~100万円未満
- 3 100~150万円未満
- 4 150~200万円未満
- 5 200~250万円未満
- 6 250~300万円未満
- 7 300~350万円未満
- 8 350~400万円未満
- 9 400~450万円未満
- 10 450~500万円未満
- 11 500~600万円未満
- 12 600~700万円未満
- 13 700~800万円未満
- 14 800~900万円未満
- 15 900~1000万円未満
- 16 1000万円以上

問 2 0 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 2 1 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 よくあった
- 2 とときあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 2 2 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 電気料金
- 2 ガス料金
- 3 水道料金
- 4 あてはまるものはない

問 2 3 次の a)～f)の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。
(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏 <small>かびん</small> に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 2 4 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していないから「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

0 : まったく満足していない						10 : 十分に満足している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 2 5 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。
（a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をすること	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 2 6 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～e それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

	a 就学援助 ※ 1	b 生活保護 ※ 2	c ※ 3 生活困窮者の 自立支援相談窓口	d 児童扶養手当 ※ 4	e ※ 5 母子家庭等就業・ 自立支援センター
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

↓
③に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○

(参考)

- ※ 1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

【ヤングケアラーについて】

ヤングケアラーとは、「本来、大人が行うと考えられている食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

みなさんやみなさんの周りのともだちが「ヤングケアラー」にあてはまる場合には、たとえ、家族のケアをしながらであっても、子どもらしく生きる権利を回復し、子どもたちが自身の持つ能力を最大限発揮できるように適切な支援をしていく必要があります。

＜ヤングケアラーのイメージ例＞



① 障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



② 家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



③ 障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



④ 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



⑤ 日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている



⑥ 家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている



⑦ アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



⑧ がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



⑨ 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている



⑩ 障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

子ども家庭庁 (<https://www.cfa.go.jp/policies/young-carer/>、参照 2023-08-04) を加工して作成

問 2 7 あなたのお子さんは、上の絵の①～⑩にあてはまると思いますか。

(あてはまるものひとつに○)

<p>＜対象のお子さん＞</p> <p>・小学4～6年生または中学生のお子さんの内、年齢の順番で記入をお願いします。</p> <p>・お子さんが1名の場合は、「年齢が最も高い子ども」の欄に回答をお願いします。</p>	小学校4～6年生・中学生・義務教育学校4～9年生			
	高年齢 子が 最も も	に年 高 齢 い が 子 2 番 目	に年 高 齢 い が 子 3 番 目	に年 高 齢 い が 子 4 番 目
あてはまる	1	1	1	1
あてはまらない	2	2	2	2
わからない	3	3	3	3

問28 問27で1人のお子さんでも「1 あてはまる」と答えた人にお聞きします。

あなたは、お子さんのそのような状況を誰かに相談したことはありますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------|---------------|
| 1 ある | ⇒問30に進んでください。 |
| 2 ない | ⇒問29に進んでください。 |

問29 問28で「2 ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------|
| 1 相談できる人がいない |
| 2 相談しようと思わない |
| 3 相談のやり方がわからない |
| 4 その他 () |

問30 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 聞いたことがあり、内容も知っている | ⇒問31に進んでください。 |
| 2 聞いたことはあるが、よく知らない | ⇒問31に進んでください。 |
| 3 聞いたことはない | |

問31 問30で「1 聞いたことがあり、内容も知っている」「2 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------|
| 1 テレビや新聞、ラジオ |
| 2 雑誌や本 |
| 3 SNSやインターネット |
| 4 広報やチラシ、掲示物 |
| 5 イベントや交流会など |
| 6 学校 |
| 7 友人・知人から聞いた |
| 8 その他 () |

<ヤングケアラーに関する相談窓口>

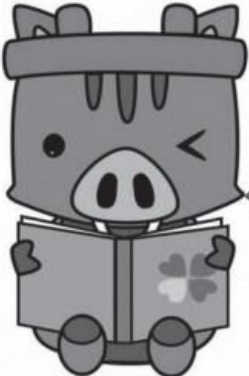
嘉麻市子育て支援課家庭・教育相談支援係：0948-62-5717

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 調査表（小学生票）

かまし こ せいかつじょうきょうちょう さ
嘉麻市 子どもの生活状況調査

しょうがっこうおよ ぎ む きょういくがっこう ねん ねんせい
小学校及び義務教育学校 4年～6年生



かまし ことだ かんきょう
嘉麻市での子育て環境をよりよくするため、
みなさんに今の生活の状況などについてアンケートを
お願いすることにいたしました。
お名前は必要ありません。自分の思う答えを書いてく
ださい。間違った答えや、正しい答えはありません
し、あなたがどのように答えたかは、誰にもわかりま
せん。
みなさんのご協力をお願いいたします。

令和5年10月 嘉麻市

きにゅう おが
記入にあたってのお願い

- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- おうちの方に確認してもらう必要はありません。書き終わったら、それぞれで封筒に入れて、閉じてください。

- 書き終わった調査票は、**令和5年11月2日（木）**までに、担任の先生に提出してください。
- 調査票を受け取った時におうちの方の分が入っていた方は、おうちの方の分と一緒に大きい封筒に入れてください。

【問い合わせ先】 嘉麻市福祉事務所 子育て支援課 電話：0948-62-5717

1

142

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科によってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがありようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 1・2年生のころ
- 2 3年生のころ
- 3 4年生のころ
- 4 5年生のころ
- 5 6年生のころ

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 中学
- 2 中学、高校
- 3 中学、高校、専門学校
- 4 中学、5年制の高等専門学校
- 5 中学、高校、短大
- 6 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- 7 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない →問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

（1～8については、あてはまるものすべてに○）

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。
 (あてはまるもの1つに○)

1 参加している →問11に進んでください。
 2 参加していない

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 入りたいクラブがないから
 2 塾や習い事が忙しいから
 3 費用がかかるから
 4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
 5 一緒に入る友達がいないから
 6 その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
 (a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5~6日	週3~4日	ほとんど食べない 週1~2日
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 親
- 2 きょうだい
- 3 祖父母など
- 4 学校の先生
- 5 学校の友達
- 6 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 その他の大人(学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない、相談したくない

問14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない							10 : 十分に満足している			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 1 5 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。
(a～o それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまい。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問16 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わりましたか。
 (a～g それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増 えた	減 った	変 わ ら な い
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 1 7 あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。**あてはまる個数**を教えてください。
(あてはまるもの 1 つに○)

- 0 ひとつもあてはまらない (0 個)
- 1 1 個あてはまる
- 2 2 個あてはまる
- 3 3 個あてはまる
- 4 4 個あてはまる
- 5 5 個あてはまる
- 6 6 個あてはまる
- 7 7 個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8 個)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

※ 上のようなことで、つらい気持ちの場合は、「嘉麻市子育て支援課家庭・教育相談支援係 (0948-62-5717)」、学校のスクールカウンセラーや「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777) に話してみてください。

問18 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思う	思わない	今後も利用したいかどうか分からない
a) (自分や友人の家、親せきの家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料が安く食べることができる場所 (子供食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問19 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

【ヤングケアラーについて】

ヤングケアラーとは、「本来、大人が行うと考えられている食事のたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

みなさんやみなさんの周りのともだちが「ヤングケアラー」にあてはまる場合には、たとえ、家族のケアをしながらであっても、子どもらしく生きる権利を回復し、子どもたちが自身の持つ能力を最大限発揮できるように適切な支援をしていく必要があります。

<ヤングケアラーのイメージ例>



① 障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



② 家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



③ 障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



④ 自分を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



⑤ 日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている



⑥ 家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている



⑦ アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



⑧ がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



⑨ 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている



⑩ 障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

こども家庭庁 (https://www.cfa.go.jp/policies/young-carer/)、参照 2023-08-04) を加工して作成

問20 あなたは上の絵の①～⑩にあてはまると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---|---------|---------------|
| 1 | あてはまる | ⇒問21に進んでください。 |
| 2 | あてはまらない | ⇒問23に進んでください。 |
| 3 | わからない | ⇒問23に進んでください。 |

問2 1 問20で「1 あてはまる」と答えた人にお聞きします。

誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------|----------------|
| 1 ある | ⇒問2 3に進んでください。 |
| 2 ない | ⇒問2 2に進んでください。 |

問2 2 問21で「2 ない」と答えた人にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------|
| 1 相談できる人がいない |
| 2 相談しようと思わない |
| 3 相談のやり方がわからない |
| 4 家の人を心配させたくない |
| 5 その他 () |

問2 3 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 聞いたことがあり、内容も知っている | ⇒問2 4に進んでください。 |
| 2 聞いたことはあるが、よく知らない | ⇒問2 4に進んでください。 |
| 3 聞いたことはない | |

問2 4 問23で「1 聞いたことがあり、内容も知っている」「2 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------|
| 1 テレビや新聞、ラジオ |
| 2 雑誌や本 |
| 3 SNS やインターネット |
| 4 広報やチラシ、掲示物 |
| 5 イベントや交流会など |
| 6 学校 |
| 7 友人・知人から聞いた |
| 8 その他 () |

<ヤングケアラーに関する相談窓口>

嘉麻市子育て支援課家庭・教育相談支援係：0948-62-5717


質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

3. 調査表（中学生票）

かまし こ せいかつじょうきょうちよう さ
嘉麻市 子どもの生活状況調査

ちゅうがくせい ぎ む きょういくがっこう ねんせい
中学生・義務教育学校7～9年生

令和5年10月 嘉麻市



かまし こそだ かんきよう いま せいめつ
嘉麻市での子育て環境をよりよくするために、みなさんに、今の生活

じょうきよう
の状況などについてアンケートをお願いすることにいたしました。

なまえ ひつよう じぶん おもひ こた か まちが
お名前は必要ありません。自分の思う答えを書いてください。間違った

こたえや、ただい 正しい答えはありませんし、あなたがどのようにこたえたかは、

だれ
誰にもわかりません。

みなさんのご協力をお願いいたします。

きにゅう にあたってのねが
記入にあたってのお願い

- かいとう は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- ほごしや のかた かくにん してもらう必要はありません。書き終わったら、それぞれで
ふうとう に入れて、閉じてください。

● 書き終わった調査票は、**令和5年11月2日（木）**までに、担任の先生に
ていしゆつ
提出してください。

● 調査票を受け取った時に保護者の分が入っていた方は、保護者の分と一緒に大きい封筒
に入れてください。

【問い合わせ先】 嘉麻市福祉事務所 子育て支援課 電話：0948-62-5717

1

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない 30分以上、	2時間より少ない 1時間以上、	3時間より少ない 2時間以上、	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績せいせきは、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業じゅぎょうがわからないことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科きょうかによってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- 問7に進んでください。

問6 前の質問しつもんで「3 教科きょうかによってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きます。

いつごろから、授業じゅぎょうがわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 小学1・2年生のころ
- 2 小学3・4年生のころ
- 3 小学5・6年生のころ
- 4 中学1年生のころ
- 5 中学2年生のころ
- 6 中学3年生のころ

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学
- 2 中学、高校
- 3 中学、高校、専門学校
- 4 中学、5年制の高等専門学校
- 5 中学、高校、短大
- 6 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学
- 7 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない →問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。
(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 参加している →問11に進んでください。
2 参加していない

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きます。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 入りたいクラブ・部活動がないから
2 塾や習い事が忙しいから
3 費用がかかるから
4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5 一緒に入る友達がいないから
6 その他

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5~6日	週3~4日	週1~2日、 ほとんど食べない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問 1 2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間じかんに寝ねていますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 1 3 あなたにこま困こまっていることやなや悩みなやごとがあるとき、あなたが相談そうだんできると思う人はだれですか。

(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 親
- 2 きょうだい
- 3 祖父母そふぼなど
- 4 学校の先生
- 5 学校の友達
- 6 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 その他の大人じゅく(塾・習ならい事の先生、地ち域いきの人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 1 0 だれにも相談そうだんできない、相談そうだんしたくない

問 1 4 全体として、あなたは最近さいきんの生活に、どのくらい満足まんぞくしていますか。「0」(まったく満足まんぞくしていない)から「10」(十分じゅうぶんに満足まんぞくしている)の数字で教えてください。

(あてはまるもの 1 つに○)

0 : まったく満足 <small>まんぞく</small> していない					1 0 : 十分 <small>じゅうぶん</small> に満足 <small>まんぞく</small> している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのご半年くらいのことを考えて答えてください。
(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問16 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。
 (a~g それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 17 あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。
(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|----------|-------------------|
| 0 | ひとつもあてはまらない (0 個) |
| 1 | 1 個あてはまる |
| 2 | 2 個あてはまる |
| 3 | 3 個あてはまる |
| 4 | 4 個あてはまる |
| 5 | 5 個あてはまる |
| 6 | 6 個あてはまる |
| 7 | 7 個あてはまる |
| 8 | すべてあてはまる (8 個) |

- a** 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b** 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c** 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d** 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもないと感じることがある
- e** 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f** 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g** 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h** 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

※ 上のようなことで、つらい気持ちの場合は、「嘉麻市子育て支援課家庭・教育相談支援係 (0948-62-5717)」や学校のスクールカウンセラー、「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777) に話してみてください。

問 18 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

	利用 した こと が あ る	利用したことはない		
		思 う あ れ ば 利 用 し た い と	思 わ な い 今 後 も 利 用 し た い と	今 後 利 用 し た い か ど う か 分 か ら な い
a) (自分や友人の家、親せきの家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）	1	2	3	4

問 19 前の質問で、1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（1～8 については、あてはまるものすべてに○）

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

【ヤングケアラーについて】

ヤングケアラーとは、「本来、大人が行うと考えられている食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

みなさんやみなさんの周りのとまどちが「ヤングケアラー」にあてはまる場合には、たとえ、家族のケアをしながらであっても、子どもらしく生きる権利を回復し、子どもたちが自身の持つ能力を最大限発揮できるように適切な支援をしていく必要があります。

＜ヤングケアラーのイメージ例＞



① 障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



② 家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



③ 障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



④ 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



⑤ 日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている



⑥ 家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている



⑦ アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



⑧ がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



⑨ 障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている



⑩ 障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

子ども家庭庁 (<https://www.cfa.go.jp/policies/young-carer/>、参照 2023-08-04) を加工して作成

問20 あなたは上の絵の①～⑩にあてはまると思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---|---------|---------------|
| 1 | あてはまる | ⇒問21に進んでください。 |
| 2 | あてはまらない | ⇒問23に進んでください。 |
| 3 | わからない | ⇒問23に進んでください。 |

問 2 1 問 20 で「**1** あてはまる」と答えた人にお聞きします。
誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | | |
|---|----|------------------|
| 1 | ある | ⇒問 2 3 に進んでください。 |
| 2 | ない | ⇒問 2 2 に進んでください。 |

問 2 2 問 21 で「**2** ない」と答えた人にお聞きします。
相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 相談できる人がいない |
| 2 | 相談しようと思わない |
| 3 | 相談のやり方がわからない |
| 4 | 家の人を心配させたくない |
| 5 | その他 () |

問 2 3 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(あてはまるもの 1 つに○)

- | | | |
|---|-------------------|------------------|
| 1 | 聞いたことがあり、内容も知っている | ⇒問 2 4 に進んでください。 |
| 2 | 聞いたことはあるが、よく知らない | ⇒問 2 4 に進んでください。 |
| 3 | 聞いたことはない | |

問 2 4 問 23 で「**1** 聞いたことがあり、内容も知っている」「**2** 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします。

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------|
| 1 | テレビや新聞、ラジオ |
| 2 | 雑誌や本 |
| 3 | SNS やインターネット |
| 4 | 広報やチラシ、掲示物 |
| 5 | イベントや交流会など |
| 6 | 学校 |
| 7 | 友人・知人から聞いた |
| 8 | その他 () |

<ヤングケアラーに関する相談窓口>

嘉麻市子育て支援課家庭・教育相談支援係：0948-62-5717

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

嘉麻市子どもの生活状況調査
【調査結果報告書】

令和6(2024)年3月

発行：嘉麻市子育て支援課

〒820-0592 嘉麻市上臼井 446 番地 1

TEL：0948-62-5717 FAX：0948-62-5691